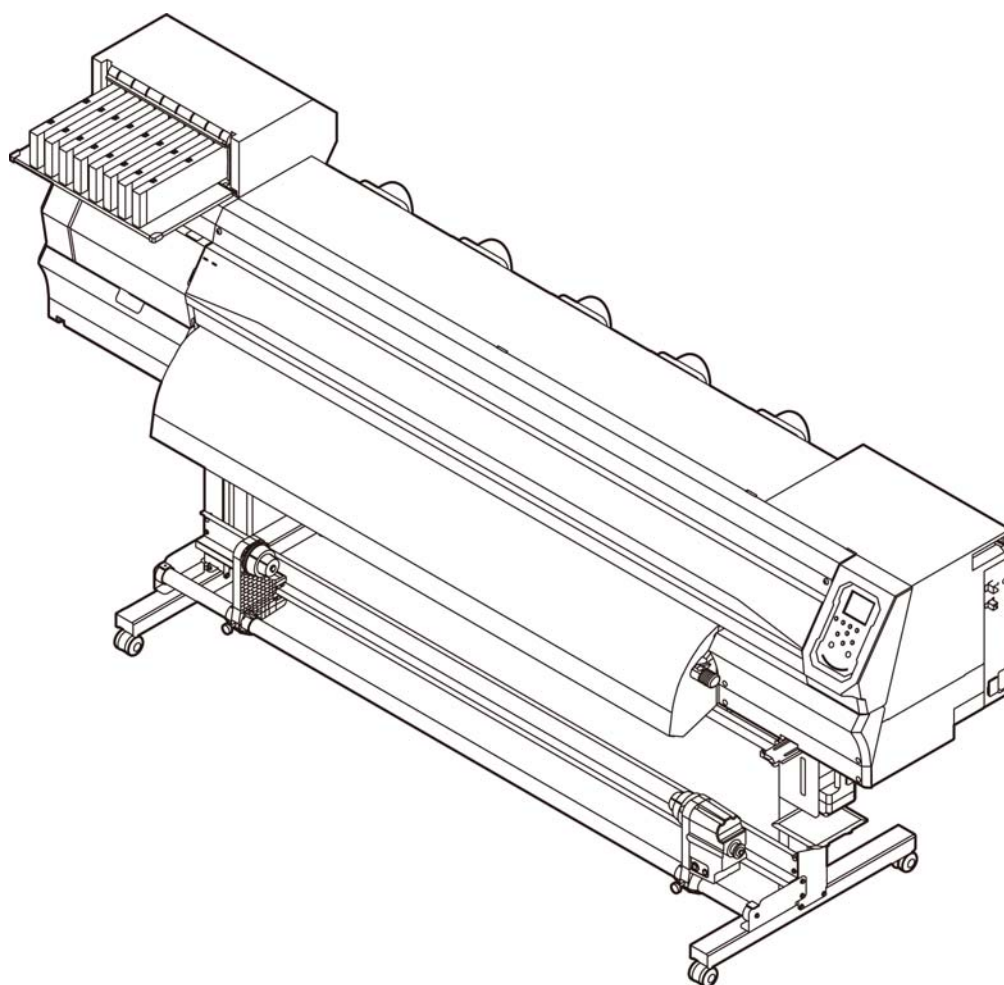
Mimaki

OPERATION MANUAL

カラーインクジェットプリンタ

JV300-130/160

取扱説明書

取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

株式会社ミマキエンジニアリング
URL: http: // www.mimaki. co. jp/

D202680-16
Original instructions

目次

第 1 章　ご使用の前に

第 2 章　基本的な使い方

第 3 章　セットアップ

第 4 章　お手入れ

第 5 章　困ったときは

第 6 章　付録

ご注意

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。
また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。
本装置を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

テレビ / ラジオの受信障害について

本装置は、使用時に高周波が発生します。このため、本装置が不適切な条件下で設置または使用した場合、ラジオやテレビの受信障害を発生する可能性があります。したがって特殊なラジオ／テレビに対しては保証しておりません。
本装置がラジオ／テレビ受信の障害原因と思われましたら、本装置の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。
次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせてお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置をさがしてください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、カラー インクジェットプリンタ JV300-130/160 をお買いあげいただき、誠にありがとうございます。
「JV300-130/160」は、1.3m または 1.6m 幅のメディアにソルベントインク (4 色 /6 色 /8 色) と昇華転写インク (4 色 /6 色) でプリントする、高画質に対応したカラーインクジェットプリンタです。

使用できるインクについて

本機で使用できるインクは、ソルベントインク (SS21/ES3) と昇華転写インク (Sb53/Sb54) になります。

- 使用できるインクについて、詳しくは P.6-3「インク仕様」および P.6-4「インクカートリッジのセット順」をご参照ください。

取扱説明書について

- 本書は、「カラーインクジェットプリンタ JV300-130/160」（以後本装置と称します）の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本装置をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書は、内容について十分注意して作成していますが、万一不審な点がありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- 本書は、改良のため予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味をご理解し、本装置を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

内　容	
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本装置をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意 (危険・警告を含む) を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項 (左図の場合は感電注意) が描かれています。
	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください) が描かれています。

使用上の警告と注意

⚠ 警　告

- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。

警　告

- 本機の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
- 本機の上や近くに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因になります。

- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。
- 湿気の多い場所での使用は避けてください。また、本機に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
- 本機やカートリッジの分解・改造は、絶対にしないでください。感電や故障の原因になります。
- メディア搬送面のヒーターにホコリやゴミ等が付着しないようにしてください。発火、火災の原因になります。
- 延長コードは使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグの刃に金属などが触れると、火災や感電の原因になります。
- タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られるときはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 表示された電源周波数以外では使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 危険な可動部に、指や体の他の部分を近づけないでください。
- 万一、金属、水、液体などの異物が本機内部に入ったときは、すぐに電源を切ってください。その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

- ソルベントインクは、危険物第 4 種第 2 石油類、または危険物第 4 類第 3 石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため、本プリンターを使用する場所は、火気厳禁としてください。

使用上のご注意

注　意

電源ケーブルについて

- 極性付きのコンセントに接続してください。
- インレット 1・2 には、同じ電圧のコンセントから電源を取ってください。
- 必ず本機の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。
- 電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
- 電源を接続する際には、電源コンセントの入力電圧、ブレーカーの容量を確認し、それぞれのケーブルはブレーカーが独立している別の電源に接続してください。
  同じブレーカーにつながっているコンセントに接続すると、ブレーカーが遮断することがあります。

電源供給について

- ブレーカーは常時 ON にしておいてください。
- 側面にある主電源スイッチは OFF にしないでください。

ヒーターについて

- メディア搬送面上に液体をかけないでください。ヒーターの故障や発火の原因になります。
- メディア搬送面のヒーターが熱いうちに素手で触らないください。火傷の原因になります。

メンテナンス上の注意

- インクステーションやヘッドを清掃する際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。
- 手袋は消耗品です。付属の手袋が無くなりましたら市販品をご使用ください。

- カッターを交換する際は、刃先は鋭利ですのでケガをしないように注意してください。
- インクは火気のないところで換気しながらお使いください。
- 万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な水で 15 分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。また、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤ってインクを飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないでください。その後、（財）日本中毒情報センター　中毒 110 番に連絡してください。
  大阪　：72-727-2499
  つくば：029-852-9999
- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
- インクが皮膚に付着した場合は、大量の水および石鹸または皮膚用洗剤を使用して充分に洗い落としてください。

注　意

本体の取り扱い上の注意

- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用しないでください。
- 使用の際には十分な換気を行ってください。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。
- 本機内部にはメディアのカッターがあります。メディアの交換、補給およびメディアづまりを取り除くときは、本書で指定している場所以外には触れないでください。けがの原因になります。
- メディアを交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。
- 本機内部の掃除をサービス実施店に相談してください。本機内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因になります。なお、本機内部の掃除費用については販売店またはサービス実施店に相談してください。
- 本機を移動する場合は、最寄のサービス店にご相談ください。

ご注意とお願い

警　告

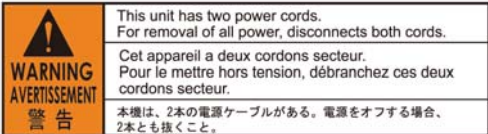
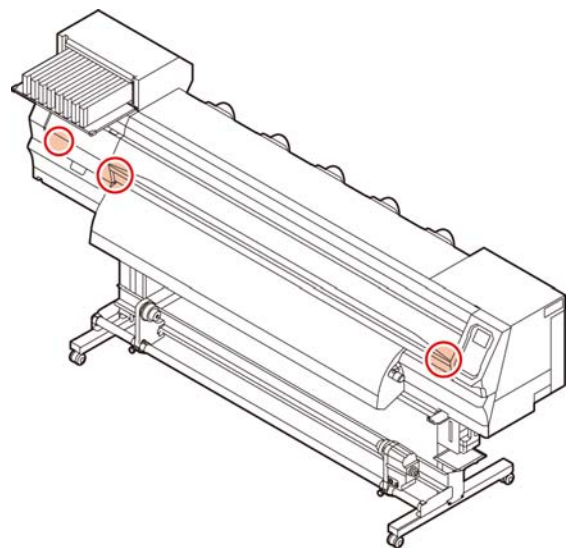
インクカートリッジの取り扱い

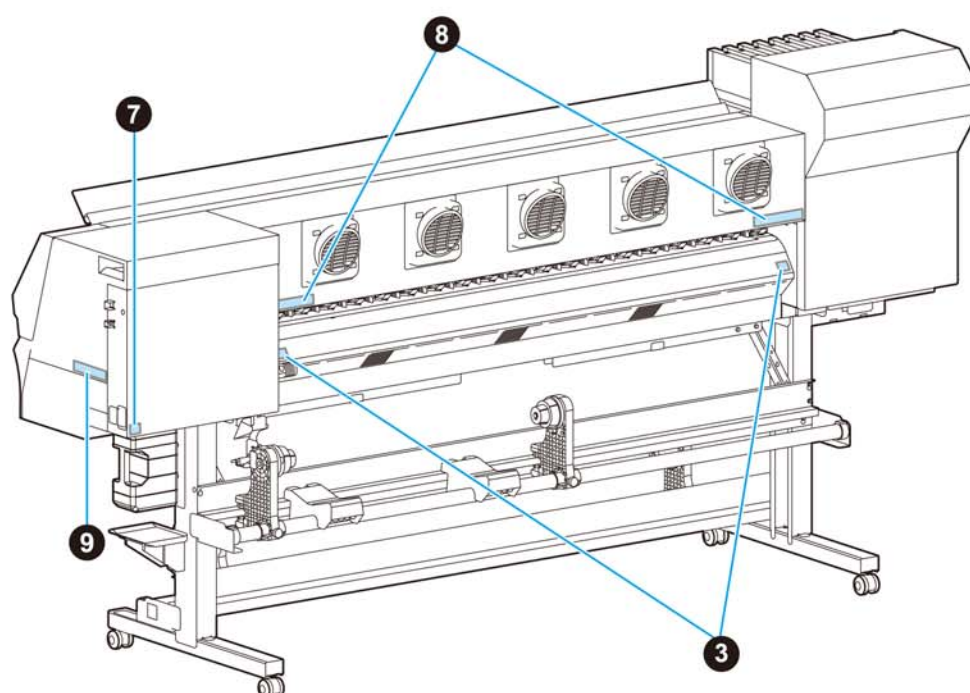
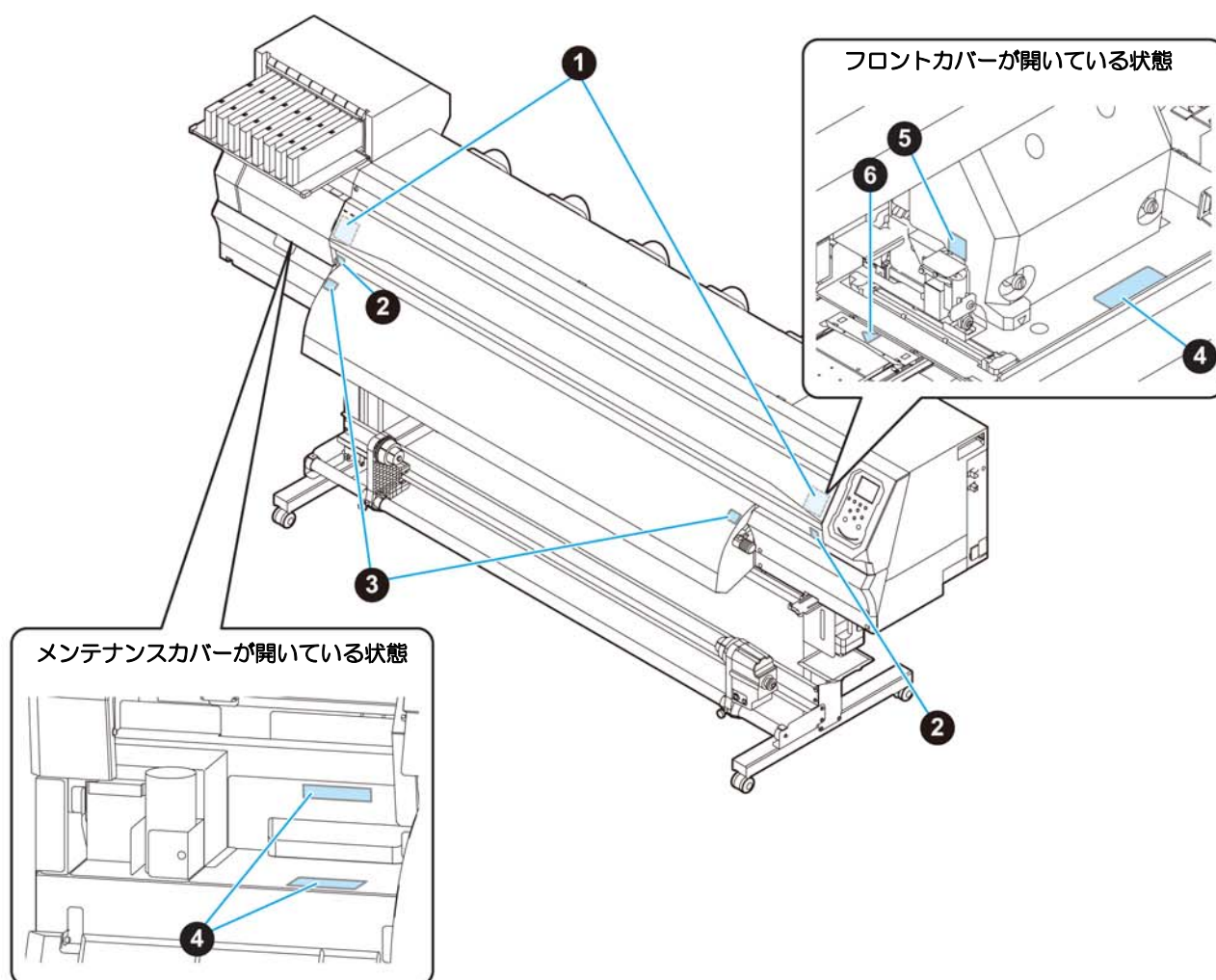
- 当社推奨インクにより安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、当社推奨インクをご使用ください。
- インクパック内、およびインクカートリッジ内のインクを詰め替えないでください。詰め替えたインクを使用して生じた不具合について、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3 時間以上室温環境下に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常にプリントできない場合があります。
- インクカートリッジは、冷暗所で保存してください。
- インクカートリッジや廃インクタンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクカートリッジは、開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、プリント品質が低下します。
- インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。
- インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり、汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- 不要になったインクカートリッジ・インクパック・廃インクは、販売店またはサービス実施店へお渡しください。なお、お客様自身で廃棄処理される場合は、産業廃棄物処理業者または各国の地域の条例に従って処理してください。
- ホワイトインクは、印刷を行う前にインクカートリッジを数回振ってください。

メディアの取り扱い
• 推奨メディアをご使用ください。 安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。 • メディアの特性に合わせ、ヒーター温度を設定してください。(ヒーター搭載機) メディアの種類や特性に合わせて、プリヒーター、プリントヒーターおよびポストヒーターの温度を設定してください。また、専用 RIP からプロファイル指定により自動温度設定を操作パネルから指定する方法があります。指定方法は、お使いの RIP の取扱説明書を参照してください。 • メディアの伸縮にご注意ください。 包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。 • カールしたメディアは使用しないでください。 メディアづまりの原因になるだけでなく、画質にも影響を及ぼします。 また、カールのきついメディアは、カールを取り除いてから使用してください。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。 • メディアをセットしたまま、ヒーターオン状態で長時間放置しないでください。
メディアとホコリについて
• メディアは袋に入れて保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になります。 • 夜帰宅する際は、メディアをロールハンガーに掛けっぱなしにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。

設置上のご注意

注　意	
直射日光が当たる場所	水平でない場所
振動が発生する場所	エアコンなどの 風が直接当たる場所
温度や湿度の変化が 激しい場所	火を使う場所
• 次の環境下でお使いください。 • 使用環境： 20 ～ 30 ℃ (68 ～ 86 °F) 35 ～ 65 % (Rh)	

安全インターロックについて

本機は安全のため、プリント中などにカバーが開いた場合に動作を中断させるためのインターロックがついています。(下図の赤丸部分)

警告ラベルについて

本装置には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。
なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

No.	注文番号	ラベル
1	M910931	CAUTION ATTENTION COVER HAZARD May result in severe injury. When open and close the cover, hold a cover until the end. COUVERCLE-DANGER Peut entraîner de graves blessures. Lors de l'ouverture ou de la fermeture du couvercle, tenir le couvercle jusqu'à la fin. カバー急落下あり 指を挟まれると、ケガや骨折の恐れあり。 カバーの開閉は、最後まで手を添えて行ってください。 M910931
2	M907833	
3	M903239	
4	M903330	
5	M903405	
6	M906144	
7	M907935	
8	M905811	警 告 手指和身体请勿靠近运转部位，以免造成危险 警 告 危険な稼働部 指や体を近づけないように WARNING -HAZARDOUS MOVING PARTS- Keep fingers and other body pars away. WAARSCHUWING GEFÄHRLICHE BEWEGLICHE TEIE Finger und andere Körperteile fernhalten. AVERTISSEMENT PIECES MOBILES DANGEREUSES Doigts et autres parties du corps sont hors de portée.
9	M906031	WARNING AVERTISSEMENT 警 告 This unit has two power cords. For removal of all power, disconnects both cords. Cet appareil a deux cordons secteur. Pour le mettre hors tension, débranchez ces deux cordons secteur. 本機は、2本の電源ケーブルがある。電源をオフする場合、2本とも抜くこと。

第 1 章
ご使用の前に

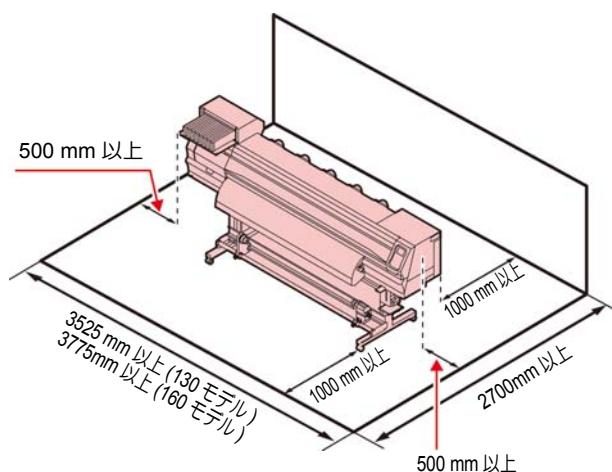
この章では ...

本装置の各部の名称や設置方法など、ご使用の前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本装置の移動

設置場所について

本装置を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさとプリントのために必要なスペースを考慮して設置します。

機種	横幅	奥行き	高さ	全体重量
JV300-130	2525mm	700mm	1392mm	170kg
JV300-160	2775mm	700mm	1392mm	200kg

使用環境温度について

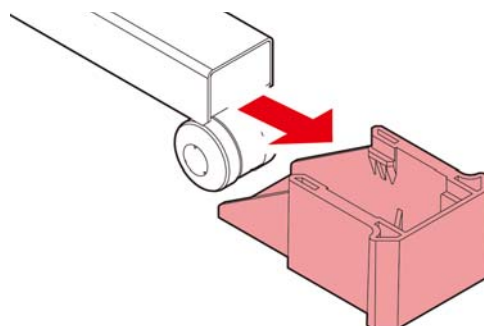
本装置は安定したプリントを行うために、20 ～ 30 ℃の環境でご使用ください。

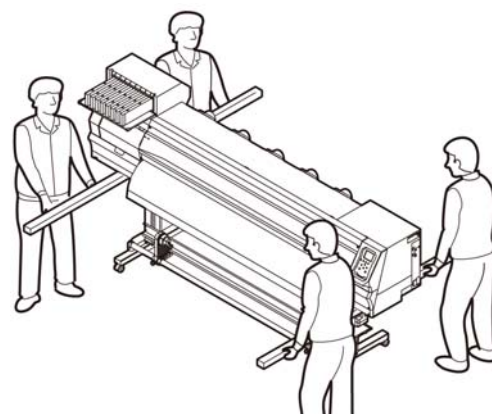
本装置の移動

本装置をやむを得ず、段差のない同一フロアー内で移動する場合は、下記のように行ってください。

- 本装置の移設の際は、弊社営業所または販売店までご連絡ください。
  お客様が本装置の移設を行うと、故障や破損の原因になります。
  本装置の移設は、必ず専門の担当者におまかせください。

- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずキャスターをロックしてください。

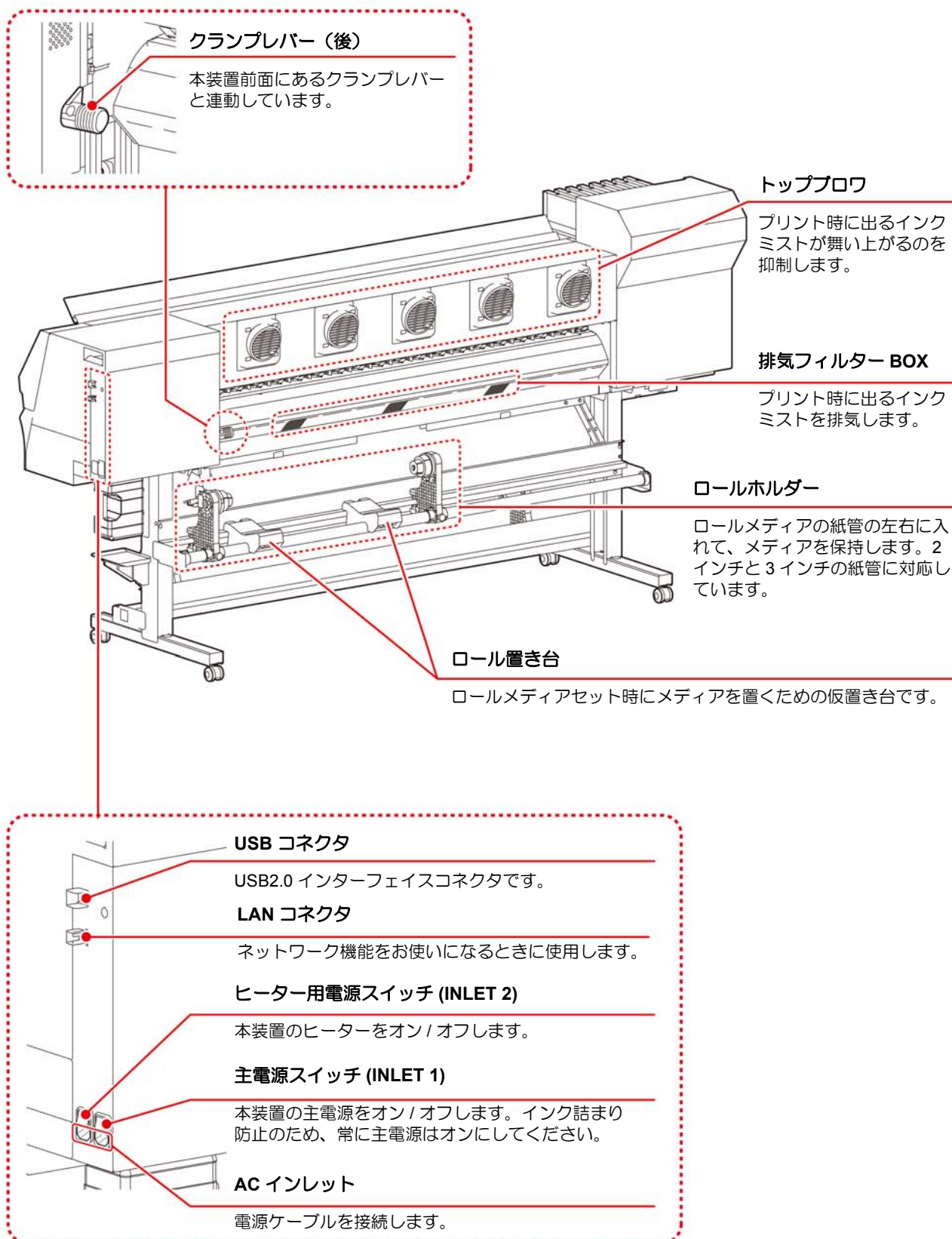
1 キャスターブロックを取り除く

2 図のようにして、移動する

- 本装置を移動するときは、必ず 4 人以上で行ってください。
- カバーを押して移動すると、カバーが割れる可能性があります。

3 キャスターブロックを取り付ける

各部の名称とはたらきについて

装置前面

装置背面 / 側面

クランプレバー（後）
本装置前面にあるクランプレバーと連動しています。
トップブロワ
プリント時に出るインクミストが舞い上がるのを抑制します。
排気フィルター BOX
プリント時に出るインクミストを排気します。
ロールホルダー
ロールメディアの紙管の左右に入れて、メディアを保持します。2 インチと 3 インチの紙管に対応しています。
ロール置き台
ロールメディアセット時にメディアを置くための仮置き台です。
USB コネクタ
USB2.0 インターフェイスコネクタです。
LAN コネクタ
ネットワーク機能をお使いになるときに使用します。
ヒーター用電源スイッチ (INLET 2)
本装置のヒーターをオン / オフします。
主電源スイッチ (INLET 1)
本装置の主電源をオン / オフします。インク詰まり防止のため、常に主電源はオンにしてください。
AC インレット
電源ケーブルを接続します。

操作パネル

操作パネルは、プリント方法の設定、各種操作に使用します。

SEL キー
ファンクションボタン ([FUNC1] ～ [FUNC3]) の機能を切り替えます。

FUNC1 / FUNC2 / FUNC3 キー
各種機能の設定やテストプリントをするときなどに押します。ファンクションボタンの機能は、[SEL] を押すたびに切り替わります。

ディスプレイ

次の各項目を表示します。
- 本装置の状態
- セットしているメディアの幅
- ヒーター温度 (現在温度 / 設定温度)
- インクの状態 *1
- [FUNC1] ～ [FUNC3] に割り当てられている機能 *2

ジョグキー ◀ ▶ ▲ ▼
ローカルでのヘッドやメディアの移動、各種設定の項目選択に使用します。

END/POWER キー
直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを 1 つ前の階層に戻す場合に使用します。また、電源の ON/OFF をするときに押します。(電源を切るときは、長押ししてください。)

ENTER キー
1 段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

状態表示ランプ
本機の状態 (プリント中、エラー発生中等) をランプでお知らせします。

ランプの点灯状態	装置の状態
消灯	ローカルになっていて、プリントデータの受信やエラー等が発生していない状態です。
水色点灯	リモートに切り替えた状態です。
水色点滅	プリント中の状態です。
	テストプリントなど、本機に内蔵しているパターン各種をプリントしている状態です。
青色点灯	本機にプリントデータが残っている状態です。
赤色点滅	エラーが発生しています。
赤色点灯	エラー (SYSTEM HALT) が発生しています。

- 電源スイッチをオンにすると操作パネル下の電源スイッチが青に点灯し、オフにすると消灯します。主電源スイッチ (☞ P.1-4) をオンにしておくと、電源スイッチをオフにしても定期的にインク詰まり防止動作を行います。(オートメンテナンス機能)

*1 : インクの状態について

ディスプレイにインクカートリッジの状態 (インク残量 / エラーなど) をアイコンで表示しています。
各々のアイコンについて説明します。

アイコン	内容
(M)	インク残量を 9 段階で表示します。右に行くに従って、インク残量が少なくなっています。 インクフル / 約 1/8 消費 / 約 1/4 消費 / 約 3/8 消費 / 約 1/2 消費 / 約 5/8 消費 / 約 3/4 消費 / 約 7/8 消費 / ニアエンド
(M 点滅)	インクエンド (4 色インクセット使用時のみ) やインクニアエンドになると表示します。
(⊖)	インクエンドまたはインクエラー (インク残量 0、カートリッジ未装着など) 状態で、カートリッジが使用できないことを表します。
(!)	インク期限切れ、期限切れ 1ヶ月を示します。早めに使用してください。インク期限切れ 2ヶ月を過ぎると使用できなくなります。

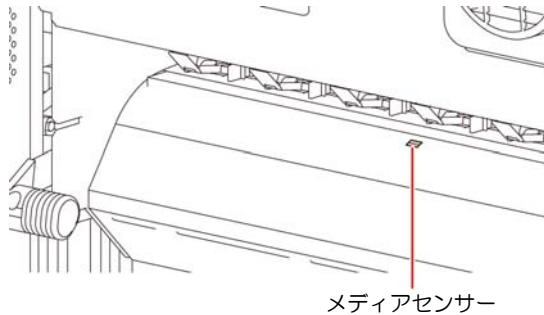
*2 : [FUNC1] ～ [FUNC3] に割り当てられている機能

[FUNC1] ～ [FUNC3] に割り当てられている機能の内容を説明します。

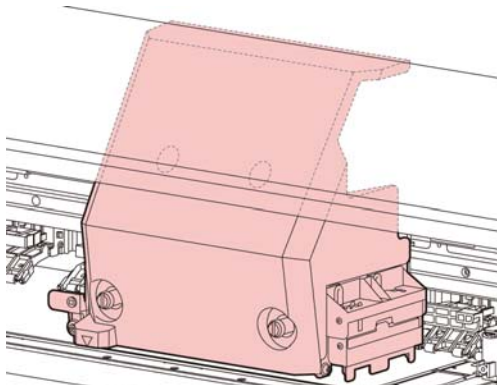
アイコン	内容
MENU	各機能を設定する "MENU" を表示します。
TEST PRINT CLEANING	テストプリント・クリーニング等のメンテナンス機能を表示します。
REMOTE	ローカルで、リモートに移行し、プリントを開始します。
ADJUST	フィード補正、ドット位置補正等の調整機能を表示します。
HEATER	ヒーター温度の設定を行います。
DATA CLEAR	データクリアを実行します。
LOCAL	リモートにてプリントを中断し、ローカルへ移行します。
CUT	メディアカットを実行します。
<<	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、次のページへ移動します。
>>	MENU 画面等で、複数の項目がある場合、前のページへ移動します。
OK	警告メッセージが表示された場合など、確認の完了を行う場合に使用します。
OFF	ヒーター設定を OFF にする場合など、機能を OFF や無効にする場合に使用します。
↓	何らかの設定や機能が割り当てられています。各機能の説明に従い、操作してください。
✓	クリーニングの対象ヘッド選択など、複数の項目を選択する場合に有効 / 無効を切替えます。

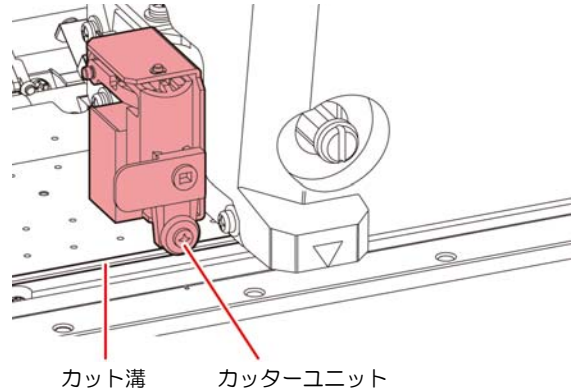
- 本機の状態によって、アイコンの色は変化します。
  アイコンの色が緑色のとき：本機がリモートの状態になっている
  アイコンの色が紺色のとき：本機がローカルの状態になっているとき
  アイコンの色が黄色のとき：ワーニングが発生しているとき
  アイコンの色が赤色のとき：エラーが発生しているとき

メディアセンサー

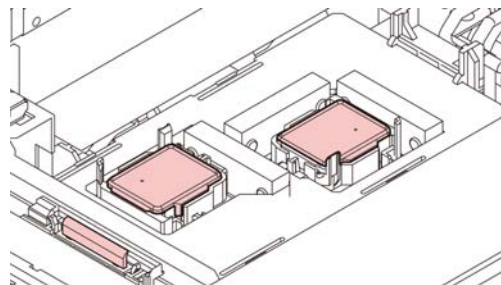
メディアセンサーは、メディアの有無とメディア長を検出します。
プラテン上（背面側）にメディアセンサーが 1 箇所あります。

重要！
・メディアをセットするときは、プラテン後部側にあるメディアセンサーを覆い隠すようにセットしてください。センサー上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

キャリッジ

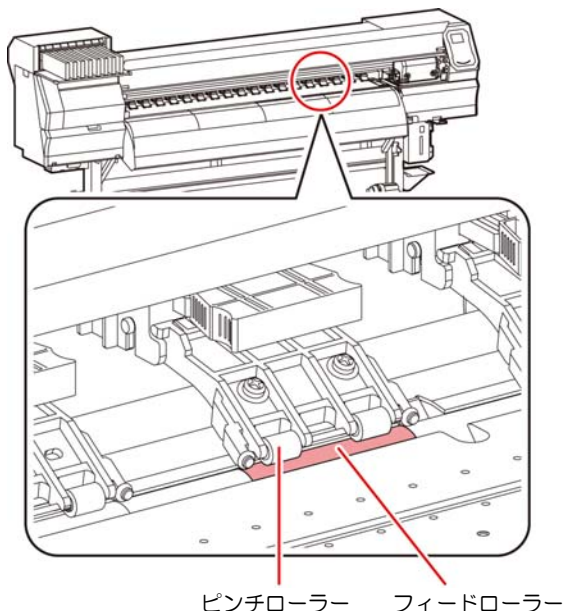
キャリッジには、プリント用のインクヘッドや、メディアカット用のカッターユニットなどが付いています。
また、メディアの厚さに合わせて、ヘッドの高さを 3 段階に調整するレバーが付いています。（P.2-4）

カッター刃とカット溝

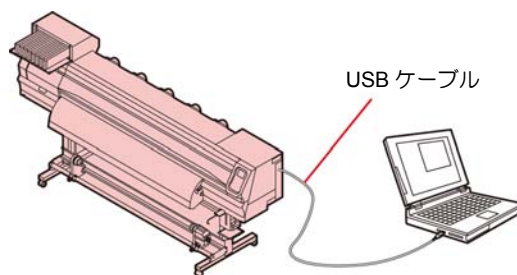
キャリッジにはメディアをカットするカッターユニットが付いています。
プラテンのカット溝に沿ってメディアをカットします。

キャッピングステーション

キャッピングステーションは、インクキャップやヘッドのメンテナンスに必要なワイパなどで構成されています。
インクキャップは、インクヘッドのノズル乾きを防ぎます。
ワイパは、ヘッドのクリーニングに使用します。
ワイパは、消耗品です。ワイパが変形したりメディアが汚れる場合は、新しいワイパに交換してください。

・キャッピングステーション内をクリーニングする場合は、必ず付属のゴーグルを着用してください。目にインクが入る危険があります。

ピンチローラーとフィードローラー

本装置は、「ピンチローラー」と「フィードローラー」でメディアを保持し、プリント時にメディアを前側に送り出します。

・本装置を使用しない時は、ピンチローラーを上げた状態にしておいてください。ピンチローラーを下げたまま長時間放置しておくと、ピンチローラが変形し、メディアを確実に保持できなくなる場合があります。

ケーブルを接続する

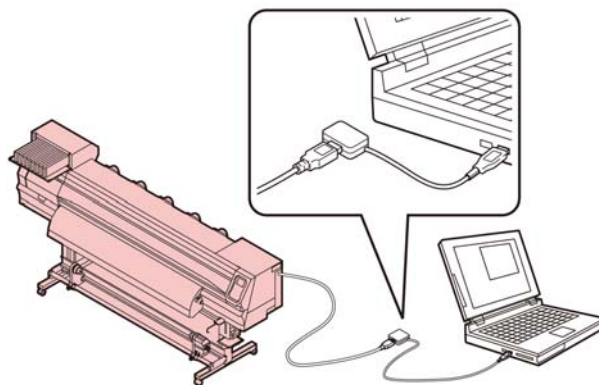
USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本装置をUSB2.0インターフェイスケーブルで接続します。

・ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
・USB2.0 インターフェイスがコンピュータに付いていない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。

USB 2.0 インターフェイスについての注意事項

・ご使用の RIP が、USB 2.0 に対応している必要があります。

● **1** 台のパソコンに複数の **JV300** を接続する場合

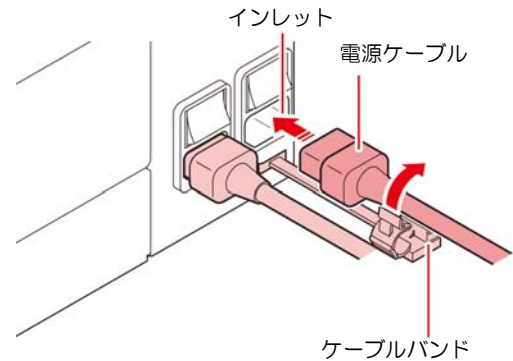
1 台のパソコンに JV300 を複数台接続する場合、JV300150 を正常に認識できない場合があります。
複数の USB ポートが付いているパソコンの場合は、他の USB ポートに接続して JV300 を認識できるか確認してください。USB ポートを変えても JV300 を認識しない場合は、市販の USB2.0 リピータケーブルを使用してください。

● **USB** ハイスピードモードの周辺機器について

JV300 と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。
外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに JV300 を接続した場合、JV300 へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、プリント中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

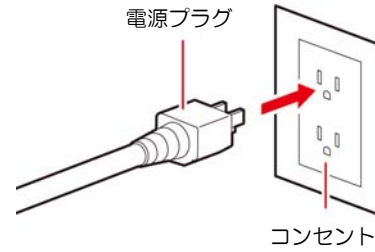
● **USB メモリの抜きかた**

JV300 を接続してあるパソコンに USB メモリを差してある場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」により「停止」させてから抜いてください。
[ERROR 10 コマンドエラー] 発生の原因になります。
スプールデータをハードディスクにコピーした後、プリント出力してください。

電源ケーブルを接続する

1 電源ケーブルを本装置のインレットに差し込む

2 ケーブルバンドを固定する

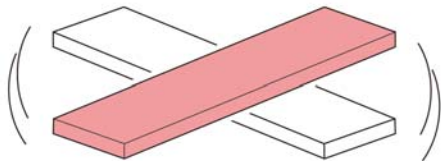
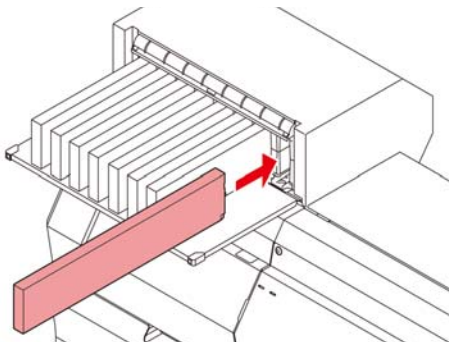
- 本装置に備え付けのケーブルバンドでケーブルを固定します。

3 電源プラグをコンセントに差し込む

- 付属品の電源ケーブル以外は使用しないでください。

- 必ず本装置の近くにある電源コンセントに接続し、容易に取り外しができるようにしてください。
- 電源ケーブルのプラグは、アース処理したコンセントに接続してください。感電・火災の原因となります。

インクカートリッジを入れる

インクカートリッジを挿入します。

1 図のようにして、インクカートリッジを振る

2 インクカートリッジを差し込む

- IC チップがある方を左側に向けて、縦にして差し込んでください。
- ディスプレイには、次のように色を表示します。ブラック : K, シアン :C, マゼンダ :M, イエロー: Y, ブルー :B, ライトシアン : c, ライトマゼンダ : m, ライトブルー : b

インクカートリッジを交換する

ディスプレイに[インクエンド]や[インクニアエンド]などが表示されたときは、次のようにしてください。

● [インクエンド] が表示されたとき

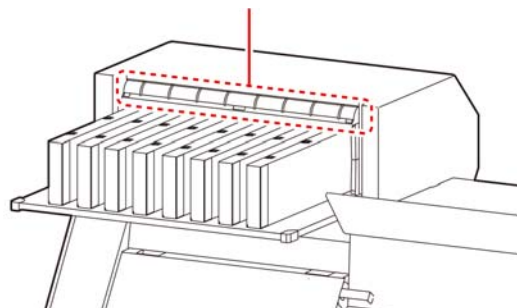
(1) 交換するインクカートリッジを引き抜く
(2) IC チップの向きに注意して、新しいインクカートリッジを差し込む

● [インクニアエンド] が表示されたとき

インク残量が少なくなっています。続けてプリントをすることはできますが、プリント中にインクがなくなる恐れがあります。早めにインクカートリッジの交換をすることをお勧めします。

- [インクニアエンド] 表示中は、オートクリーニングは動作しません。（☞ P.3-9）

インクカートリッジランプについて

インクカートリッジの上にあるランプで、セット中のインクカートリッジの状態を確認することができます。

ランプの状態	説　明
緑色に点灯	異常なし (インク供給中)
消灯	異常なし
黄色に点灯 または点滅	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクニアエンド ・インクエンド ・インク期限切れ (1ヶ月)
赤色に点滅	インク期限切れ (2ヶ月)
赤色に点灯	次のいずれかのエラーを発生しています。 ・インクの残量が 0 になった ・インクカートリッジが挿入されていない ・その他のインクエラー (☞ P.5-7)

インク使用期限について

インクカートリッジには使用期限があります。
使用期限を過ぎると、ローカルとガイダンスメッセージにメッセージが表示されます。（☞ P.5-5、 P.5-7）
カートリッジに記載してある期限の翌々月までは使用可能ですが、3 か月後になった時点で使用できなくなります。LED「赤」が早く点滅してお知らせするので、交換してください。

例）消費期限の記載が 2014 年 4 月の場合
　5 月：使用可能
　6 月：使用可能 (LED 黄点灯)
　7 月：使用不可 (LED 赤点滅)

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

- 本装置には専用のインクカートリッジをお使いください。本装置は、専用のインクカートリッジを認識して動作します。インクカートリッジ等の改造により故障した場合は、保証期間内であっても保証の対象外になります。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、３時間以上、室温環境下に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは開封してから 3 カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものはプリント品質が低下します。
- インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 空になったインクカートリッジは、産業廃棄物の処理業者に処理を依頼してください。

- インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクがもれることがあります。
- インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。

- インクカートリッジは分解しないでください。

メディアについて

使用可能なメディアサイズと､その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

機種名		JV300-130	JV300-160
推奨メディアの種類		ターポリン /FF(Flexible Face)/ 塩ビフィルム	
最大幅		1371mm	1620mm
最小幅		210mm	210mm
最大プリント範囲		1361mm	1610mm [*1]
ロールメディア	厚さ	1.0mm 以下	
	ロール外径	Φ250mm 以下 (紙メディア) Φ210mm 以下 (その他)	
	ロール重量	40kg 以下	
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	プリント面	ロール外側面	
	巻き終り処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着	

*1.　設定メニューの“ マージン (右 / 左)” を最小 (-10mm) に設定している場合。

メディア取り扱い上の注意

メディアの取り扱いについて、次の点にご注意ください。

- **推奨メディアをご使用ください。**
  安定した高画質でプリントするには、弊社推奨のメディアをご使用ください。
- **メディアの伸縮にご注意ください。**
  包装を開けて間もないメディアは、使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。包装を開けて、使用する場所で 30 分以上さらしてから装置に取り付けてください。
- **カールしたメディアは使用しないでください。**
  紙詰まりの原因になります。コーティングした定型サイズ紙をまるめて保管する場合は、コーティング面が外側になるようにしてください。
- **メディアのフチのホコリにご注意ください。**
  ロールによっては、包装に含まれるホコリがロール端面に溜まっていることがあります。そのままお使いになると、ノズル抜けやインクのボタ落ちなどによるプリント品質劣化の原因となりますので、ロール端面についたホコリを取り除いてからセットしてください。

メニューモードについて

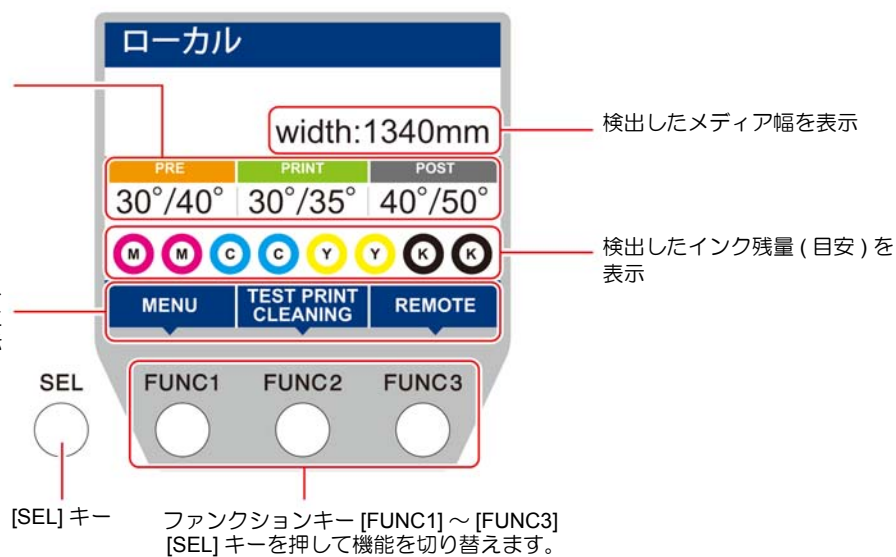
本装置には 4 つのモードがあります。各メニューモードについて説明します。

ノットレディモード

メディアを検出する前のモードです。

ローカルモード

ローカルモードは、プリント準備状態のモードです。
全てのキーが有効です。
コンピュータから、データを受信できます。ただし、プリントは行いません。

ローカルモード中のディスプレイ表示

ローカルでは以下の操作が可能です。

- ジョグキーを押して、プリント原点やプリント範囲を設定します。
- [ENTER] キーを押して、インク残量、カートリッジエラーの内容、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。

メニューモード

ローカル時に、[FUNC1] キーを押すとメニューモードになり、各機能を設定できます。

リモートモード

受信したデータをプリントします。

第２章
基本的な使い方

この章では ...

プリントするためのインク／メディアの準備や、プリントまでの手順や設定方法について説明します。

作業の流れ

1 電源を入れる / 切る

「電源を入れる / 切る」（☞ P.2-3）を参照してください。

2 メディアをセットする

「メディアをセットする」（☞ P.2-4）を参照してください。

3 テストプリントをする

「テストプリントをする」（☞ P.2-10）を参照してください。

4 ヘッドクリーニング

「ヘッドクリーニング」（☞ P.2-12）を参照してください。

5 データをプリントする

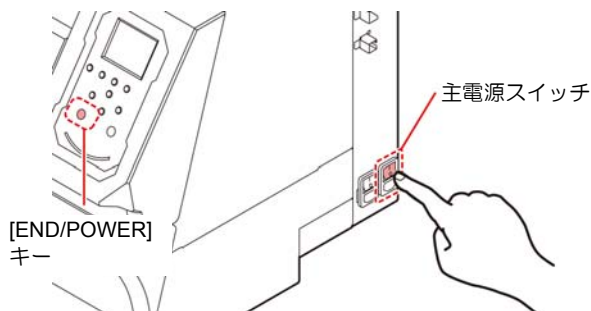
「データをプリントする」（☞ P.2-13）を参照してください。

電源を入れる / 切る

電源を入れる

本装置には、2 つの電源スイッチがあります。
主電源スイッチ :
本装置の側面にあります。常時「オン」にしておいてください。
[END/POWER] キー :
通常、電源のオン / オフをするときはこのキーを使用します。
[END/POWER] キーがオフでも、主電源スイッチがオンになっていれば、定期的に電源が自動的に入り、ノズル詰まり防止機能が動作します。

1 主電源スイッチを入れる

- 装置側面にある主電源スイッチを「I」側に倒します。

- 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示し、初期動作を実行します。

2 END/POWER キーを押して、電源を入れる

- ローカルになります。

3 接続しているコンピュータの電源をオンにする

- フロントカバー / メンテナンスカバーを閉じてから電源を入れてください。
- 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

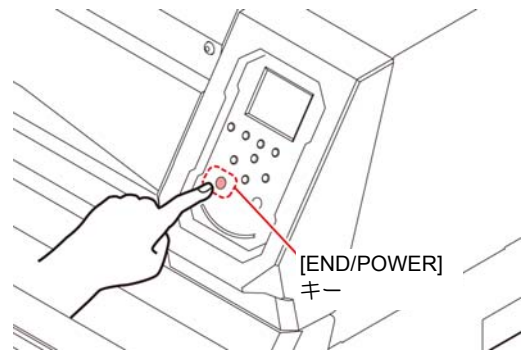
電源を切る

プリンタの使用が終了したら、装置前面にある電源スイッチを押して電源をオフにします。
電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドはキャッピングステーションに戻っているか。
- エラーは発生していないか。
(P.5-8 エラーメッセージ)

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2 END/POWER キーを長押しして、電源を切る

- 装置側面にある主電源スイッチは、切らないでください。
- 次に、本装置をご使用になるときは、[END/POWER] キーを押してからお使いください。

電源を切るときのご注意

● **主電源スイッチは切らないでください。**
主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル詰まり防止機能（フラッシング機能）が働きます。
主電源スイッチを切っていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かず、ノズル詰まりの原因となります。

● **フロントカバー/ メンテナンスカバーは閉めた状態にしてください。**
カバーが開いていると、フラッシング等のオートメンテナンス機能が働かなくなります。

● **ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。**
ヘッドがキャッピングステーションに戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。
このときは、再度、電源を入れ、ヘッドがキャッピングステーションに戻ったことを確認してから電源を切ってください。

● **プリント中は電源を切らないでください。**
ヘッドがキャッピングステーションに戻らないことがあります。

● **[END/POWER] キーで電源を切ってから、主電源スイッチを切ってください。**
装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある [END/POWER] キーを長押し、操作パネルのディスプレイ表示が消えていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

メディアをセットする

本装置では､ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。
使用できるメディアについては、P.1-11「使用可能メディアサイズ」を参照してください。

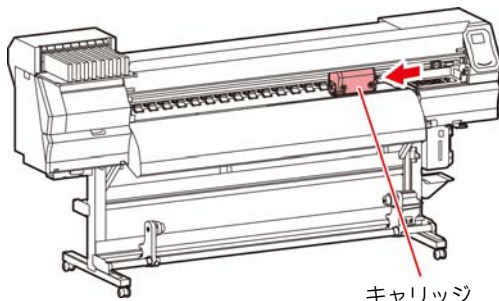
重要！

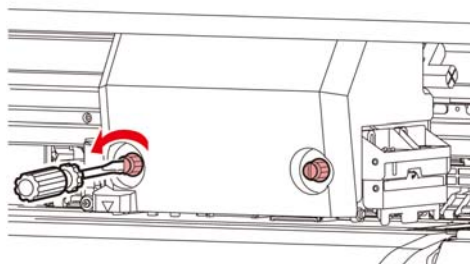
- ロールメディアをセットするときは、メディアを足などに落とさないように注意してください。メディアの重みで怪我をすることがあります。
- ロールメディアをセットする場合は、2 人以上でセットしてください。ロールメディアの重みで腰を傷める可能性があります。
- ヘッド高さの調整は、メディアをセットする前に行ってください。メディアをセットしたあとに調整すると、メディア詰まりやプリント品質の低下、ヘッドの破損の原因となります。
- 使用目的に応じ、ヘッド、イニシャル高さのレンジを 2 段階に調整できます。
- 本装置の印刷高さ範囲は、L レンジ (2mm/3mm) から H レンジ (3mm/4mm) です。(出荷時は、L レンジ 2mm で設定)

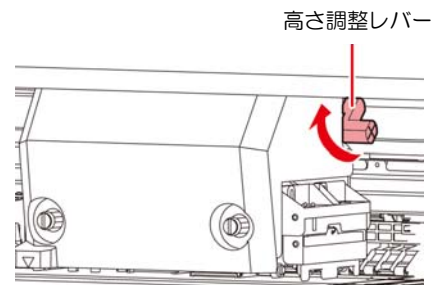
ヘッド高さを調整する

お使いになるメディアの厚みに合わせて､ヘッド高さを調節してください。

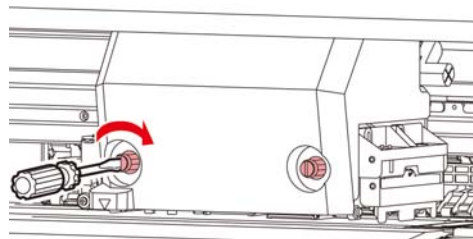
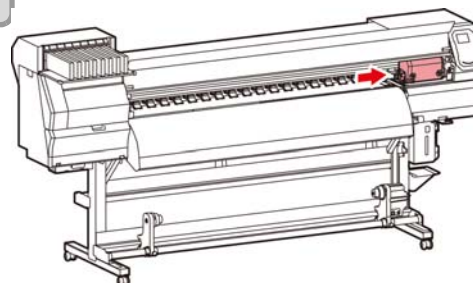
1 キャリッジをプラテン上に移動する

- 電源オン時
  メンテナンス機能の「ステーションメンテナンス - キャリッジアウト」を実行 (P.4-6 手順 1,2)
- 電源オフ時
  フロントカバーを開け、手でキャリッジを動かす

2 正面にあるネジを緩める

- マイナスドライバー等を使って、1 回転程度回して緩めます。

3 高さ調整レバーをメディアに応じて調整する

- P.2-4「調整レバーとレンジについて」を参照して、レバーの位置を調整してください。
- 高さ調整レバーは、確実に上か下に設定してください。レバーが中間にあると、プリント異常をおこします。

4 キャリッジを固定する

- ネジは緩まないように確実に締めてください。

- 高さ調整レバーを L レンジまたは H レンジに設定している場合、ねじを締め込むときに高さ調整レバーを下に押しつけたり、上に押し上げたりしないでください。

5 キャリッジをステーションに戻す

調整レバーとレンジについて

レンジ	ヘッド高さ	備考
L レンジ	2mm (出荷時設定位置)	ヘッド高さのベースを 1 ～ 2mm 上げることができます。 この場合は、弊社営業へお問い合わせください。
M レンジ	2.5mm	
H レンジ	3mm	

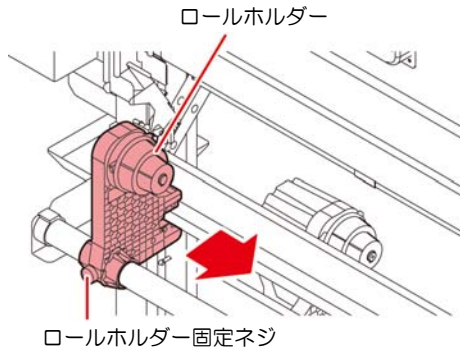
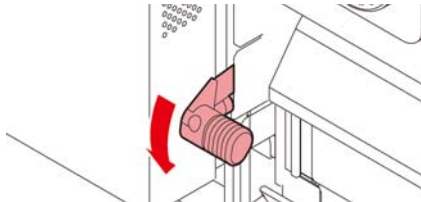
- メディアの種類により、ヘッドにホコリが付着しやすい場合やインクこすれが発生する場合、レバーを「H レンジ」にセットしてください。

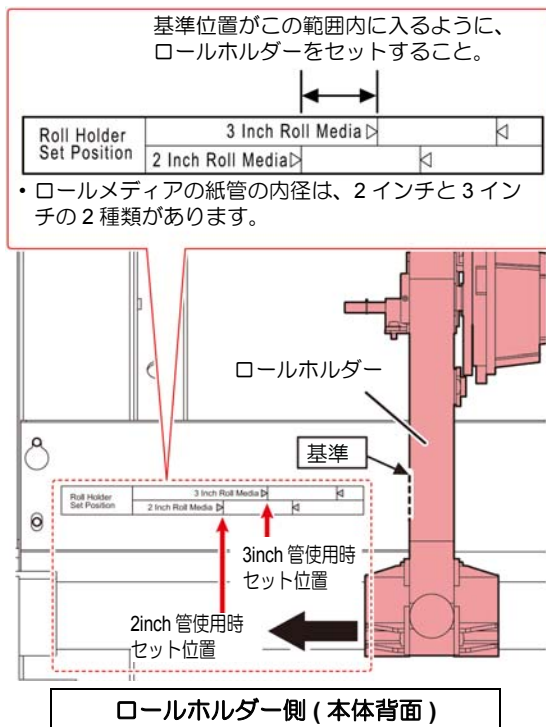
- 装置設置後に転写インクからその他の水性インクに変更する場合、または水性顔料インクから転写インクに変更する場合、ヘッドイニシャル高さの調整が必要です。弊社営業所にご相談ください。

ロールメディアをセットする

ロールメディアは、装置背面にあるロールメディアハンガーにセットします。

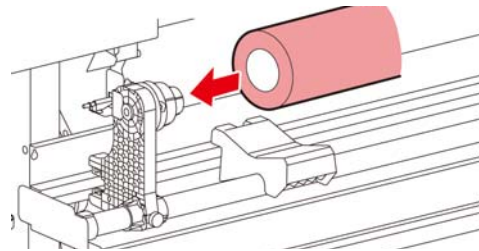
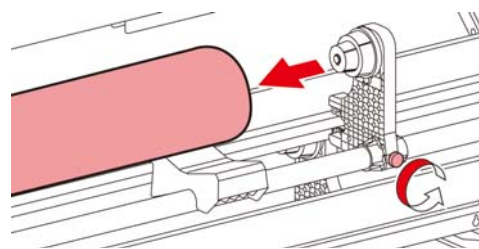
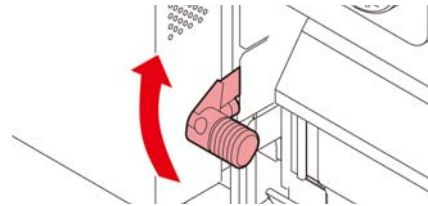
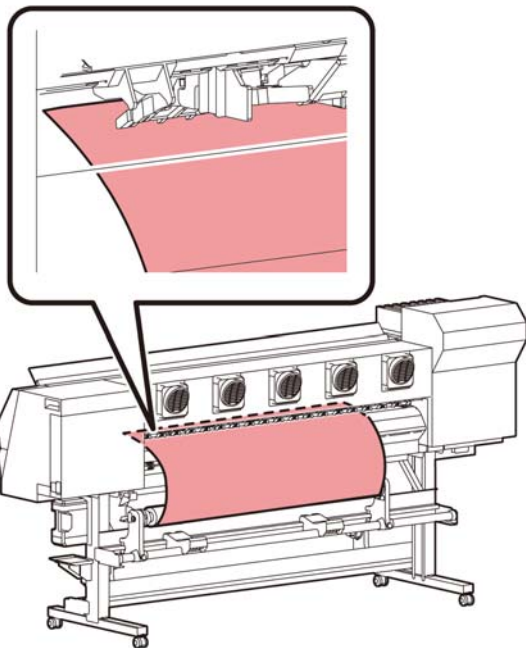
1 装置背面にあるロールホルダーを、装置中央方向に移動する

- ロールホルダー固定ネジを緩めてから移動させます。

2 クランプレバーが下がっていることを確認する

3 ロールホルダーをロールセット位置へ移動する

- ロールストッパーアームと本体の間に、ロールストッパーが入り込んでいないことを確認してください。

4 ロールホルダー固定ネジを締める

- 手順 2 ～ 3 を、再度確認してください。

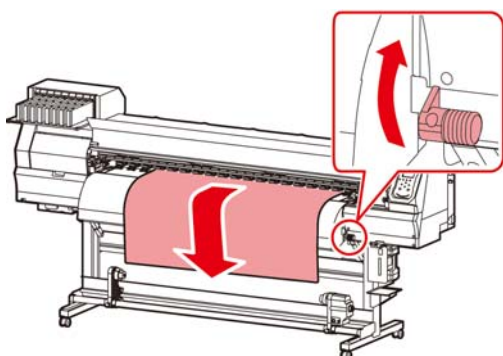
5 左側のホルダーにロールメディアの紙管を差し込む

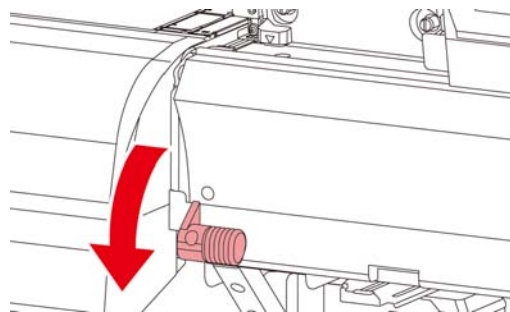
- 紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。

6 右側のロールホルダーのネジを緩め、ホルダーを紙管に差し込む

7 装置背面のクランプレバーを上げる

8 本装置にロールメディアを差し込む

- メディアを斜めにすると、引っ掛かりが少なくスムーズに差し込めます。

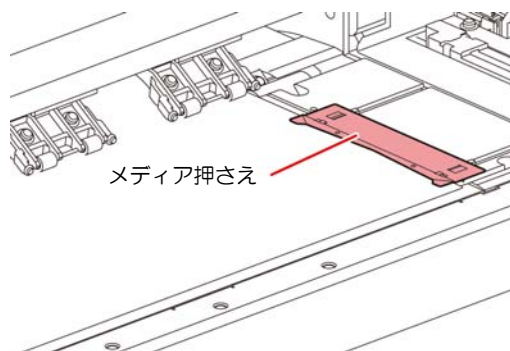
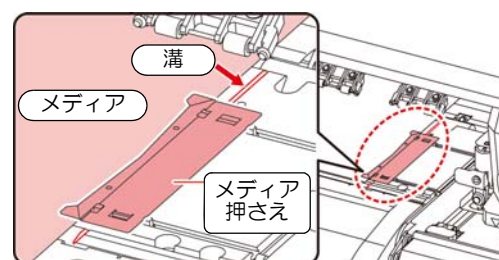
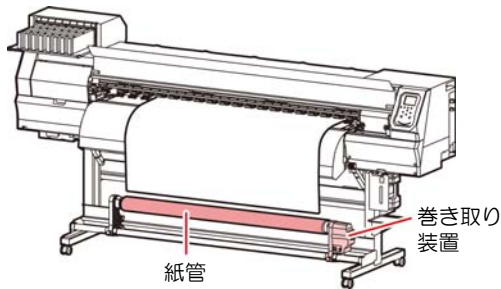
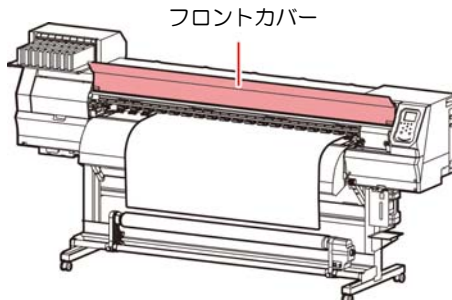
(1) プラテンの先端まで届くくらい、メディアを引き出す
(2) プラテンとピンチローラーの間にメディアを差し込む
  - 装置前面からメディアをつかめるくらい、メディアを送り出してください。

(3) 装置背面からクランプレバーを下げる
  - メディアが保持されます。

9 ロールメディアを引き出す

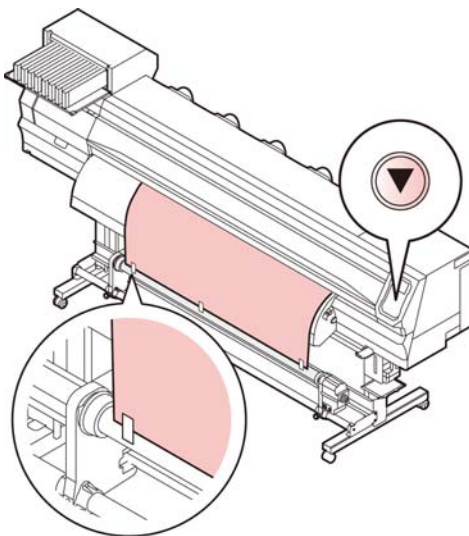
(1) フロントカバーを開ける
(2) 装置前面からクランプレバーを上げる
(3) ロールメディアを静かに引き出し、軽くロックのかかる位置で止める

10 ロールメディアを均等にし、クランプレバーを下げる

- メディアの数カ所を軽く引っ張り、ロールメディアの引き出し量がほぼ均等になっているのを確認してから、クランプレバーを下げてください。

11 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

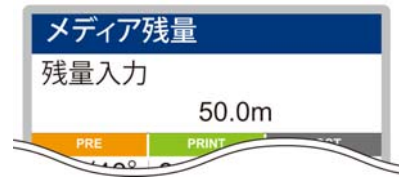
- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。

- メディアをセットするときは、プラテン上の溝にメディア右端を合わせるようにしてセットしてください。メディアを溝よりも右側にセットすると、メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因となります。
- メディアが規定位置より左右に寄っていると、メディア検出後、エラーメッセージ " メディア イチミギスギマス " を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

12 巻き取り装置に空の紙管をセットする

13 フロントカバーを閉じる

14 [◀] を押して、“ ロール ” を選択する

- メディア幅を検出します。
- メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定が “ON” の場合 (☞ P.3-13)、メディア幅の検出後メディア残量入力画面を表示します。(☞ P.2-7)

15 巻き取り装置にメディアを固定する
(☞ P.2-8)

(1) [▼] を押して、巻き取り装置の紙管に届くまでメディアをフィードする
(2) 粘着テープでメディアの中央を固定する
(3) 同様にしてメディアの左右を固定する
- ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにタルミ、シワが無いことを確認し、テープを貼ってください。

メディア残量入力について

メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定を “ON” にしている場合 (☞ P.3-13)、メディア幅の検出が終了すると、メディア残量の入力画面が表示されます。

1 メディア残量入力画面を表示する

2 [▲][▼] を押して、メディア残量を入力する

3 [ENTER] キーを押す

メディア残量プリントについて

メンテナンス機能の「メディア残量表示」の設定を “ON” にしている場合 (☞ P.3-13)、現在の日付とメディア残量を印刷したリストをプリントすることができます。

1 ローカルで、[▲][▼][◀][▶] を押す

- 原点設定モードになります。

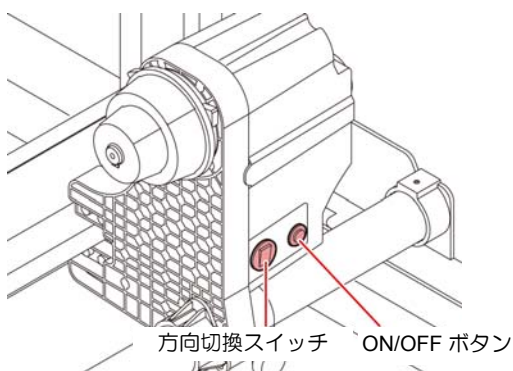
2 [FUNC3] キーを押す

- メディア残量プリントの確認画面が表示されます。

3 [ENTER] キーを押す

- メディア残量プリントを開始します。

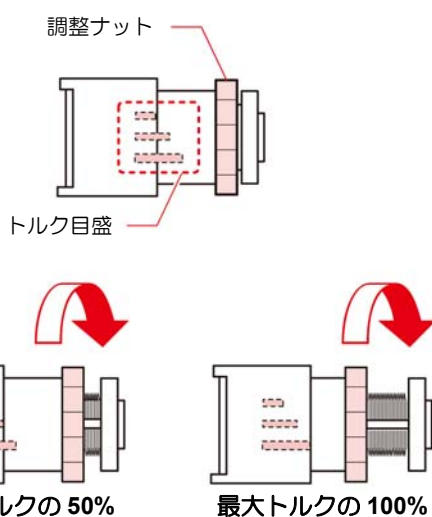
巻取装置について

小幅巻取装置のスイッチを使って、メディアの巻き取り方向の選択などができます。

方向切換スイッチ	上（REVERSE）	プリント面を内側にして巻き取る
	下（FORWARD）	プリント面を外側にして巻き取る
ON/OFF ボタン		巻取動作の ON/OFF を切り替える (ボタンを押して巻取装置を動作させると、再度ボタンを押すまで巻取動作を継続します。*1)

*1. ON/OFF ボタンを押している間だけ、巻取動作をするように背邸できます。詳しくは、マシン設定の「巻取りユニットの設定」(P.3-12) を参照してください。

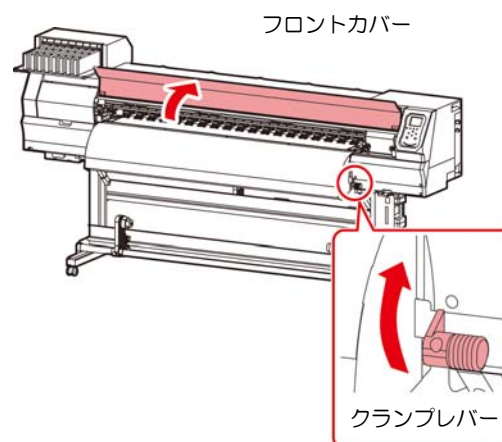
トルクリミッタを調節する

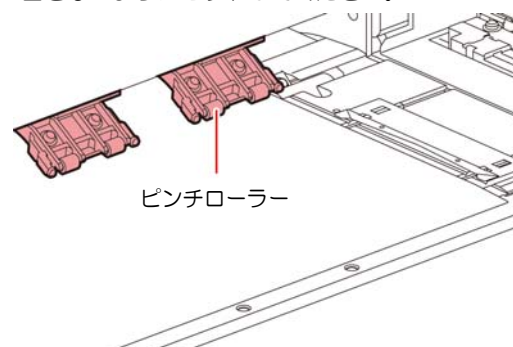
巻き取り装置には、トルクリミッタが付いています。トルクリミッタを調整して、巻き取りの強さを変更できます。（工場出荷時は、トルクリミッタを " 中 " で設定してあります。）薄いメディアを使用してテンションが強すぎる時は、調節を弱めてください。

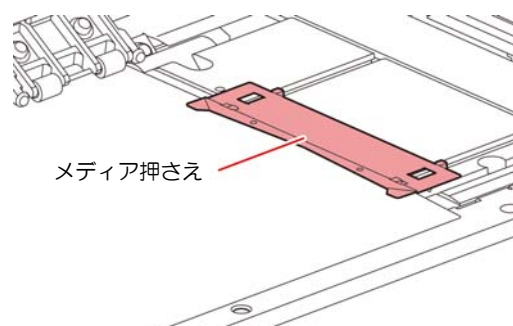
時計回り　：テンションが強くなる（ターポリン等の重量のある厚いメディア）
反時計回り：テンションが弱くなる（軽いメディア）

重要!
- トルクリミッタの調節が弱いと
  メディアを確実に巻き取ることができません。
- トルクリミッタの調節が強いと
  メディアによってはたるんでしまい、画質に影響する場合があります。

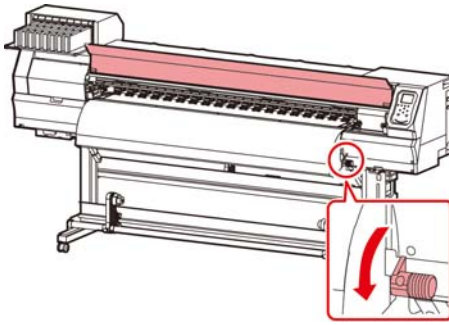
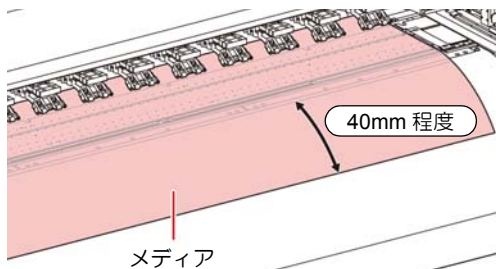
リーフメディアをセットする

リーフメディアは、メディアをロールホルダーに固定する必要はありません。

1 フロントカバーを開け、クランプレバーを上げる

2 リーフメディアをピンチローラーとプラテンの間に差し込む

- メディアが右端のピンチローラーより右側にはみ出さないようにセットしてください。

3 メディア押さえでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラーより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外してプリントしてください。

4 クランプレバーを下げ、フロントカバーを閉じる

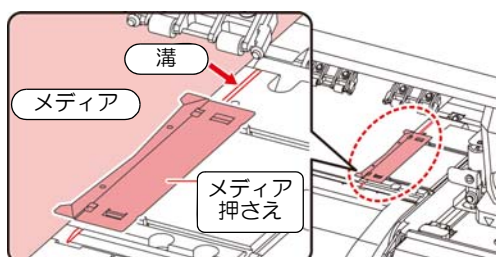
• メディアはまっすぐにセットしてください。

• メディアは、プラテンの黒い部分に 40mm 程度出した状態でセットしてください。これより短いと、メディア検出ができない場合があります。

5 ENTER キーを押す

6 ▶ を押して、“ リーフ ” を選択する

7 メディアの検出を始める

(1) メディア幅を検出する
(2) メディアがフィードし、メディア後端の検出をする
(3) 検出が終わると、ローカルに戻る

メディア押さえをお使いになるときの注意事項

• メディアをセットするときは、プラテン上の溝にメディア右端を合わせるようにしてセットしてください。メディアを溝よりも右側にセットすると、メディアが斜行した場合、メディアが浮き上がりヘッドを破損する原因となります。
• メディアが規定位置より左右に寄っていると、メディア検出後、エラーメッセージ “ メディア イチ ミギスギマス ” を表示してお知らせします。メディアをセットし直してください。

原点を変更する場合は

プリント原点の位置を変更することができます。
変更したい位置へLEDポインタを移動させて決定します。

1 ローカルで、▲▼◀▶ を押す

• 原点設定モードになります。

2 ▲▼◀▶ を押して、LED ポインタの光点を変更したい位置へ合わせる

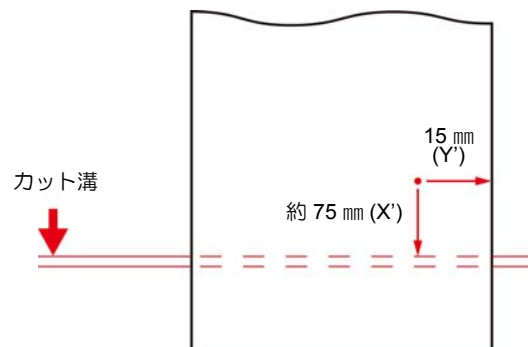
• [▲][▼][◀][▶]でキャリッジとメディアを移動させて選びます。

3 プリント原点を決定したら、ENTER キーを押す

• 原点が変更されます。

原点設定位置の目安

プリント原点は、奥行方向 (X') はプラテン上にあるカット溝から奥側約 75 mm の位置になります。
横方向 (Y') の値は、メディア右端より 15 mm です。設定メニューの「マージン」(☞ P.3-8) により変更できます。
また、ジョグキーを使って変更することもできます。

2

ヒーターの準備をする

ヒーターの温度設定を変更する

ヒーターの温度設定は、設定メニューの「ヒーター」で変更・保存できます。（☞ P.3-6）
ここでは、設定モードで設定した温度の変更方法について説明します。
お使いになるメディアに合わせて、ヒーター温度を設定してください。
お買い上げ時、ヒーターの温度設定は "OFF" になっています。
プリント中にも温度の調整ができるため、適切な温度調整ができます。
周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分から数十分かかることがあります。

1 ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC2) (HEATER) を押す

• ヒーター温度調節画面を表示されます。

2 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して、各ヒーターの温度を設定する

ヒーターの選択 : [◀][▶] で選ぶ
温度の設定 : [▲][▼] で設定

• ヒーターの加熱が始まります。

3 ヒーターの加熱が終了する

• ヒーターの温度が設定温度に達すると、ディスプレイのヒーターアイコンが緑色に変わります。

4 終了するとき、(ENTER)キーを押す

• ローカルに戻ります。

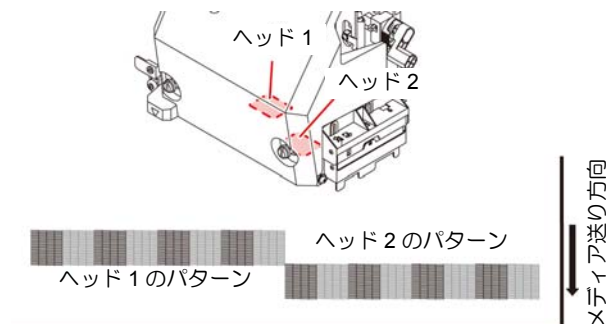
• 本装置は、20 ～ 30°C の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

• 手順 2 で [FUNC3] (OFF) を押すと、全ヒーターが “OFF” になります。
また、[FUNC1] を押すと、全ヒーターが 10 °C ずつ上がります。

テストプリントをする

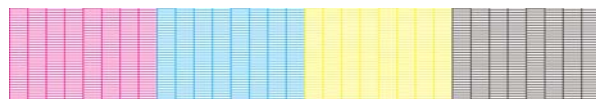
テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。

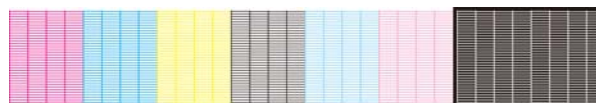
ヘッドの配列とテストパターンの関係

ヘッドの配列とプリントしたテストパターンのプリント位置は、下図の通りです。

テストパターンについて

本機では、2 種類のテストパターンを用意しています。

● 通常のテストパターン
(ホワイトインク以外のインクをご使用の場合)

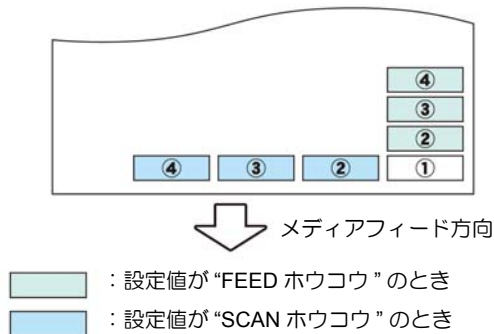
白いメディアにテストパターンをプリントして確認できるインクをお使いの場合は、こちらのテストパターンをプリントしてください。

● ホワイト確認用のテストパターン

白いメディアをお使いでホワイトインクの吐出状態を確認したい場合は、こちらのテストパターンをプリントしてください。
When you use a white media and wish to check discharging status of white ink, print this test pattern.

テストプリントに関する注意事項

• リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中までしかプリントされません。
• ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

テストプリントを行う

テストパターンをプリントして、ノズル詰まりなどの吐出不良（カスレや抜け）がないか確認します。
また、テストプリントを繰り返し実行するときのために、プリントするテストパターンの配置方向を次の2種類から選択することができます。使い方に合わせて選択してください。

：設定値が “FEED ホウコウ ” のとき
：設定値が “SCAN ホウコウ ” のとき

テストプリントの前に確認してください
• メディアをセットしているか（☞ P.2-4）
• 原点位置をセットしているか
• ヘッドギャップを調整しているか（☞ P.2-4）

通常のテストパターンでテストプリントを行う

1 ローカルで、(FUNC2) **(TEST PRINT/CLEANING)** を押し、(ENTER)キーを押す

- テストプリントメニューを表示します。
- [▲][▼] を押して、テストパターンの配置方向を変更できます。ここで変更した配置方向は、次回プリント時にも反映されます。
- 配置方向を “ スキャン方向 ” から “ フィード方向 ” に変更してテストプリントを実行すると、1 つめのテストプリントの位置に改行されます。

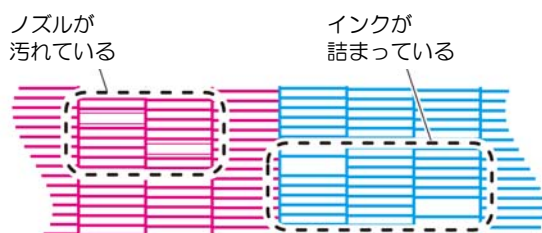
2 (ENTER)キーを押す

- テストプリントを開始します。
- プリントが終わると、ローカルに戻ります。

3 プリント結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（☞ P.2-12）

正常なパターン

異常なパターン

ホワイト確認用のテストパターンでテストプリントを行う

パターン中のホワイトインク箇所に、下地をプリントすることで、確認しやすくします。

1 ローカルで、(FUNC2) **(TEST PRINT/CLEANING)** を押し、(ENTER)キーを押す

- テストプリントメニューを表示します。

2 (▲)(▼)を押して、“ 特色確認 ” を選ぶ

3 (ENTER)キーを押す

- 次の順番で、テストパターンをプリントします。

(1) 黒塗りつぶしパターンをプリントする
(2) パターンを 30 秒間乾燥する
- [ENTER]キーを押すと待ち時間をキャンセルし手順 (3) へ移行します。

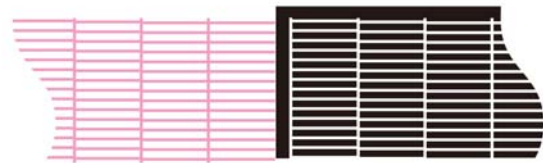
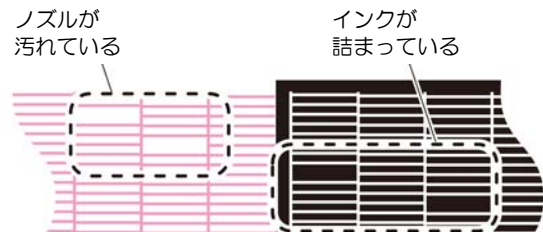
(3) メディアを自動的に戻し、テストパターンをプリント

4 プリント結果を確認する

- 正常な場合は、操作を終了します。
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングを実行してください。（☞ P.2-12）

正常なパターン

異常なパターン

2

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングについて

プリントしたテストパターンの結果を確認して、症状に合わせたクリーニングを行います。
次の 4 種類から選んでください。

ノーマル：線の抜けがある時
ソフト　：ヘッドワイプのみ実行したい時（線の曲がりがある場合）
ハード　：ノーマル、ソフトでクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時
ウルトラ：ハードクリーニングを実行しても画質不良が改善しない時

テストプリントの結果に合わせてヘッドクリーニングを行う

ヘッドクリーニングには、4 種類あります。パターンプリントの結果によって使い分けてください。

1 ローカルで、(FUNC2) (TEST PRINT/CLEANING) ➔(▼)➔(ENTER)キーを押す

- クリーニングメニューを表示します。

2 (▲)(▼)を押して、クリーニングタイプを選択する

- ノーマル：線の抜けがある時
- ソフト　：ヘッドワイプのみ実行したい時（線の曲がりがある場合）
- ハード　：ノーマル、ソフトでクリーニングを実行してもプリント不良が改善しない時
- ウルトラ：ハードクリーニングを実行してもプリント不良が改善しない時

3 (ENTER)キーを押す

4 (▲)(▼)を押してクリーニングするヘッドを選択し、(FUNC2) (✔) を押す

- ヘッド選択後に [FUNC2] キーを押して、チェックボックスにチェックを入れてください。
チェックが入っているヘッドのみクリーニングを行います。
- ヘッド 1，2 を両方ともクリーニングしたい場合は、両方のチェックボックスにチェックを入れてください。

5 (ENTER)キーを押す

6 再度テストプリントを実行し、プリント結果を確認する

- プリント結果が正常になるまで、クリーニングとテストプリントを繰り返してください。

ヘッドクリーニングを実行しても画質品質が改良されない場合
- ワイパーとインクキャップのクリーニングをする (☞ P.4-6)
- ヘッドノズルの洗浄をする (☞ P.4-7)

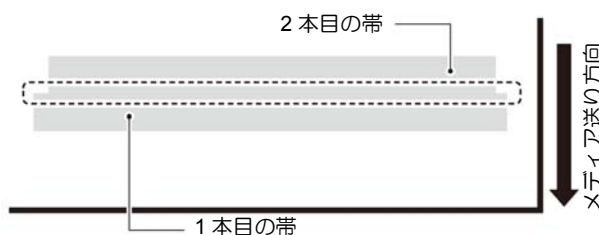
フィード補正の設定

お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

重 要!
- ロールメディアをご使用の場合、フィード補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたるみが生じます。
プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
- 巻き取り装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でフィード補正を行ってください。

フィード補正の設定

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。

- 補正パターンでは 2 本の帯をプリントします。
- 2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。

1 メディアをセットする (☞ P.2-4)

2 ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC2) (ADJUST) を押す

- 調整メニューを表示します。

3 (ENTER)キーを 2 回押して、補正パターンをプリントする

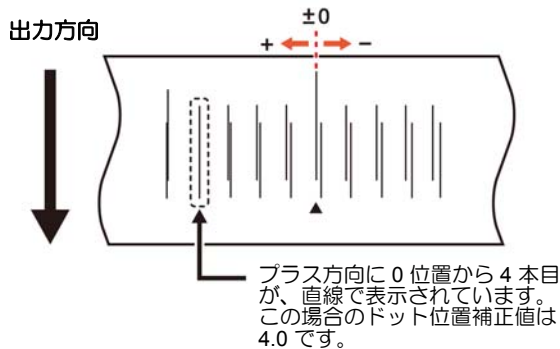
4 補正パターンを確認し、補正値を入力する

- 補正値の入力画面が表示されます。
- " ＋ " に入力すると：
2 本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- " － " に入力すると：
2 本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
- 補正値を "30" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

ドットの位置がずれたら

プリント時の条件（メディアの厚み／インクの種類など）が変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

- リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中までしかプリントされません。

パターンプリント例

1 ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC1) **(ADJUST)** を押す

- 調整メニューを表示します。

2 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す

- " ドット位置補正 " が選択されます。

3 (ENTER) キーを押す

- ドット位置補正のパターンプリントを開始します。
- 複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)

4 (▲)(▼) を押してパターン **1** の補正値を入力し、(ENTER) キーを押す

- 補正値：-40 ～ 40
- テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が -40 ～ 40 の間にない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。

5 手順 **4** と同様にして、パターン **2~** の補正値を入力し、(ENTER) キーを押す

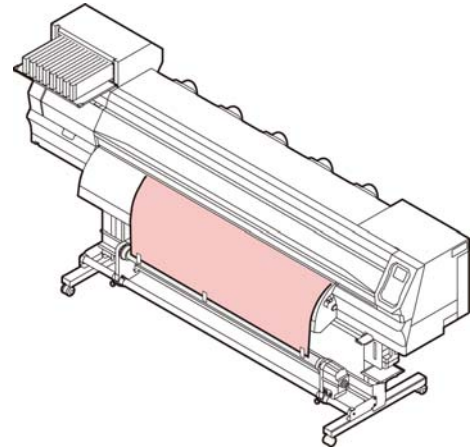
6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

データをプリントする

プリントを開始する

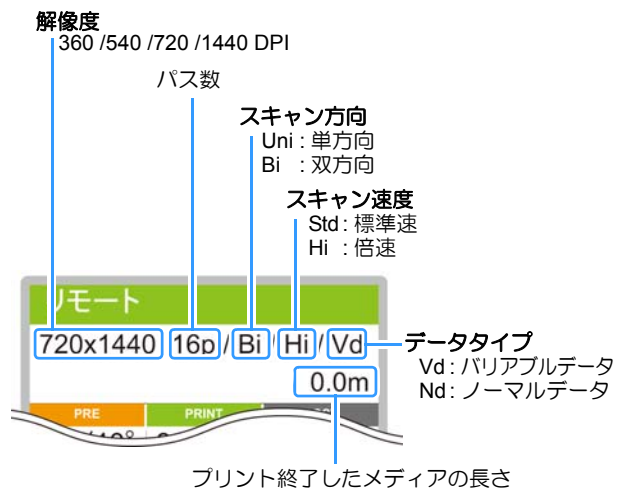
重要!

- ロールメディアを使用する場合、プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にしてください。画質不良の原因になります。

1 メディアをセットする（☞ **P.2-4**）

2 ローカルで、(FUNC3) **(REMOTE)** キーを押す

- リモートモードになり、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

3 コンピュータからプリントするデータを送信する

- ACTIVE ランプが点滅し、プリント条件を表示します。
- データの送信方法については、出力ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

4 プリント開始

- 解像度によっては同じデータをプリントしても、セットしたメディアの幅やプリント原点の位置によってプリント速度が変化する場合があります。

2

プリントを中止する

プリントを途中で中止する場合、次の操作をしてください。

プリント中に、(FUNC3) (LOCAL) を押す

- プリント動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。
- 再度 [REMOTE] キーを押すと、中断したデータからプリントを再開します。

受信したデータを消去する (データクリア)

プリントを中止したいときは、受信済みのデータを消去してください。

ローカルで (SEL) キーを押し、(FUNC3) (DATA CLEAR) を押す

2

(ENTER) キーを押す

- 受信データを消去し、ローカルに戻ります。

メディアをカットする

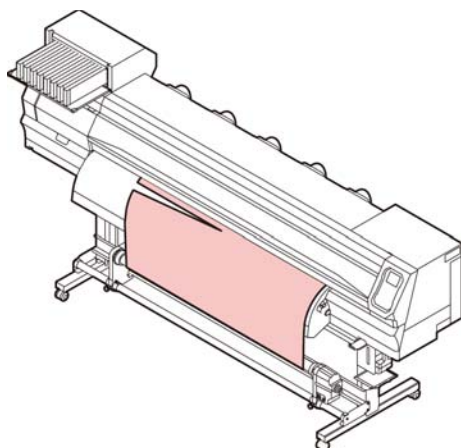
操作パネル上のキーを使い、任意の位置でメディアをカットします。

ローカルで、(▲)(▼)(◀)(▶) を押す

- 原点設定モードになります。
- [▼] を押して、カットする位置までメディアをフィードします。

2

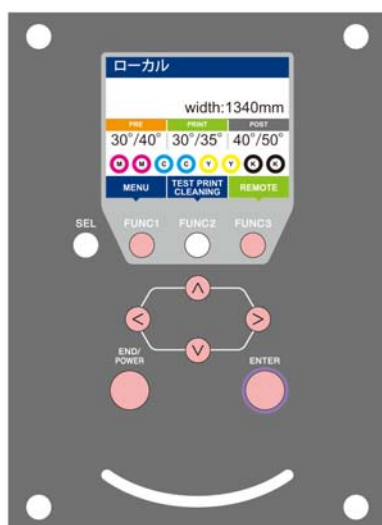
(FUNC2)(ENTER) キーを押す

- メディアをカットします。
- カットが終了すると、ローカルに戻ります。

第３章
セットアップ

この章では ...

本機の各種設定方法について説明しています。

設定メニューについて

設定メニューでは、普段使用するメディアに合わせてプリント条件を設定することができます。

- FUNC1 ：設定メニューを選ぶとき、または、1 つ前の画面に切り替えるときに押す
- FUNC3 ：次の画面に切り替えるときに押す
- ∧∨ ：設定項目を選択するときに押す
- ENTER ：設定を確定するときなどに押す

◆ 設定メニュー一覧

設定メニュー一覧表

- 次の各設定項目については、接続しているホスト PC でお使いの RIP ソフトウェアからプリント時に指定した設定値に従って動作するように設定できます。
- **設定項目** : 乾燥時間 / マージン (左右)/ 吸着 / フィード速度レベル
- 各項目を " ホスト " に設定すれば、RIP の設定内容に従って動作します。本機での設定を優先させたいときは、" ホスト " 以外に設定してください。
- RIP ソフトウェアでの指定方法については、RIP ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

機能名称			設定値	RIP から指示がない場合 *1	概　要
フィード補正 (P.3-5)			-9999 ～ 0 ～ 9999	―――	メディアの送り量を補正するためのパターンをプリントし、補正します。
ドット位置補正 (P.3-6)			-40.0 ～ 0 ～ 40.0	―――	往復プリントにおける、着弾位置の調整を行います。
ヒーター (P.3-6)	PRE		OFF/ 20 ～ 60 ℃	―――	各ヒーターの温度を設定します。
	PRINT				
	POST				
	OFF 時間		無し /0 ～ 90 分		プリントが終了してから、ヒーターを OFF にするまでの時間を設定します。
ロジカルシーク (P.3-7)			ホスト /ON / OFF	OFF	プリント中のスキャン可動範囲を設定します。
乾燥時間 (P.3-7)	スキャン		ホスト /0.0 ～ 9.9 sec	0 sec	インクの乾燥時間を設定します。
	プリントエンド		ホスト /0 ～ 120 min	0 min	
マージン / 左 (P.3-8)			-10 ～ 85mm	0 mm	左右のプリント余白を設定します。
マージン / 右 (P.3-8)				0 mm	
吸着ファン (P.3-8)			ホスト / 弱 / 標準 / 強	強	メディアの吸着する力を設定します。
フィード速度 *2 (P.3-8)			10 ～ 100 ～ 200%	100 %	プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。
オート クリーニング (P.3-9)	OFF、ファイル、距離、時間			―――	プリント前またはプリント中に行う、ヘッドの自動クリーニング動作を設定します。
	ファイル	間隔	1 ～ 1000	―――	
		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	―――	
	距離	間隔	0.1 ～ 100.0m	―――	
		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	―――	
	時間	間隔	10 ～ 120min	―――	
		タイプ	ノーマル / ソフト / ハード	―――	
	クリーニング後チェック		ON/ OFF	―――	オートクリーニング後にノズルチェックを実行する / しないを設定します。
定期ワイピング (P.3-9)			3 ～ 255 分 , OFF	―――	プリント中に行う、ワイピング動作を設定します。
外部ヒーター			ON/OFF	―――	メディアを乾燥させるため、外部ヒーターをお使いになるとき "ON" にします。詳しくは、別冊の「小型リレー BOX 取扱説明書」を参照してください。
設定リセット (P.3-5)			設定 1 ～ 4 で設定した内容を、個別にリセットできます。		

*1. 本機で " ホスト " を設定しているのに、RIP ソフトウェア (ホスト) 側で設定値の指定がないまたは、装置側の設定値を優先する設定にしている場合の、プリント時に使用される設定値です。
*2. 100% 以上に設定した場合、プリント完了までの時間は短くなりますが、十分な乾燥時間が得られずに画質に影響する場合があります。

3

使い方に合わせた最適なプリント条件を登録する

本機では、あらかじめ、お使いになるメディアに合わせて個別にプリント条件 (設定 1 ～ 4) を登録しておくことができます。
例えば、違う種類のメディアにプリントをした後に、いつも使っているメディアに戻した場合など、登録済みの設定 (1 ～ 4) を選ぶだけで最適の作図条件を設定できます。

- 本機であらかじめ登録できるプリント条件は、“ 設定 1” ～ “ 設定 4” の 4 種類です。
- 頻繁に使うことのないプリント条件でプリントする場合、“Temporary” を選んでプリント条件を設定することができます。
  Temporary で設定した内容は電源を再投入すると、初期値（お買い上げ時の状態）に戻ります。
  また、”Temporary” が選ばれた状態で電源を再投入すると、” 設定 1” が選ばれた状態になります。

設定 (1 ～ 4) にプリント条件を登録する

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ENTER キーを押す

2 ▲▼を押して設定 1 ～ 4 を選び、ENTER キーを押す
- 選択している項目には●、それ以外には○が表示されます。
- 設定メニューを表示します。

3 ▲▼を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する
- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

Temporary の使い方

Temporaryは1度だけ使うプリント条件を設定するだけではなく、登録済みの設定「1～4」を一部だけ変えて使いたい場合や、Temporary で設定したプリント条件を、設定 1～4 に反映させることもできます。

● Temporary にプリント条件を登録する

Temporary へのプリント条件の登録は、設定1～4への登録と同様の方法で登録できます。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ENTER キーを押す

2 ▲▼を押して “Temporary” を選び、ENTER キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 ▲▼を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する
- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

● 設定 1 ～ 4 の内容を Temporary にコピーする

設定 1 ～ 4 の登録内容の一部を変更してお使いになることができます。
Temporary の登録画面から、“ コピー ” を選び、コピー元 (設定 1 ～ 4) を指定します。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ENTER キーを押す

2 ▲▼を押して “Temporary” を選び、ENTER キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 FUNC1 (<<) を押す

4 ▲▼を押して “ コピー ” を選び、ENTER キーを押す
- コピー元選択画面を表示します。

5 ▲▼を押してコピー元 (設定 1 ～ 4) を選び、ENTER キーを押す
- ディスプレイにコピーの確認画面を表示します。

6 ENTER キーを押す
- 手順 5 で選んだ設定内容が、Temporary にコピーされます。

7 ▲▼を押して変更する設定項目を選び、ENTER キーを押す
- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

● Temporary で設定した内容を設定 1 ～ 4 へ反映させる

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ENTER キーを押す

2 ▲▼を押して “Temporary” を選び、ENTER キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 ▲▼を押して設定メニュー一覧表の各項目を選び、設定する
- 詳細な設定方法は設定メニュー一覧表に記載した参照ページをご覧ください。

4 Temporary の最終ページを表示させて “ 設定保存 ” を選び、ENTER キーを押す
- 保存先選択画面を表示します。

5 ▲▼を押して保存先 (設定 1 ～ 4) を選び、ENTER キーを押す
- ディスプレイに保存確認画面を表示します。

6 ENTER キーを押す
- 手順 5 で選んだ保存先に、Temporary の設定内容が保存されます。

7 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

登録した内容をリセットする

設定 1 〜 4 に登録した内容をリセットします。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➔ ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押してリセットする設定 (1 〜 4) を選び、ENTER キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 FUNC1 (<<) を押す

4 ▲ ▼ を押して " 設定リセット " を選び、ENTER キーを押す

- 設定リセットの確認画面を表示します。

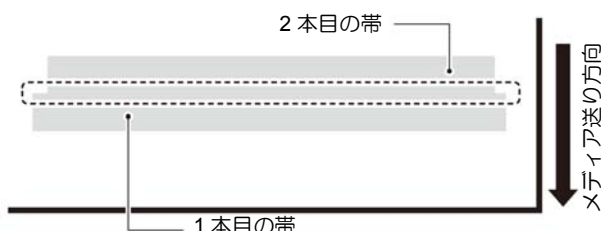
5 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

フィード補正の設定

お使いになるメディアの種類に合わせて、メディアの送り量を補正してください。
補正値が適切でないと、プリントした画像に縞が入るなど、きれいにプリントできない場合があります。

重要!
- ロールメディアをご使用の場合、フィード補正を終了すると、プリント原点位置までメディアが戻り、本装置背面のロールメディアにたるみが生じます。
プリントを開始する前にロールメディアを手で巻き戻し、たるみのない状態にセットしてください。画質不良の原因になります。
- 巻き取り装置を使用してのプリントの場合、あらかじめメディアをセットした状態でフィード補正を行ってください。

補正パターンをプリントして、メディア送り量の補正を行います。

- 補正パターンでは 2 本の帯をプリントします。
- 2 本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。

1 メディアをセットする (☞ P.2-4)

2 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➔ ENTER キーを押す

3 ▲ ▼ を押して設定 1 〜 4 を選び、ENTER キーを押す

- 設定メニューを表示します。

4 ▲ ▼ を押して " フィード補正 " を選び、ENTER キーを押す

5 ENTER キーを 2 回押して、補正パターンをプリントする

6 補正パターンを確認し、補正値を入力する

- 補正値の入力画面が表示されます。
- " ＋ " に入力すると :
2 本の帯の間隔が広がる方向に移動します。
- " − " に入力すると :
2 本の帯の間隔が近づく方向に移動します。
- 補正値を "30" 変更するごとに、約 0.1mm 帯が移動します。

7 ENTER キーを押す

- 再度、補正パターンをプリントして確認します。
- 補正の必要がある場合は、手順 6 の操作をして補正してください。

8 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

3

プリント中にメディア送りを補正したいとき

リモートモードや画像データのプリント中でもメディア送り量の補正ができます。

1 リモートで、(FUNC1) (ADJUST) ➡(ENTER)キーを押す

2 (▲)(▼)を押して、補正量を入力する

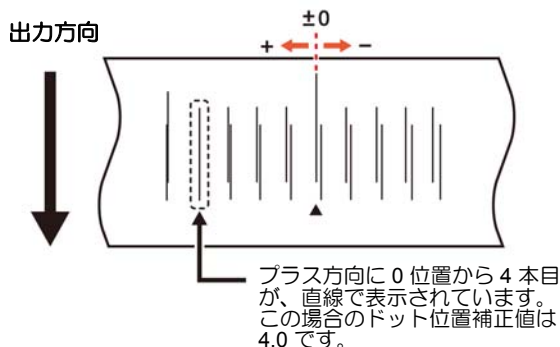
- 補正量：-9999 ～ 9999
- ここで入力した値は、すぐに補正量に反映されます。

3 (ENTER)キーを 2 回押す

- 変更した値が登録されます。
- [ENTER] キーの代わりに [END] キーを押すと、ここで補正した内容は一時、有効となります。(再度メディア検出を行うか電源を OFF すると、補正値はクリアされます)

ドットの位置がずれたら

プリント時の条件（メディアの厚み／インクの種類など）が変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）プリント時のインクの落下位置を補正し、適正なプリント結果を得られるようにしてください。

パターンプリント例

1 メディアをセットする (☞ P.2-4)

- パターンプリントをするには、幅 500mm 以上の大きさのメディアが必要です。

2 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡(ENTER)キーを押す

3 (▲)(▼)を押して設定 1 ～ 4 を選び、(ENTER)キーを押す

- 設定メニューを表示します。

4 (▲)(▼)を押して " ドット位置補正 " を選び、(ENTER)キーを押す

5 (ENTER)キーを押す

- ドット位置補正のパターンプリントを開始します。
- 複数のテストパターンをプリントします。(プリント順にパターン 1,2,3... と呼ぶ)

6 (▲)(▼)を押してパターン 1 の補正値を入力し、(ENTER)キーを押す

- 補正値：-40 ～ 40
- テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正値となります。
- 補正値が -40 ～ 40 の間にない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。

7 手順4と同様にして、パターン2~のドット位置を補正し、(ENTER)キーを押す

8 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

ヒーターの設定

プラテンには、プリヒーター・プリントヒーター・ポストヒーターが内蔵されています。

ヒーターの種類	働き
プリヒーター	プリント前のメディアを予熱し、プリント部での急激な温度変化を抑えます。
プリントヒーター	プリントする際の画像品質を上げます。
ポストヒーター	プリント後のインクを乾燥させます。

ここでは、各ヒーターの温度設定の他に、プリントが終了してからヒーターを OFF にするまでの時間も設定できます。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡(ENTER)キーを押す

2 (▲)(▼)を押して設定 1 ～ 4 を選び、(ENTER)キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 (▲)(▼)を押して " ヒーター " を選び、(ENTER)キーを押す

4 (▲)(▼)(◀)(▶)を押して、各ヒーター温度を設定する

- ヒーターの選択 ：[▲][▼] で選ぶ
- 温度の設定 ：[◀][▶] で設定

5 (▲)(▼) を押して "OFF 時間 " を選び、(ENTER) キーを押す

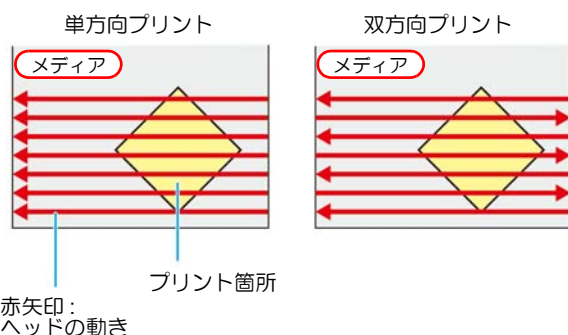
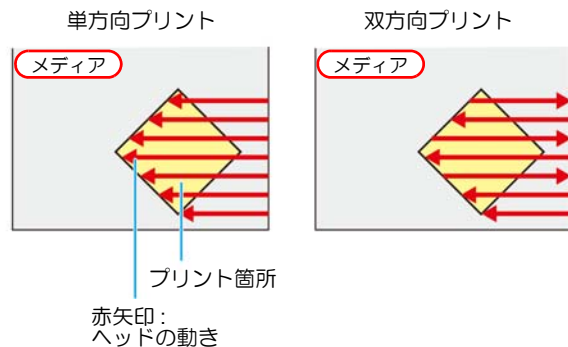
6 ▲ ▼ を押してプリント終了後にヒーターを **OFF** するまでの時間を設定し、ENTER キーを押す

7 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

- 手順 3 で [FUNC3] (OFF) を押すと、全ヒーターが "OFF" になります。
  また、[FUNC1] を押すと、全ヒーターが 10 °C ずつ上がります。
- 手順 6 で設定した OFF 時間中にキー操作やデータ受信をすると、自動的に設定温度に復帰します。

ロジカルシークの設定

ロジカルシークの設定により、下図のようにヘッドの動作が変わります。

ロジカルシーク **OFF** 時のヘッドの動き

ロジカルシーク **ON** 時のヘッドの動き

1 ローカルで、FUNC1 **(MENU)** ➔ ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して設定 **1** ～ **4** を選び、ENTER キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 ▲ ▼ を押して " ロジカルシーク " を選び、ENTER キーを押す

4 ▲ ▼ を押して設定値を選び、ENTER キーを押す

- 設定値：ホスト /ON/OFF

5 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

乾燥時間の設定

乾燥時間の設定では、インクの乾燥時間に関する次の各項目の設定をします。

- スキャン　　　：スキャン毎のインク乾燥時間を設定 (双方向プリントの場合は、往路 / 復路のスキャン毎に設定した時間だけ一時停止する)
- プリントエンド：プリント終了後のインク乾燥時間を設定

重 要！

- RasterLink 側の設定を優先させたいときは、設定値を " ホスト " にしてください。
- RasterLink では、本機で設定する " スキャン " は " スキャン毎の乾燥時間 " と表示しています。
- プリントエンドの設定については、RasterLink 側での指定ができません。本機の設定で " ホスト " に設定した場合は、プリント時 " プリントエンド =0 分 " の状態でプリントされます。

1 ローカルで、FUNC1 **(MENU)** ➔ ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して設定 **1** ～ **4** を選び、ENTER キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 ▲ ▼ を押して " 乾燥時間 " を選び、ENTER キーを押す

4 ENTER キーを押す

5 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して乾燥時間を設定し、ENTER キーを押す

- スキャン時とプリント終了後の乾燥時間を設定します。お使いの RIP で指定している乾燥時間を有効にする場合は " ホスト " を選択してください。
- スキャンの設定値　：ホストまたは 0.0 ～ 9.9 秒
- プリントエンドの設定値　：ホストまたは 0 ～ 120 分
- 項目の選択：[▲][▼] で選ぶ
- 時間の設定：[◀][▶] で設定

6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

マージン (左 / 右) の設定

メディアの左右のマージン (余白) を設定します。
ここでは、標準マージン 15mm に対するオフセット値を設定します。

重 要!
- RIP ソフトウェア側の設定を優先させたいときは、設定値を " ホスト " にしてください。
- 付属の RIP ソフトウェア (RasterLink) では、マージンの指定ができません。RasterLink をお使いの場合に本機の設定で " ホスト " にすると、プリント時には左右のマージンのオフセット値 ="0mm" の状態でプリントされます。
- マージンの設定は、メディア幅の検出時に反映されます。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して設定 1 〜 4 を選び、ENTER キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 FUNC3 (>>) を押す

4 ▲ ▼ を押して " マージン / 左 " または " マージン / 右 " を選び、ENTER キーを押す

5 ▲ ▼ を押して設定値を選び、ENTER キーを押す
- 設定値：ホスト /-10 〜 85mm

6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

- メディア押さえを使ってプリントする場合、左右のマージンを -5mm 以下に設定すると、メディア押さえの上からプリントを開始することがあるのでお気をつけください。

吸着ファンの設定

メディアを吸着する強さを設定します。
メディアに合わせた吸着力を設定することにより、メディアの浮きによるプリントミスを防止できます。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して設定 1 〜 4 を選び、ENTER キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 FUNC3 (>>) を押す

4 ▲ ▼ を押して " 吸着ファン " を選び、ENTER キーを押す

5 ENTER キーを押す

6 ▲ ▼ を押して設定値を選び、ENTER キーを押す
- 設定値：ホスト / 弱 / 標準 / 強

7 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

フィード速度の設定

プリント中などにメディア送りをする速度を変更します。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して設定 1 〜 4 を選び、ENTER キーを押す
- 設定メニューを表示します。

3 FUNC3 (>>) を押す

4 ▲ ▼ を押して " フィード速度 " を選び、ENTER キーを押す

5 ENTER キーを押す

6 ▲ ▼ を押して設定値を選び、ENTER キーを押す
- 設定値：ホスト / 10 〜 200%

7 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

重 要!
- プリント条件によっては、速度が変わらない設定値があります。

オートクリーニングの設定

プリント終了後に今までプリントしたファイル数または長さまたは時間をカウントし、クリーニングが必要な場合は自動的にクリーニングを行うよう設定できます。
オートクリーニングの設定は、次の 3 種類から選択できます。

- ファイル ：プリントファイル数でクリーニング間隔を設定する
- 距離 ：プリントした長さでクリーニング間隔を設定する
- 時間 ：プリントした時間でクリーニング間隔を設定する

その他にも、オートクリーニング後に自動的にノズルチェックを実施するように設定できます。(クリーニング後チェック機能)
ヘッドを常に清潔に保つことで、安定した出力結果を持続することができます。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して設定 1 ～ 4 を選び、ENTER キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 FUNC3 (>>) を押す

4 ▲ ▼ を押して“オートクリーニング”を選び、ENTER キーを押す

5 ENTER キーを押し、▲ ▼ でオートクリーニングの種類を選ぶ

- オートクリーニングの種類には “ ファイル ”、“ 距離 ” と “ 時間 ” があります。
  ファイル:設定した回数のプリントが終了したら、自動的にヘッドクリーニングを行う
  距離: 設定した長さを経過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
  時間: 設定した時間を通過したら、自動的にヘッドのクリーニングを行う
- オートクリーニングの設定をしない場合は、“OFF” を選んでから手順 7 へ進んでください。

6 ENTER キーを押し、▲ ▼ でクリーニング間隔を設定する

- 手順 3 で選択したオートクリーニングの種類によって、設定値は異なります。
  ファイルの場合 ：1 ～ 1000 ファイル
  距離の場合 ：0.1 ～ 100.0m (0.1m 単位で設定)
  時間の場合 ：10 ～ 120min (10min 単位で設定)

7 ENTER キーを押し、▲ ▼ でクリーニングタイプを設定する

- 設定値 : ノーマル / ソフト / ハード

8 ENTER キーを押し、▲ ▼ で“クリーニング後チェック ” を選ぶ

9 ENTER キーを押し、▲ ▼ で設定値を選ぶ

- 設定値 :ON/ OFF

10 ENTER キーを押す

11 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

重要!
- ヘッド等の状態によっては、本機能を実行してもプリント不良が復旧しない場合があります。この場合は、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

定期ワイピングの設定

設定した時間が経過すると、自動的にヘッドのノズル面の清掃を行い、ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。
飛行曲がりやノズル抜け、インク滴が落ちるなどの症状が出た場合、動作間隔を設定します。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ENTER キーを押す

2 ▲ ▼ を押して設定 1 ～ 4 を選び、ENTER キーを押す

- 設定メニューを表示します。

3 FUNC1 (<<) を押す

4 ▲ ▼ を押して “ 定期ワイピング ” を選び、ENTER キーを押す

5 ▲ ▼ を押して、動作間隔を設定する

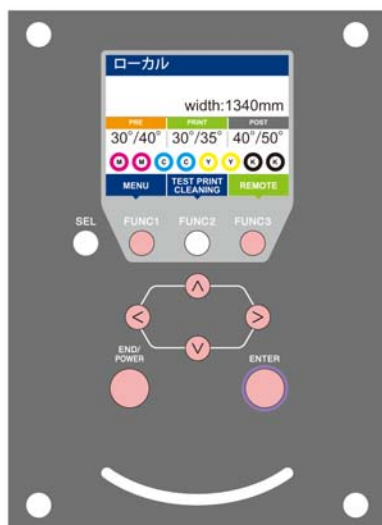
- 設定値：3 ～ 255 分 , OFF
- [OFF] にすると、定期ワイピングを行いません。

6 ENTER キーを押す

7 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

3

マシン設定メニューについて

本装置を快適に使用するための各種設定です。
マシン設定で設定できる内容は、次の項目です。

- (FUNC1)：マシン設定メニューを選ぶとき、または、1 つ前の画面に切り替えるときに押す
- (FUNC3)：次の画面に切り替えるときに押す
- (∧)(∨)：設定項目を選択するときに押す
- (ENTER)：設定を確定するときなどに押す

◆ マシン設定メニュー一覧

ローカル → (FUNC1) + (∨) 2回 → MENU → (ENTER) → マシン設定 → (∨)

MENU
- 設定 >
- メンテナンス >
- マシン設定 >
- ノズルチェック >
- 情報 >

マシン設定（1/3）
- オートパワーオフ 30min
- 巻取りユニット >
- 乾燥/排気ファン >
- トップブロワ ON
- メディア残量 OFF

(FUNC1) / (FUNC3)

マシン設定（2/3）
- LANGAGE >
- 時刻設定 >
- 単位/温度 ℃
- 単位/長さ mm
- キーブザー ON

(FUNC1) / (FUNC3)

マシン設定（3/3）
- 確認フィード ON
- 余白フィード方式 >
- ネットワーク >
- イベントメール >
- リセット >

(FUNC1) / (FUNC3)

マシン設定メニュー一覧表

機能名称			設定値	初期値	内　容
オートパワーオフ (☞ P.3-12)			しない /10 ～ 600min	30min	設定した時間操作がない場合、自動で電源を “OFF” にします。
巻取りユニット (☞ P.3-12)	巻取りスイッチ		ON/ OFF	ON	巻取ユニットを使用する / しないを設定します。
	テンションバー		ON/ OFF	OFF	オプションのテンションバーを使用する / しないを設定します。
	巻取り / 繰出しスイッチ		動作継続 / 一時動作	動作継続	巻き取り装置の ON/OFF ボタンを押したときの動作方法を設定します。
乾燥 / 排気ファン			オプションの乾燥 / 廃棄ファンをお使いになるときに設定します。詳しくは、乾燥 / 廃棄ファンに添付されている取扱説明書を参照してください。		
トッププロワ (☞ P.3-13)			ON / OFF	ON	プリント中のトッププロワの動作を設定します。
(ON)	強さ		AUTO/ 弱 / 標準	AUTO	プリント中のトッププロワの強さを設定します。
メディア残量 (☞ P.3-13)			ON/ OFF	OFF	メディアの残量を管理することができます。
LANGUAGE(☞ P.3-14)				English	表示言語を変更します。
時刻設定 (☞ P.3-14)			+4h ～ -20h	日本時間	現在の日付と時刻を設定します。
単位 / 温度 (☞ P.3-14)			°C（摂氏）/ °F (華氏）	°C	温度の表示単位を設定します。
単位 / 長さ (☞ P.3-14)			mm / inch	mm	長さ、面積の表示単位を設定します。
キーブザー (☞ P.3-14)			ON / OFF	ON	キーを押したときのブザー音を設定します。
確認フィード (☞ P.3-15)			ON / OFF	ON	テストプリントなどのプリント結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。
余白フィード方式 (☞ P.3-15)			間欠 / 連続	間欠	画像データに含まれる余白部分のフィード方式を変更します。
ネットワーク (☞ P.3-15)	ネットワークの設定をします。				
	IP アドレス確認		現在、本装置が使用中の IP アドレスを表示します。		
	MAC アドレス確認		現在、本装置が使用中の MAC アドレスを表示します。		
	DHCP		ON/ OFF		オンの場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。
	AutoIP		ON/ OFF		オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。
	IP アドレス*1		本装置が使用する IP アドレスを設定します。		
	デフォルトゲートウェイ *1		本装置が使用するデフォルトゲートウェイを設定します。		
	DNS アドレス *1		本装置が使用する DNS サーバーのアドレスを設定します。		
	サブネットマスク *1		本装置が使用するサブネットマスクの桁数を設定します。		
イベントメール	メール送信 (☞ P.3-16)		ON / OFF	OFF	設定したイベントが起こった際に、メールを送信する機能を設定します。
	送信イベント選択 (☞ P.3-17)	プリントスタート	ON / OFF	OFF	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。
		プリントエンド	ON / OFF	OFF	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
		エラー	ON / OFF	OFF	エラー発生時にメールを送信する / しないを設定します。
		ワーニング	ON / OFF	OFF	ワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
		その他	ON / OFF	OFF	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。
	メールアドレス (☞ P.3-17)		イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。	英数字、記号 (96 文字)	
	件名 (☞ P.3-17)		イベントメールの件名に記載する文字を設定します。	英数字、記号 (8 文字)	

<table>
<tr><th colspan="2">機能名称</th><th colspan="2">設定値</th><th>初期値</th><th>内　　容</th></tr>
<tr><td rowspan="11">イベントメール</td><td rowspan="10">サーバー設定
(☞ P.3-18)</td><td colspan="2">SMTP アドレス</td><td colspan="2">SMTP サーバーを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">SMTP ポート No.</td><td colspan="2">SMTP のポート番号を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">送信元メールアドレス</td><td colspan="2">メールの送信元として使用するメールアドレスを設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">認証方式</td><td>OFF</td><td colspan="2" rowspan="3">SMTP サーバーの認証方式を設定します。</td></tr>
<tr><td>POP before SMTP</td></tr>
<tr><td>SMTP 認証</td></tr>
<tr><td colspan="2">ユーザー名 *2</td><td colspan="2">認証に使用するユーザー名を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">パスワード *2</td><td colspan="2">認証に使用するパスワードを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">POP3 アドレス *3</td><td colspan="2">POP サーバーを設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">APOP *3</td><td colspan="2">APOP の ON/OFF を設定します。</td></tr>
<tr><td>テストメール送信
(☞ P.3-19)</td><td colspan="4">テストメールの送信を実行します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">リセット (☞ P.3-20)</td><td colspan="2"></td><td></td><td>すべての設定項目を初期値に戻します。</td></tr>
</table>

*1.　[DHCP]、[AutoIP] が両方オフの場合のみ設定可能
*2.　[ニンショウホウシキ] がオフでない場合のみ設定可能
*3.　[ニンショウホウシキ] が POP before SMTP の場合のみ設定可能

オートパワーオフの設定

設定した時間操作がない場合、自動で電源を“OFF”にします。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回) ➡ (ENTER) キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (▲)(▼) を押して“オートパワーオフ”を選び、(ENTER) キーを押す

3 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定値：しない , 10 ～ 600 min

4 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

巻取りユニットの設定

巻取装置の ON/OFF ボタンを押したときの動作方法を設定します。
また、オプションのテンションバー取り付けているときに、テンションバーの使用する / しないを設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回) ➡ (ENTER) キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (▲)(▼) を押して “ 巻取りユニット ” を選び、(ENTER) キーを押す

3 (ENTER) キーを押す

- “ 巻取りユニット ” が選択されます。

4 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定値：ON/ OFF

5 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す

- “ テンションバー ” が選択されます。

6 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定値：ON/ OFF

7 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す

- “ 巻取り / 繰り出しスイッチ ” が選択されます。

8 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定値：動作継続 / 一時動作
  動作継続 ：スイッチを押すごとに、巻取動作の ON/OFF を切り替えます。(動作中の巻取装置は、再度 ON/OFF スイッチを押すまで止まりません。)
  一時動作 ：スイッチを押している間だけ、巻取動作を行います。(スイッチを放すと、巻取動作は止まります。)

9 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

トップブロワの設定

プリント中のトップブロワの動作を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回)➡ (ENTER) キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (▲)(▼) を押して " トップブロワ " を選び、(ENTER) キーを押す

3 (▲)(▼) を押して ON を選び、(ENTER) キーを押す

- "ON" を選ぶと、" 強さ " の選択が可能になります。
- "OFF" を選ぶと、トップブロワは設定されません。手順 6 へ進んでください。

4 (▲)(▼) を押して " 強さ " を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定値：AUTO/ 弱 / 標準

重要！

- 基本的には "AUTO" での使用を推奨します。お使いのインク種、プロファイル [*1] に応じて適切な強度が適用されます。
  *1) RL6 をお使いの場合
- Sb54 インクセットでトップブロワ使用時、にじみ等が発生する場合は " 弱 " に設定してください。" 弱 " にすることで、にじみが改善する場合があります。
- 臭気が気になる場合、トップブロワの設定を OFF にして使用してください。ただし OFF で使用した場合、乾燥性が低下します。

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

メディア残量表示の設定

メディア残量表示の設定をします。

メディア残量表示を ON にすると	リモートでメディア残量が表示されます。（ただし、リーフメディアを使用した場合は、プリント長を表示します。）
メディア残量表示を OFF にすると	リモートでメディア残量は表示されません。

- プリント、JOG キーによるフィード量が、メディア残量に反映されます。
- メディア長 (残量初期値) はロールメディア検出時に入力します。(P.2-7)
- ここで行う設定は、設定終了後にメディア検出を行わないと有効になりません。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回)➡ (ENTER) キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (▲)(▼) を押して " メディア残量 " を選び、(ENTER) キーを押す

3 (▲)(▼) を押して、ON/OFF を選ぶ

4 (ENTER) キーを押す

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

- メディア残量表示の設定を "ON" にすると、現在のメディア残量と日付をリストにしてプリントできます。(P.2-7)

言語の設定

表示言語を変更します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回)➡ (ENTER) キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC3) (>>) を押す

3 (▲)(▼) を押して "LANGUAGE" を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して言語を選び、(ENTER) キーを押す

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

時刻の設定

お使いの国に合わせた時刻（時差）に設定することができます。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回)➡ (ENTER) キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC3) (>>) を押す

3 (▲)(▼) を押して " 時刻 " を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して時刻を入力し、(ENTER) キーを押す

- 時分の選択 ：[◀][▶] で選ぶ
- 時分の入力 ：[▲][▼] で入力

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

- -20 ～ +4 時間の間で、設定できます。

単位 (温度 / 長さ) の設定

本装置で使用する単位を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回)➡ (ENTER) キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC3) (>>) を押す

3 (▲)(▼) を押して " 単位 / 温度 " または " 単位 / 長さ " を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す

- 温度の設定値 ：°C/°F
- 長さの設定値 ：mm/inch

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

キーブザーの設定

キーを押したときのブザー音を消すことができます。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回)➡ (ENTER) キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC3) (>>) を押す

3 (▲)(▼) を押して " キーブザー " を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼) を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す

- 設定値：ON/ OFF

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

- 設定を "OFF" にしても、エラー / 警告 / 動作完了等のブザー音を消すことはできません。

確認フィードの設定

テストプリントなどのプリント結果を確認するためにメディアのフィードを行うか設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡(▼)(2 回)➡ (ENTER)キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC1) (<<) を押す

3 (▲)(▼)を押して " 確認フィード " を選び、(ENTER)キーを押す

4 (▲)(▼)を押して設定値を選び、(ENTER)キーを押す

- 設定値：ON/ OFF

5 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

余白フィード方式の設定

画像データに含まれる余白部分(プリントするデータの無い部分) のフィード方式を変更します。余白部分の多いデータをプリントする場合、" 連続 " に設定することで、プリント時間を短縮することができます。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡(▼)(2 回)➡ (ENTER) キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC1) (<<) を押す

3 (▲)(▼)を押して " 余白フィード方式 " を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▲)(▼)を押して設定値を選び、(ENTER) キーを押す

間欠 ：パス分割単位での間欠フィード動作を行う
連続 ：データがない部分を一度にフィードする

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

ネットワークの設定

ネットワークの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリングダウンロードページ（http://www.mimaki.co.jp/download）より " ドライバ / ユーティリティ " をチェックしてダウンロードしてください。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡(▼)(2 回)➡ (ENTER)キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC1) (<<) を押す

3 (▲)(▼)を押して " ネットワーク " を選び、(ENTER)キーを押す

4 (ENTER)キーを押す

- "IP アドレス確認 " が選択されます。
- 現在、本機で使用中の IP アドレスを表示します。
- 確認が終わったら [ENTER] キーを押してください。

- ネットワークに接続後、IP アドレスが確定するまで時間がかかります。IP アドレス未確定の場合、「0.0.0.0」と表示します。

5 (▼)を押し、(ENTER)キーを押す

- "MAC アドレス確認 " が選択されます。
- 現在、本機で使用中の MAC アドレスを表示します。
- 確認が終わったら [ENTER] キーを押してください。

6 (▼)を押し、(ENTER)キーを押す

- "DHCP" が選択されます。

7 (▲)(▼)を押して設定値を選び、(ENTER)キーを押す

- 設定値：ON/ OFF
- ON の場合、DHCP サーバーより与えられた IP アドレスを使用します。

8 (▼)を押し、(ENTER)キーを押す

- "AutoIP" が選択されます。

9 (▲)(▼)を押して設定値を選び、(ENTER)キーを押す

- 設定値：ON/ OFF
- オンの場合、AutoIP プロトコルにより使用する IP アドレスを決定します。ただし、DHCP が ON の場合は DHCP を優先します。

10 (▼)を押し、(ENTER)キーを押す

- "IP アドレス " が選択されます。

11 (▲)(▼)を押して設定値を選び、(ENTER)キーを押す

- 設定値：ON/ OFF
- DHCP、AutoIP が両方オフの場合、IP アドレスの設定ができます。それ以外の場合、手順 14 へ進みます。

12 FUNC3 キーを押す

- デフォルトゲートウェイ/DNS アドレス/サブネットマスクの設定項目が表示されます。
- DHCP、AutoIP　が両方オフの場合、デフォルトゲートウェイ /DNS アドレス / サブネットマスクの設定ができます。それ以外の場合、手順 14 へ進みます。

13 ▼ を数回押して設定項目を選択し、ENTER キーを押す

14 ▲ ▼ を押して設定値を選び、ENTER キーを押す

15 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

- ネットワークの設定を反映するには、一度電源をオフにし、再度電源をオンにしてください。

イベントメール機能の設定

プリントの開始 / 終了や、エラーによる中断などのイベントが発生した際に、設定したメールアドレスにメールを送信する機能を設定します。
イベントメールの設定は、ミマキ製品のネットワーク設定を行うツール「Network Configurator」でも行うことができます。Network Configurator は、ミマキエンジニアリング ダ ウ ン ロ ー ド ペ ー ジ（http://www.mimaki.co.jp/download）より “ ドライバ / ユーティリティ ” をチェックしてダウンロードしてください。

- 免責事項
- メール通知その他、インターネットの通信が発生した場合の通信費用は、お客様負担となります。
- イベントメール機能による通知は、インターネット環境や機器の故障、電源の故障などの要因により、不達となることがありえます。不達や遅延があった場合などおいて発生した損害について、当社では責任を負いかねます。

重要!

- イベントメール機能は本機を LAN 接続することによって使用できます。あらかじめ LAN ケーブルの接続をしておいてください。
- SSL 通信には対応していません。

イベントメール機能を有効にする

1 ローカルで、FUNC1 **(MENU)** ➡ ▼ **(2 回)** ➡ ENTER キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 FUNC1 **(>>)** を押す

3 ▲ ▼ を押して “ イベントメール ” を選び、ENTER キーを押す

4 ENTER キーを押す

- “ メール送信 ” が選択されます。

5 ▲ ▼ を押して **“ON”** を選び、ENTER キーを押す

6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

イベントメールを送るイベントを設定する

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回) ➡ (ENTER) キーを押す

• マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC1) (>>) を押す

3 (▲)(▼) を押して " イベントメール " を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す

• " 送信イベント選択 " が選択されます。

5 (▲)(▼) を押してイベントを選択し、(FUNC2) (✔) を押す

• イベント選択後に [FUNC2] を押して、チェックボックスにチェックを入れてください。
チェックが入っているイベントが起こったときに、メール送信を行います。
• 複数のイベントを選択したい場合は、[▲][▼] を押して選択したいイベントにカーソルを合わせ、[FUNC2] を押してチェックを入れてください。

イベント名	概要
プリントスタート	プリント開始時にメールを送信する / しないを設定します。
プリントエンド	プリント終了時にメールを送信する / しないを設定します。
エラー	エラー発生によるプリント中断時にメールを送信する / しないを設定します。
ワーニング	プリント中のワーニング発生時にメールを送信する / しないを設定します。
その他	上記以外のイベント発生時にメールを送信する / しないを設定します。

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

メールアドレスを設定する

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回) ➡ (ENTER) キーを押す

• マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC1) (>>) を押す

3 (▲)(▼) を押して " イベントメール " を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▼) を 2 回押し、(ENTER) キーを押す

• " メールアドレス " が選択されます。

5 (▲)(▼)(◀)(▶) を押してアドレスを設定し、(ENTER) キーを押す

• イベントメールを送信するメールアドレスを設定します。
• 英数字、記号、96 文字以内で設定します。

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

件名を設定する

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回) ➡ (ENTER) キーを押す

• マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC1) (>>) を押す

3 (▲)(▼) を押して " イベントメール " を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▼) を 3 回押し、(ENTER) キーを押す

• " 件名 " が選択されます。

5 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して件名を設定し、(ENTER) キーを押す

• イベントメールの件名に記載する文字を設定します。
• 英数字、記号、8 文字以内で設定します。

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

サーバーを設定する

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回) ➡ (ENTER) キーを押す
- マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC1) (>>) を押す

3 (▲)(▼) を押して " イベントメール " を選び、(ENTER) キーを押す

4 (▼) を 4 回押し、(ENTER) キーを押す
- " サーバー設定 " が選択されます。

5 (ENTER) キーを押す
- "SMTP アドレス " が選択されます。

6 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して SMTP アドレスを設定し、(ENTER) キーを押す
- [▲][▼][◀][▶] を押して、SMTP アドレスを設定します。
- SMTP アドレス名を入力してください。

7 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す
- "SMTP ポート No." が選択されます。

8 (▲)(▼) を押して SMTP ポート No. を設定し、(ENTER) キーを押す
- SMTP のポート番号を設定します。

9 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す
- " 送信元メールアドレス " が選択されます。

10 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して送信元メールアドレスを設定し、(ENTER) キーを押す
- [▲][▼][◀][▶] を押して、送信元メールアドレスとして使用するアドレスを設定します。
- 英数字、記号、64 文字以内で設定します。

- 使用するサーバーによっては、アカウントに対応したメールアドレスを設定しないとメールを送信できない場合があります。

11 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す
- " 認証方式 " が選択されます。

12 (▲)(▼) を押して認証方式を設定し、(ENTER) キーを押す
- SMTP サーバーの認証方式を設定します。
- [オフ] を選択した場合、手順 20 に進みます。

13 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す
- " ユーザー名 " が選択されます。

14 (▲)(▼)(◀)(▶) を押してユーザー名を設定し、(ENTER) キーを押す
- [▲][▼][◀][▶] を押して、認証に使用するユーザー名を設定します。
- 英数字、記号、30 文字以内で設定します。

15 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す
- " パスワード " が選択されます。

16 (▲)(▼)(◀)(▶) を押してパスワードを設定し、(ENTER) キーを押す
- [▲][▼][◀][▶] を押して、認証に使用するパスワードを設定します。
- 英数字、記号、15 文字以内で設定します。

- パスワードの設定画面では、現在入力中の値のみ確認が可能です。

- 手順 11 で [POP before SMTP] を選択した場合、手順 16 ～ 19 を設定します。

17 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す
- "POP3 アドレス " が選択されます。

18 (▲)(▼)(◀)(▶) を押して POP3 アドレスを設定し、(ENTER) キーを押す
- [▲][▼][◀][▶] を押して、POP サーバーを設定します。
- POP サーバー名を入力してください。

19 (▼) を押し、(ENTER) キーを押す
- "APOP" が選択されます。

20 (▲)(▼) を押して ON/OFF を設定し、(ENTER) キーを押す

21 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

テストメールを送信する

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回) ➡ (ENTER) キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC1) (>>) を押す

3 (▲)(▼) を押して " イベントメール " を選び、(ENTER) キーを押す

4 (FUNC3) (>>) ➡ (ENTER) キーを押す

- " テストメール送信 " が選択されます。

5 (ENTER) キーを押す

- 送信結果を表示します。
- テストメールの送信に失敗した場合、エラーコードを表示します。
  次ページを参照し、対処してください。

6 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

(重要!)

- テストメールの送信結果は、本装置がメールサーバーに対して行ったメール送信処理の結果です。
  メールが宛先に届いたことを示すものではありません。
- メールを受信する端末側で迷惑メールフィルタなどを設定している場合、「ソウシンカンリョウ」となってもメールが届かない場合があります。
- テストメールの送信に失敗した場合、以下のエラーコードを表示します。
- エラーが解消されない場合、時間をおいてから試してみてください。
- サーバーの設定等については、ネットワーク管理者またはプロバイダにご相談ください。

エラーコード	予想される原因	対処方法
10	ネットワーク接続エラー	• 装置がネットワークに接続されていることを確認してください。 • 装置の IP アドレスが正しいことを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
20	有効なメールアドレスがありません	• 正しいメールアドレスを入力してください。
11003 11004	POP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません	• POP サーバーのアドレスを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
11021	POP サーバーに接続できません	• POP サーバー設定を確認してください。 • ファイアーウォールの設定を確認してください。
12010	POP サーバーからエラーが返答されました	• POP サーバーの設定を確認してください。
13000	POP 認証に失敗しました	• ユーザー名とパスワードを確認してください。 • APOP の設定を確認してください。 • 認証方式を確認してください。
10013 10014	SMTP サーバーが見つかりません または、DNS サーバーにアクセスできません。	• SMTP サーバーのアドレスを確認してください。 • 装置が DNS を利用することのできる環境であることを確認してください。
10021	SMTP サーバーに接続できません	• SMTP サーバー設定を確認してください。 • SMTP ポート番号を確認してください。 • ファイアーウォールの設定を確認してください。
10*** 11*** 20*** 21***	SMTP サーバーからエラーが返答されました または応答がありません	• SMTP サーバーの設定を確認してください。 • SSL 通信が必須のサーバーとは通信できません。 • プロトコルフィルターの設定を確認してください。
12***	無効な送信元メールアドレスです	• ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
13***	メールの宛先が見つかりません または、無効なメールアドレスです	• メールアドレスを確認してください。 • メールアドレスに間違いがあっても、本エラーが検出できない場合があります。 • ユーザー名、パスワードに入力したアカウントに対応したメールアドレスが送信元メールアドレスに設定されているか、確認してください。
22000 22008	SMTP 認証エラー	• 認証方式を確認してください。
23*** 24*** 25***	SMTP 認証に失敗しました	• ユーザー名とパスワードを確認してください。

"***" はメールサーバーから返答されたエラーコード

3

設定した内容を初期状態に戻す

「設定」「メンテナンス」「マシン設定」で設定した内容を、お買い上げ時の状態に戻します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) (2 回)➡ (ENTER)キーを押す

- マシン設定メニューを表示します。

2 (FUNC1) (>>) を押す

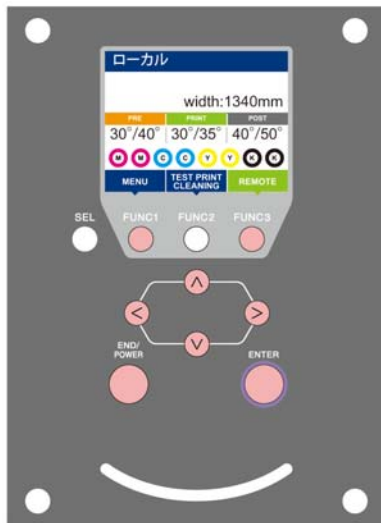
3 (▲)(▼)を押して “ リセット ” を選び、(ENTER)キーを押す

4 (ENTER)キーを押す

- 設定を初期化します。

5 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

ノズルチェックメニューについて

ノズル抜け検出機能に関するオペレーションを設定します。

FUNC1 ：情報メニューを選ぶときに押す
FUNC3 ：次の画面に切り替えるときに押す
∧∨ ：設定項目を選択するときに押す
ENTER ：設定を確定するときなどに押す

◆ **NCU 設定メニュー一覧**

ノズルチェックメニュー一覧表

機能名称			設定値	初期値	概　要
印刷中ノズルチェック (☞ P.3-23)			ON/OFF	OFF	オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、設定します。
(ON)	チェック間隔	距離	0.1 ～ 50.0m	30.0m	設定した距離毎にノズルチェックを行います。
		ファイル	1 ～ 100 ファイル	30 ファイル	設定したファイル数毎にノズルチェックを行います。[*1]
	復旧動作	クリーニング	ソフト / ノーマル / ハード	ソフト	復旧動作時に行うクリーニングの種類を設定します。
		リトライ回数	0 ～ 3 回	0 回	設定回数分、リトライ動作を繰り返します。
自動ノズルリカバリ (☞ P.3-23)			ON/OFF	OFF	自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。
判定条件 (☞ P.3-23)			1 ～ 180 ノズル	1 ノズル	色ごとに何本のノズル抜けを検出したら「ノズル抜け」と判定するか設定します。(1 ノズル列最大 16 本) [*2]

*1. プリントの途中で設定した距離に達した場合は、次のプリント開始時にノズルチェックを行います。
*2. プリント条件により、ノズルリカバリが適用されない場合があります。

3

印刷中ノズルチェックの流れ

プリント開始時に以下の流れでノズルチェックを行います。

重要!
- 「印刷中ノズルチェック」の設定を "ON" にすると、有効になります。
- リトライ、自動ノズルリカバリの設定は、設定が有効な場合のみ行います。

1 ノズルチェック → 判定

ノズル抜けを検出します。

2 復旧動作 → ノズルチェック → 判定

ノズルチェック後「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合、クリーニングを行ってから再度ノズルチェックを行います。

3 リトライ → 判定

復旧動作後「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合、再度復旧動作を行います。
- 「リトライ回数」の設定を 1 回以上にすると、有効になります。

4 自動ノズルリカバリ → 判定

ノズルチェックならびに復旧動作後、自動でノズルリカバリを行います。
- 「自動ノズルリカバリ」の設定を "ON" にすると、有効になります。
- Turn the “” setting ON to be enabled.

5 ノズル抜け判定

最終的に「判定条件」以上のノズル抜けがあった場合は、プリント継続不可能と判定して、プリントを停止します。

「ノズル抜け」判定時ならびにエラー発生時の印刷動作

- 「ノズル抜け」と判定された場合 → プリントを停止します。
- ノズルチェック実施中にエラーが発生した場合 → 印刷を停止し、自動的に「印刷中ノズルチェック」を “OFF” に設定します。エラーから復旧後は、再度「印刷中ノズルチェック」の設定を行ってください。

印刷中ノズルチェックの設定

オンライン印刷の開始時にノズルチェックしたい場合、ON に設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡(▼) (3 回) ➡(ENTER)キーを押す

- ノズルチェックメニューを表示します。

2 (ENTER)キーを押す

- “ 印刷中ノズルチェック ” が選択されます。

3 (▲)(▼)を押してONを選び、(ENTER)キーを押す

- “ チェック間隔 ” の設定画面を表示します。
- “OFF” を選ぶと、ノズルチェックは設定されません。手順 11 へ進んでください。

4 (ENTER)キーを押す

5 (▲)(▼)を押して設定項目を選び、(ENTER)キーを押す

- ノズルチェックの間隔を “ 距離 ” または “ ファイル ” から選びます。
  距離　　：プリントした距離が設定した長さに達すると、ノズルチェックを行う
  ファイル：プリントしたファイル数が設定した数に達すると、ノズルチェックを行う

6 (▲)(▼)を押して設定値を選び、(ENTER)キーを押す

- 手順 5 で選んだ設定項目により、設定値は異なります。
  距離　　：0.1 ～ 100m
  ファイル：1 ～ 300 ファイル

7 (ENTER)キーを 2 回押す

- “ 復旧動作 ” の設定画面を表示します。

8 (ENTER)キーを押す

- “ クリーニング種別 ” が選択されます。

9 (▲)(▼)を押してクリーニングタイプを選び、(ENTER)キーを押す

設定値　：OFF/ ソフト / ノーマル / ハード

10 (▲)(▼)を押してリトライ回数を選び、(ENTER)キーを押す

設定値　：0 ～ 3 回

11 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

自動ノズルリカバリの設定

ノズル抜け判定された場合に自動でノズルリカバリしたい場合に設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡(▼) (3 回) ➡(ENTER)キーを押す

- ノズルチェックメニューを表示します。

2 (▼)を押し、(ENTER)キーを押す

- “ 自動ノズルリカバリ ” が選択されます。

3 (▲)(▼)を押して ON/OFF を選び、(ENTER)キーを押す

4 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

判定条件の設定

ノズル抜けの判定条件を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡(▼) (3 回) ➡(ENTER)キーを押す

- ノズルチェックメニューを表示します。

2 (▼)を 2 回押し、(ENTER)キーを押す

- “ 判定条件 ” が選択されます。

3 (▲)(▼)を押して色を選び、(ENTER)キーを押す

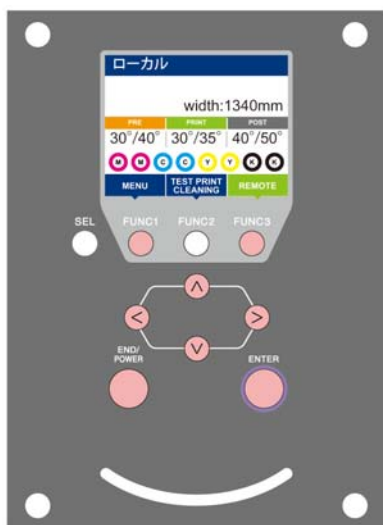
- インクセットにより、色の種類は変わります。

4 (▲)(▼)を押して判定ノズル数を設定し、(ENTER)キーを押す

5 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

3

情報メニューについて

本装置の装置情報を確認できます。
確認できる装置情報は、次の項目です。

FUNC1 ：情報メニューを選ぶときに押す
FUNC3 ：次の画面に切り替えるときに押す
∧∨ ：設定項目を選択するときに押す
ENTER ：設定を確定するときなどに押す

情報メニュー一覧表

項　目		内　容
使用状況	ワイピング情報	ワイピングした回数を表示します。
	廃インクタンク情報	廃インクタンクに溜まっている廃インクが何%になっているか、目安を表示します。
	プリント長情報	今までプリントした長さを表示します。
	プリント面積情報	今までプリントした面積を表示します。
	使用時間	今までの使用時間を表示します。
	スパウトゴム	スパウトゴムの使用時間を表示します。(MBIS 使用時のみ表示)
バージョン		装置のバージョン情報を表示します。
リスト		装置の設定内容をプリントします。
インク交換レポート		装置で使用したインクの履歴をプリントします。
エラー履歴		現在までに発生したエラー、ワーニング履歴を表示します。 [▲][▼] を押して、発生順に発生日時 (年月日時分) とエラー、ワーニング情報を切り替えて表示します。

情報を表示させる

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➡ (▼) **(4 回)** ➡ (ENTER) キーを押す
- 情報メニューを表示します。

2 (▲)(▼) を押して情報を選ぶ
- 「情報メニュー一覧表」を参照して、表示する情報を選びます。

3 (ENTER) キーを押す
- 手順 2 で [リスト] を選んだ場合、装置の設定内容がプリントされます。

4 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

- ワイパーの使用カウントをリセットしたい場合、ディスプレイに “ クリアしますか ?” を表示中に [FUNC2] キーを押します。[ENTER] キーを押すと、ワイピング回数をリセットします。
- 使用状況の “ ワイピング情報 ”、“ 廃インクタンク情報 ”、“ スパウトゴム ” を表示中にファンクションキーを押すと、使用カウントをリセットすることができます。
  ワイピング情報をリセットする場合　：[FUNC2] を押す
  廃インクタンク情報をリセットする場合：[FUNC1] を押す
  スパウトゴムをリセットする場合　：[FUNC3] を押す

3

第４章
お手入れ

この章では ...

日常行っていただくお手入れ方法やインクカートリッジのメンテナンスなど、本機を快適にお使いいただくために必要な項目を説明します。

日常のお手入れ

本装置の精度を保ちながら末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

お手入れ上のご注意

本装置のお手入れをするとき、次の各事項にご注意ください。

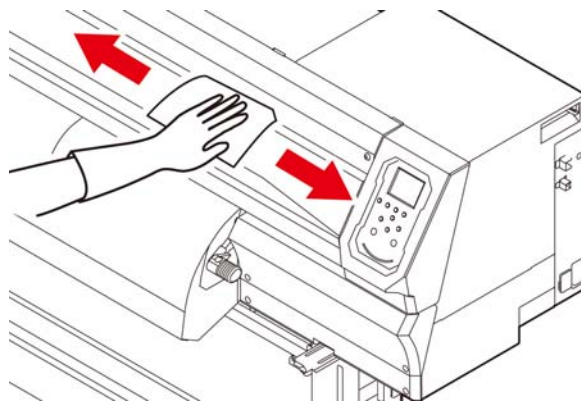
	• メンテナンス用洗浄液を使用する場合は、必ず付属の保護メガネを使用してください。
	• 本装置を、絶対に分解しないでください。感電および破損する原因になります。 また、お手入れは電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。思わぬ事故が発生する原因となります。
	• 本装置の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損する原因になります。
	• 本装置はインクの吐出安定性を確保するために、長時間ご使用 (出力) されないときには、定期的に微量のインクを吐出 (フラッシング) させる必要があります。 • 長時間使用されないときには、前面の電源スイッチのみを OFF とし、右側面の主電源スイッチは ON(｜の状態) およびコンセントは挿入した状態にしておいてください。
	• ヘッドのノズル面やワイパー、キャップ等を水、アルコールなどで拭かないでください。ノズル詰まりや故障の原因になります。 • ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。 • 本装置の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。 • メンテナンス用洗浄液やインクが、カバーに付着しないように注意してください。カバーの表面が変質、変形します。

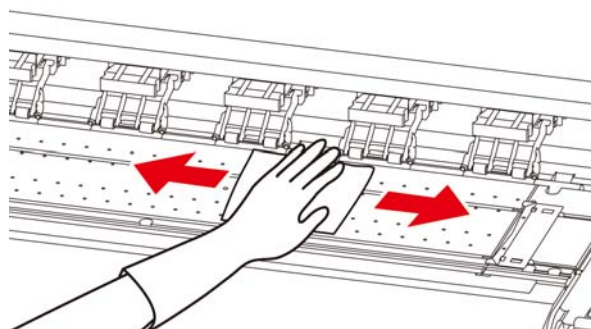
メンテナンス洗浄液について

メンテナンス洗浄液は、お使いになるインクに対応したものをお使いください。

インクの種類	対応するメンテナンス洗浄液
ソルベントインク	メンテナンス洗浄液キット 200 （SPC-0369）[別売]
昇華転写インク	洗浄液ボトルキット A29 （SPC-0137）[別売]

外装のお手入れ

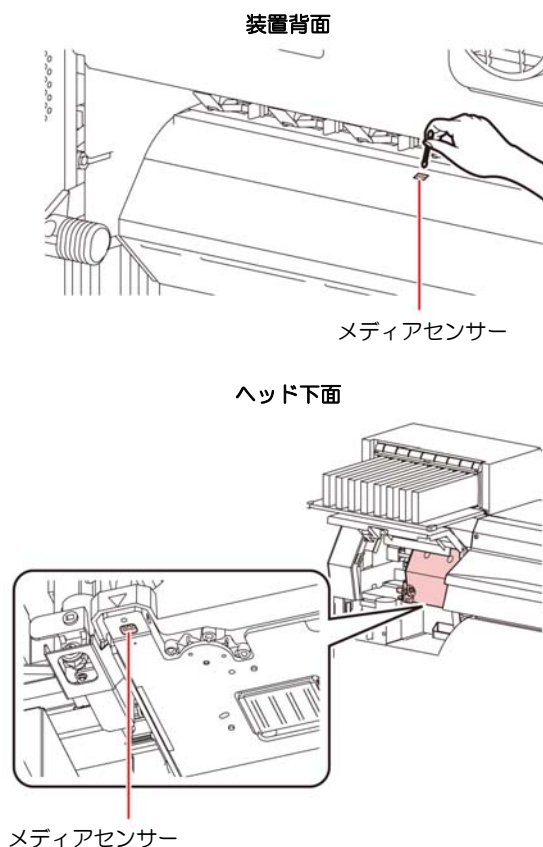
本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水、または水で薄めた中性洗剤を含ませ、堅くしぼってから拭き取ってください。

プラテンの清掃

プラテン上は、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。
汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。

• インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。

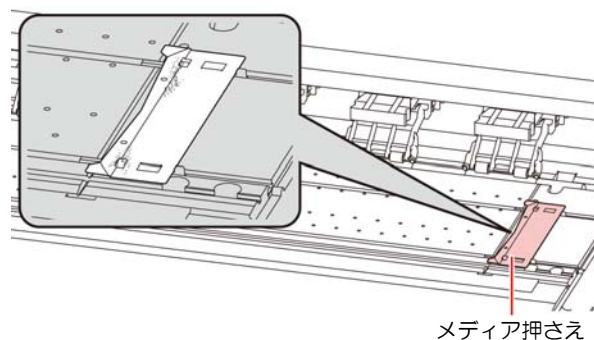
• プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がった状態で行ってください。
• メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝 (カッターライン) などは特に汚れがたまりやすい場所です。入念な清掃をお願いします。

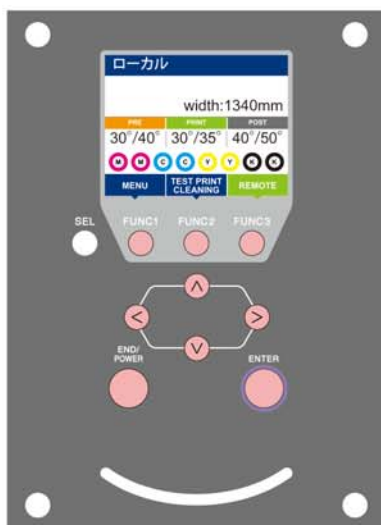
メディアセンサーの清掃

メディアセンサーは、背面側のプラテン上と、ヘッドの下面にあります。センサーにホコリ等がたまると、メディアの誤検出の原因となります。
綿棒でセンサーの表面にたまったホコリ等を取り除いてください。

ヘッド下面のセンサーを清掃するときは、P.4-11「ヘッド周辺の清掃」手順 1 の操作をして、キャリッジを左端に移動させてから清掃してください。

- メディアセンサー付近にあるカッターには触らないでください。刃先が鋭利になっているため、怪我の原因となります。

メディア押さえの清掃

メディア押さえにカットくずやホコリ等がたまると、プリント時のメディアの搬送が正常に行えなくなったり、ホコリ等がノズルに付着して正常なプリントができなくなることがあります。
メディア押さえは、定期的に清掃してください。

メンテナンスニューについて

本機のメンテナンスをするための各種設定です。
メンテナンス設定で設定できる内容は、次の項目です。

FUNC1 ：マシン設定メニューを選ぶとき、または、1 つ前の画面に切り替えるときに押す
FUNC2 ：メンテナンス機能を使用するときに押す
FUNC3 ：次の画面に切り替えるときに押す
∧∨ ：設定項目を選択するときに押す
ENTER ：設定を確定するときなどに押す

◆ メンテナンスメニュー一覧

◆ FUNC2 キーを押したときの画面遷移

メンテナンスメニュー一覧表

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th>設定値</th><th>内　容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">ステーション
メンテ</td><td colspan="3">キャリッジやステーション周辺のメンテナンスを行います。</td></tr>
<tr><td>キャリッジアウト
(☞P.4-6)</td><td></td><td>キャリッジを移動し、キャップ周辺やヘッド、ワイパー等の清掃を行います。</td></tr>
<tr><td>ノズル洗浄
(☞P.4-7)</td><td>1 ～ 99min</td><td>ノズル面をメンテナンス洗浄液で浸し、ノズル抜けや曲がり等の復旧を行います。</td></tr>
<tr><td>ポンプチューブ洗浄
(☞P.4-8)</td><td></td><td>吸引ポンプチューブの洗浄を行います。</td></tr>
<tr><td>保管洗浄
(☞P.4-9)</td><td>1 ～ 99min</td><td>本機を長期間使わないときに行います。あらかじめノズル洗浄と排路洗浄を行い、本機を快適な状態に保ちます。</td></tr>
<tr><td>ワイパー交換
(☞P.4-16)</td><td></td><td>ワイパーの交換をするときに使用します。ワイパー交換を行うと、本機で管理されていたワイパー使用回数がリセットされます。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">ノズルリカバリ
(☞P.4-12)</td><td colspan="3">ノズル洗浄等をしてもノズル抜け等が復旧しない場合、他のノズルを使用してプリントします。</td></tr>
<tr><td>プリント</td><td></td><td>パターンをプリントし、ノズル詰まりを起こしているノズルを確認します。</td></tr>
<tr><td>登録</td><td></td><td>“ プリント ” で確認した不良ノズルを登録します。</td></tr>
<tr><td>リセット</td><td></td><td>登録した不良ノズルをリセットします。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">オートメンテナンス (☞P.4-13)</td><td colspan="3">各種メンテナンス機能を自動的に行います。各々のメンテナンス実行間隔を設定してください。</td></tr>
<tr><td>リフレッシュ</td><td rowspan="3">お使いのインク種によって、設定値が異なります。</td><td>リフレッシュ動作の間隔を設定します。</td></tr>
<tr><td>チューブ洗浄</td><td>排路洗浄の動作間隔を設定します。</td></tr>
<tr><td>クリーニング (間隔)</td><td>ヘッドクリーニングの動作間隔を設定します。</td></tr>
<tr><td>クリーニング
(タイプ)</td><td>ノーマル / ソフト / ハード</td><td>ヘッドクリーニングをするときのクリーニングタイプを設定します。</td></tr>
<tr><td>インク充填
(☞P.4-15)</td><td colspan="3">インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。</td></tr>
<tr><td>廃インクタンク
交換 (☞P.4-18)</td><td colspan="3">廃インクタンクの使用カウントをリセットまたは補正します。</td></tr>
<tr><td>ホワイトメンテナンス (☞P.4-15)</td><td colspan="3">ホワイトインクのメンテナンスを行います。</td></tr>
</table>

キャッピングステーションのメンテナンス

キャッピングステーションにあるインクキャップやワイパー等のメンテナンスをします。(ステーションメンテナンス)

・ノズル状態を正常に保つため、ワイパーの清掃はこまめに実施してください。

インクキャップやワイパーは､それぞれ次のような働きをしています。

- **ワイパー** ：ヘッドのノズルに付着したインクを拭き取る
- **インクキャップ** ：ヘッドのノズルが乾燥により、目詰まりするのを防止する

本装置を使用していると､インクやホコリ等でワイパーやキャップが汚れてきます。
ヘッドクリーニングを実行 (P.2-12) しても､ノズル抜けが解消されない場合は、メンテナンス液 07 キットとクリーンスティックを使用して清掃を行います。

メンテナンスに必要な道具	
・メンテナンス洗浄液キット 200 (品番 :SPC-0369) または洗浄液ボトルキット A29(品番 : SPC-0137)	
・クリーンスティック (品番：SPC-0527)	
・手袋	・ゴーグル

・キャッピングステーションのメンテナンスを行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
・キャリッジを手でキャッピングステーションから出さないでください。キャリッジを移動させたいときは、[FUNC1] キーを押し、キャリッジアウトを実行してください。(P.4-6 手順 1 ～ 2)

ワイパーとキャップの清掃

画質や本装置の状態を良好に保つため､こまめに清掃されることをお勧めします。

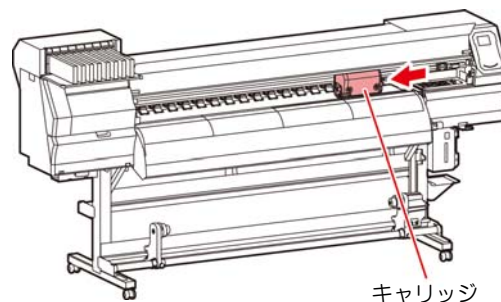
・ワイパーの汚れ、曲がりがひどい場合は、新しいワイパーと交換してください。(P.4-16)
・清掃の際は、クリーンスティックの繊維が残らないように注意してください。繊維が残っていると、プリント不良の原因になります。

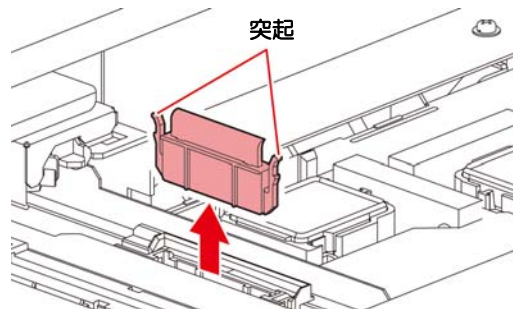
1 ローカルで､(FUNC1) **(MENU)** ➜ (▼) ➜ (ENTER) キーを押す

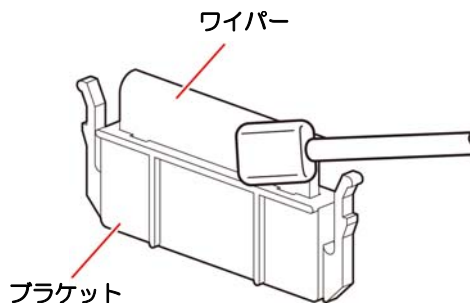
・メンテナンスメニューを表示します。

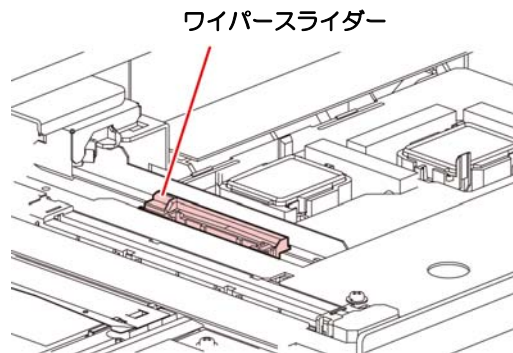
2 (ENTER) キーを **2** 回押す

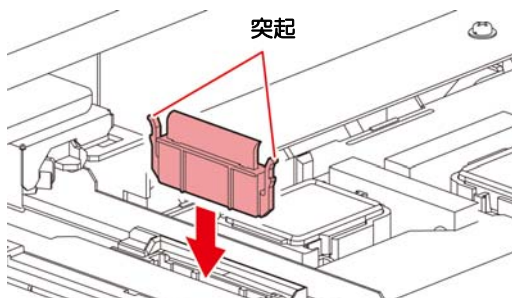
・キャリッジがプラテン上に移動します。

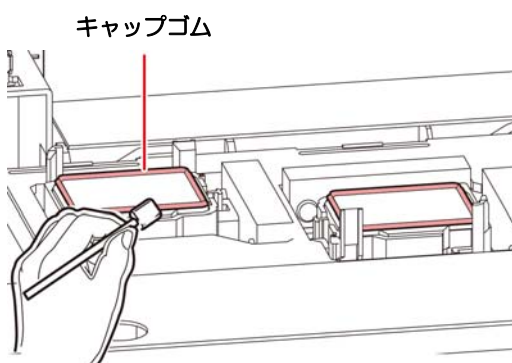
3 フロントカバーを開ける

4 ワイパーを取り出す

・ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

5 ワイパーとブラケットを清掃する

・ワイパーとブラケットに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

6 ワイパースライダーを清掃する

・ワイパースライダーに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。

7 ワイパーを元の位置に戻す

- ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。

8 キャップゴムを清掃する

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

9 清掃が終了したら、ENTER キーを押す

10 フロントカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 1 の表示に戻ります。

ヘッドノズルの洗浄

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➜ ▼ ➜ ENTER キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 ENTER キーを押す

- " ステーションメンテ " が選択されます。

3 ▼ を押して、ENTER キーを押す

- " ノズル洗浄 " が選択され、キャリッジがプラテン上に移動します。

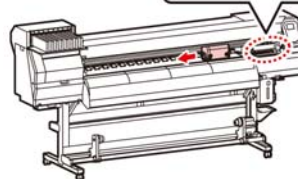
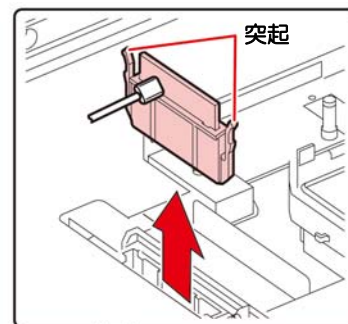
4 フロントカバーを開ける

5 ワイパーとブラケットを清掃し、ENTER キーを押す

(1) 右メンテナンスカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く

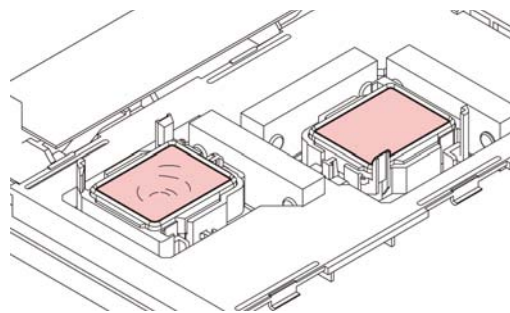
(2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (SPC-0369: ソルベントインク用 /SPC-0137: 昇華転写インク用)

- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む

6 キャップゴムを清掃し、ENTER キーを押す

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排路が洗浄されます。

7 メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす

- 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動で洗浄液が満たされます。洗浄液が足りない場合、[FUNC2] キーを押すと洗浄液が追加されます。

8 フロントカバーを閉め、ENTER キーを押す

9 ▲ ▼ を押して洗浄液の放置時間を設定し、ENTER キーを押す

- 設定値 ：1 〜 99 分（1 分単位）
- キャップに満たした洗浄液を吸引します。
- 設定した時間が経過するまで、ディスプレイには " しばらくお待ちください " が表示されます。

重要!
- ノズルリカバリ (P.4-12) やこの洗浄を何回か実行してもノズル抜けが解消されない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡 (サービスコール) ください。

インク排出路の洗浄

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、定期的に (1 週間に 1 回程度) インク排出路の洗浄をしてください。

重要!
- インク排出路の洗浄を行う前に、必ずメンテナンス洗浄液がセットされていることを確認してください。メンテナンス洗浄液がセットされていないと、洗浄動作をせず、経路が詰まる恐れがあります。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ▼ ➡ ENTER キーを押す

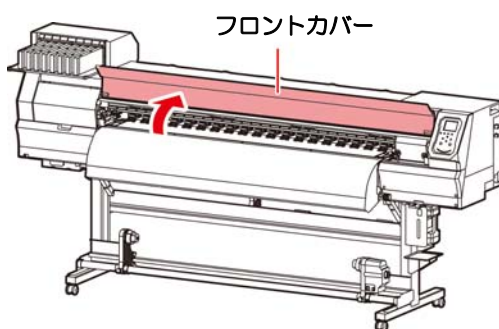
- メンテナンスメニューを表示します。

2 ENTER キーを押す

- " ステーションメンテ " が選択されます。

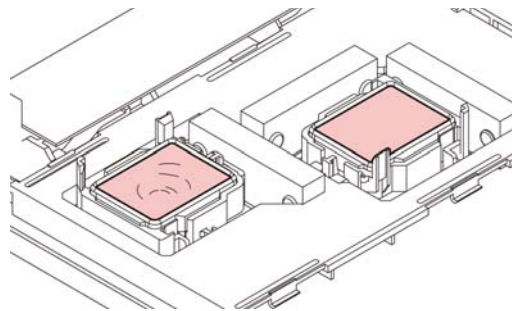
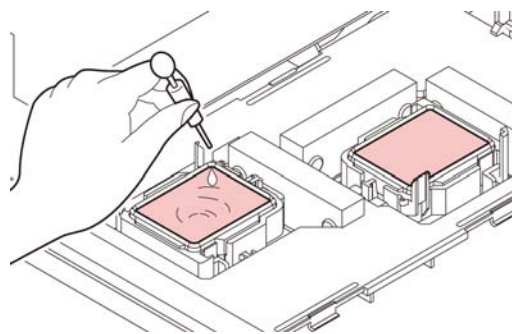
3 ▼ を 2 回押して、ENTER キーを押す

- " ポンプチューブ洗浄 " が選択され、キャリッジがプラテン上に移動します。
- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

4 フロントカバーを開ける

5 ENTER キーを押す

- 空吸引動作を洗浄の作業が終わるまで繰り返し行います。

6 メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす

- 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動で洗浄液が満たされます。洗浄液が足りない場合、[FUNC2] キーを押すと洗浄液が追加されます。

- 洗浄液カートリッジが有効でない場合、スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。

7 フロントカバーを閉じ、ENTER キーを押す

長期間使用しない場合

1 週間以上使用しない場合は、保管洗浄機能を使用し、ヘッドのノズルとインクの排路をクリーニングしてください。その後、本装置を保管してください。

- 主電源は、常時「オン」でお使い下さい。ヘッドのノズル保護のため、ノズル詰まりを防ぐ機能が自動的に働きます。
- 主電源スイッチを「オフ」のまま長時間放置すると、ヘッドのノズル詰まりの原因となります。

事前に確認してください
[ニアエンド]、[インクエンド] は表示していませんか？ ・洗浄動作の際に、洗浄液やインクの吸引を行います。このとき、インクエンドまたはニアエンドを検出していると、洗浄動作が行えなくなります。 ・インクエンド等、未検出のカートリッジに交換してください。

- ワーニングメッセージ “ 廃インクタンク確認 ” が表示された場合、廃インクタンクを確認し、状況に応じて P.4-16「廃インクタンク確認メッセージが表示されたら」を参照して操作をしてください。

1 ローカルで、(FUNC1) **(MENU)** ➡ (▼) ➡ (ENTER) キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 (ENTER) キーを押す

- “ ステーションメンテ ” が選択されます。

3 (▼) を **3** 回押して、(ENTER) キーを押す

- “ 保管洗浄 ” が選択され、キャリッジがプラテン上に移動します。

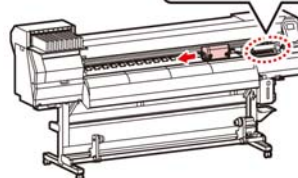
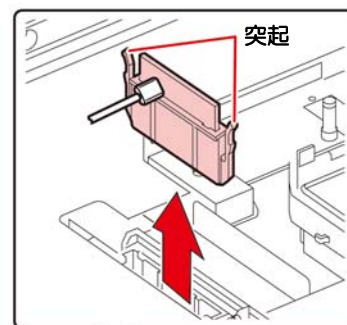
重要！

- ワイパーとブラケットの清掃が終了するまで、ディスプレイには “ 終了 ” が表示されます。手順 3 の作業が完了してから [ENTER] キーを押してください。クリーニングが終了する前に [ENTER] キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

4 ワイパーとブラケットを清掃する

(1) フロントカバーを開け、ワイパー両端の突起を持って引き抜く

(2) クリーンスティックにメンテナンス洗浄液を含ませて清掃する (SPC-0137 または SPC-0369)
　メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。

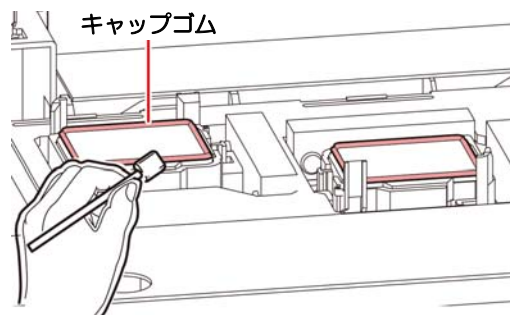
(3) ワイパー両端の突起を持ち、元の位置に差し込む

5 (ENTER) キーを押す

重要！

- キャップのクリーニングが終了するまで、ディスプレイには “ 終了 ” が表示されます。手順 5 の作業が完了してから [ENTER] キーを押してください。クリーニングが終了する前に [ENTER] キーを押すと、次の洗浄手順に移行します。

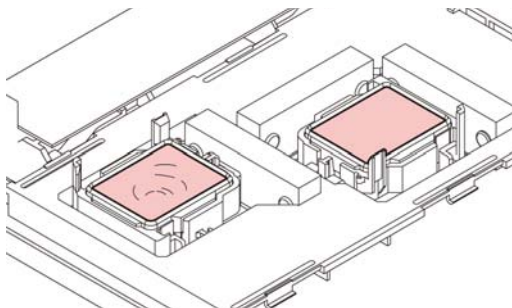
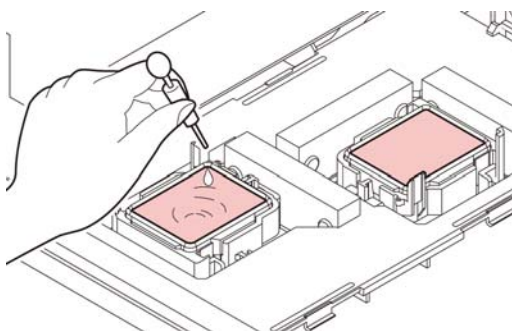
6 キャップゴムを清掃する

- キャップゴムに付着したインクを、メンテナンス洗浄液を含ませたクリーンスティックで拭き取ります。
- メンテナンス洗浄液は、残らないように拭き取ってください。
- このとき、自動的に排路が洗浄されます。

4

7 ENTER キーを押す

重要!
- 洗浄液を満たすまで、ディスプレイには [シュウリョウ (ツギへ) :ENT] が表示されます。手順 8 の作業が完了しフロントカバーを閉じてから [ENTER] キーを押してください。洗浄液を満たす前に [ENTER] キーを押すと、キャリッジが元の位置に戻ります。

8 メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす

- 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動で洗浄液が満たされます。洗浄液が足りない場合、[FUNC2] キーを押すと洗浄液が追加されます。

- 洗浄液カートリッジが有効でない場合、スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。

9 フロントカバーを閉め、ENTER キーを押す

10 ▲ ▼ を押して、洗浄液の放置時間を設定する

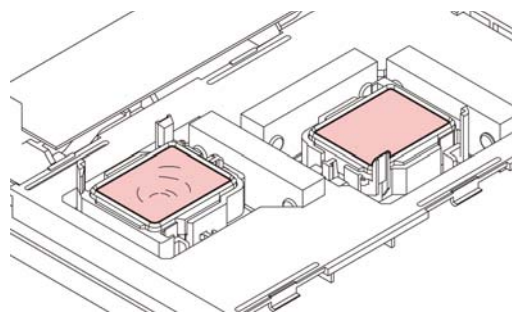
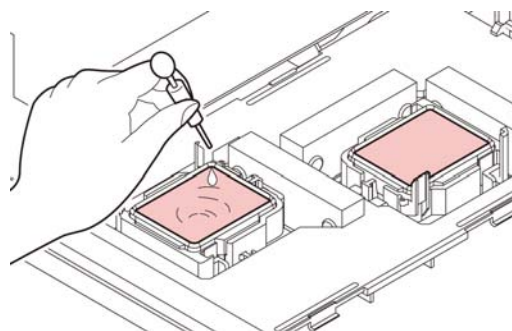
- 設定値 :1 ～ 99 分（1 分単位）

11 ENTER キーを押す

- ノズルの洗浄を実行します。
- ノズルの洗浄が終了すると、ヘッドがメンテナンス位置に移動します。

12 フロントカバーを開ける

13 メンテナンス洗浄液を、キャップ一杯に満たす

- 洗浄液カートリッジが有効の場合、自動で洗浄液が満たされます。洗浄液が足りない場合、[FUNC2] キーを押すと洗浄液が追加されます。

- 洗浄液カートリッジが有効でない場合、スポイトにメンテナンス洗浄液をとり、キャップ一杯になるまで満たします。キャップからあふれる寸前まで洗浄液を満たしてください。

14 フロントカバーを閉じ、ENTER キーを押す

- 初期動作後、手順 2 の表示に戻ります。

ヘッド周辺の清掃

ヘッドそのものは非常に微細なメカニズムを採用しておりますので、お手入れの際には十分な注意が必要です。スライダ下部、ヘッド周辺にゲル状になったインクや、ホコリが付着することがありますので、クリーンスティックなどでこすり落としてください。その際、ヘッドのノズル部分は絶対にこすらないようにしてください。

清掃に必要な道具	
• クリーンスティック	• 手袋
• ゴーグル	

- 清掃を行うときは、必ず付属のゴーグルと手袋を着用して作業を行ってください。インクが目に入る場合があります。
- インクは有機溶剤を使用しています。皮膚や目に入った場合は、直ちに水で十分に洗い流してください。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➜ (▼) ➜ (ENTER) キーを押す

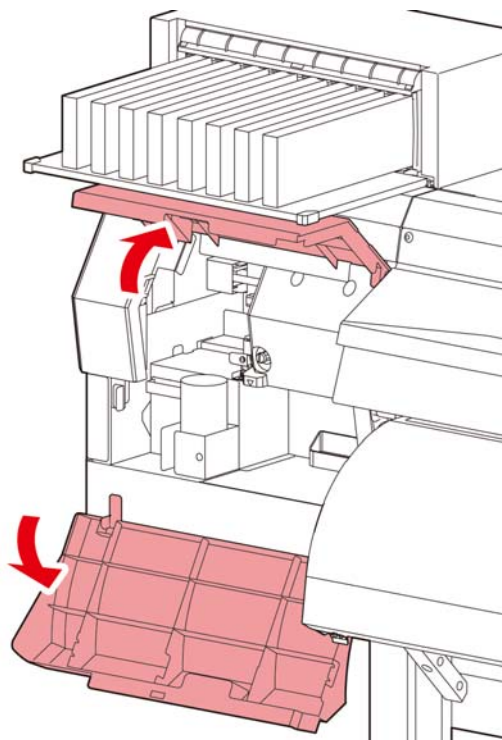
- メンテナンスメニューを表示します。

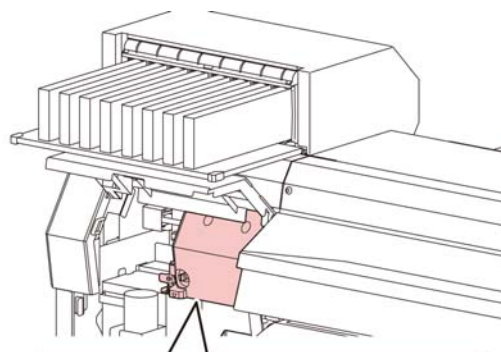
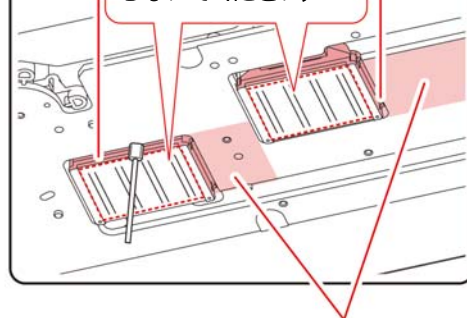
2 (ENTER) キーを 2 回押す

- “ キャリッジアウト ” が選択されます。

3 (▼) を押して、(ENTER) キーを押す

- “ ヘッドメンテ ” が選択され、キャリッジがキャリッジが、本機の左端まで移動します。

4 メンテナンスカバーを開く

5 ヘッドの側面などに付着したインクをクリーンスティックで拭き取る

- ノズル部分は、絶対にこすらないでください。

6 清掃が終了したら、(ENTER) キーを押す

7 メンテナンスカバーを閉じ、(ENTER) キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

ノズルリカバリ機能

特定ノズルのノズル抜けが直らない場合、そのノズルは使用せず他の正常なノズルをかわりに使用(ノズルリカバリ)してプリントすることができます。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡(▼)➡(ENTER)キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

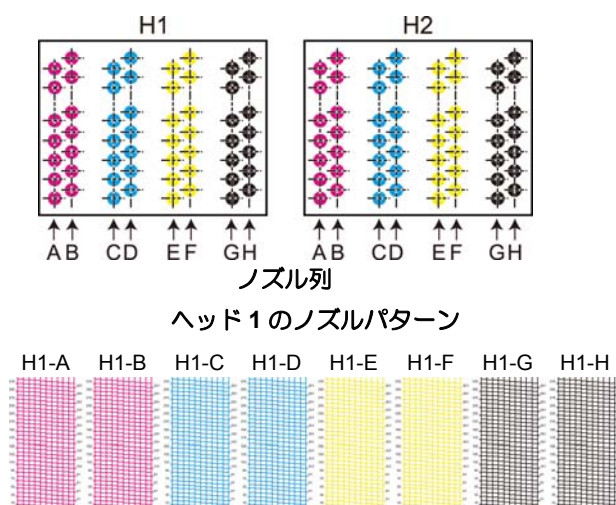
2 (▼)を押し、(ENTER)キーを押す

- " ノズルリカバリ " が選択されます。

3 (ENTER)キーを 2 回押す

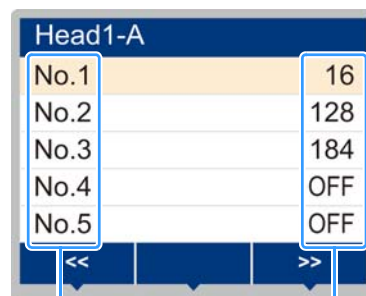
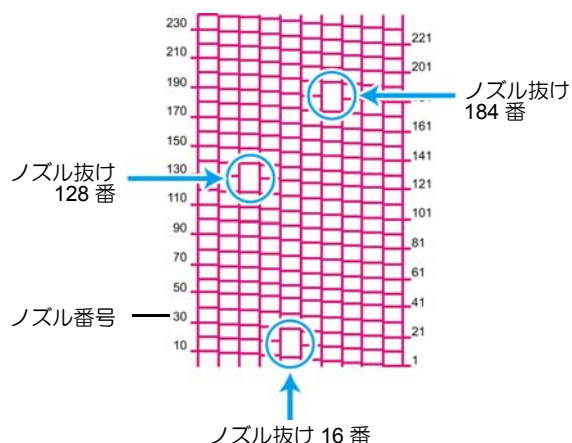
- ノズルパターンのプリントを開始します。
- " 登録 " を選択すると、プリントをしないで、ノズル列選択手順 (手順 4) に移ります。

ヘッドを上から見た図

ヘッド 1 のノズルパターン

重要!
- 6 色インクセットの場合、ノズルパターン "H1-B"、"H1-D" はプリントされません。
- リーフメディアを使用する場合、A3 サイズ横置き以上のサイズのメディアをセットしてください。幅の狭いメディアをセットすると、途中までしかプリントされません。

4 (▲)(▼)を押してノズルリカバリをするノズル列を選び、(ENTER)キーを押す

5 リカバリが必要なノズル番号を登録し、(ENTER)キーを押す

(1) [▲][▼] を押して登録番号 (1~10) を選択し、[ENTER] キーを押します。
(2) [▲][▼] を押してリカバリするノズル番号を登録し [ENTER] キーを押します。

登録番号	リカバリノズル番号	状態
1	16	ノズルリカバリする
2	128	ノズルリカバリする
3	184	ノズルリカバリする
4	OFF	登録無し
5	OFF	登録無し

6 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

重要!
- 1 ノズル列あたり 10 個までノズルを登録できます。
- 本機能を使用しても、プリント時間は変わりません。
- 最低パスでプリントをした場合は、ノズルリカバリが反映されません。
また条件によって、ヘッド両端 (手前 / 奥) の 20 ～ 120 ノズルのみ有効となるものがあります。一度、試しプリントを行い確認してください。

- 白インクを使用している場合、透明フィルムに印刷して確認してください。

設定値をリセットする

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ▼ ➡ ENTER キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 ▼ を押し、ENTER キーを押す

- “ ノズルリカバリ ” が選択されます。

3 ▼ を 2 回押し、ENTER キーを押す

- “ リセット ” が選択されます。

4 ▲ ▼ と FUNC1 (PAGE>) FUNC3 (<<) を押してリセットするノズル列選び、ENTER キーを押す

- リセット確認のメッセージが表示されます。

5 ENTER キーを押す

6 終了するとき、END/POWER キーを数回押す

オートメンテナンス機能

本機を快適にお使いになるため、自動的に各種メンテナンスを行うように設定できます。
ここでは、各種自動メンテナンスの実行間隔を設定します。
定期的に自動メンテナンスを行うことにより、インク詰まりなどのトラブルを防止することができます。
（オートメンテナンス機能）
オートメンテナンス機能には、以下の項目があります。

重要!
- 手動で各種メンテナンスを行った場合、手動メンテナンス終了後、オートメンテナンス機能で設定した時間が経過したら自動的に各種メンテナンスを開始します。
- オートメンテナンス機能をお使いになるときは、必ずメンテナンス洗浄液がセットされていることを確認してください。メンテナンス洗浄液がセットされていないと、チューブ洗浄の動作を定期的に行わず、経路が詰まる恐れがあります。

機能名	説　　明
リフレッシュ	リフレッシュを実行するまでの間隔を設定します。
チューブ洗浄	排路洗浄の動作間隔を設定します。
クリーニング (間隔)	クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。
クリーニング (タイプ)	クリーニングタイプを設定します。

- ワーニングメッセージ “! 廃インクタンク ” が表示されている場合、オートメンテナンス機能で設定した動作は実行されません。必要に応じて P.4-17 の操作をしてください。
- 装置前面の電源スイッチをオフにする場合は、廃インクタンクの確認をしてください。

リフレッシュ間隔を設定する

ノズル詰まり防止のため、ノズルから若干のインクを吐出する間隔を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) ➡ (ENTER)キーを押す
- メンテナンスメニューを表示します。

2 (▼)を 2 回押し、(ENTER)キーを押す
- "オートメンテナンス" が選択されます。

3 (ENTER)キーを押す
- "リフレッシュ" が選択されます。

4 (▲)(▼)を押してリフレッシュ間隔を設定し、(ENTER)キーを押す
- 設定値：お使いのインク種によって、設定値が異なります。

5 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

チューブ洗浄間隔を設定する

インク排出路内でのインクの凝固によるインク詰まりを防止するため、インク排出路の洗浄を行う間隔を設定します。

(重要!)
- オートメンテナンス機能のチューブ洗浄を行うには、必ずメンテナンス洗浄液がセットされている必要があります。メンテナンス洗浄液がセットされていないと、チューブ洗浄の動作を定期的に行わず、経路が詰まる恐れがあります。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) ➡ (ENTER)キーを押す
- メンテナンスメニューを表示します。

2 (▼)を 2 回押し、(ENTER)キーを押す
- "オートメンテナンス" が選択されます。

3 (▼)を押し、(ENTER)キーを押す
- "チューブ洗浄" が選択されます。

4 (▲)(▼)を押してチューブ洗浄をする間隔を設定し、(ENTER)キーを押す
- 設定値：お使いのインク種によって、設定値が異なります。

5 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

クリーニング間隔とタイプを設定する

メンテナンス洗浄液が終わってしまった時に、ポンプチューブ洗浄の代わりに使う機能です。
クリーニングタイプと、クリーニングを実行するまでの間隔を設定します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) ➡ (ENTER)キーを押す
- メンテナンスメニューを表示します。

2 (▼)を 2 回押し、(ENTER)キーを押す
- "オートメンテナンス" が選択されます。

3 (▼)を数回押して"間隔"または"タイプ"を選択し、(ENTER)キーを押す

4 (▲)(▼)を押して設定値を選び、(ENTER)キーを押す
- 設定値：お使いのインク種によって、設定値が異なります。
- タイプの設定値：ソフト / ノーマル / ハード

5 終了するとき、(END/POWER)キーを数回押す

インク充填

インクの充填動作を行い、ノズル詰まりを解消します。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) ➡ (ENTER) キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 (▼) を 3 回押し、(ENTER) キーを押す

- " インク充填 " が選択されます。

3 (▲)(▼) を押して充填の種類を選ぶ

- ソフト ：ヘッドクリーニングでは復旧しないような多量のノズル抜け、ドカ抜けが発生した場合
- ノーマル：初期充填時にドカ抜けが発生する場合
- ハード ：ダンパー交換時など、ダンパーがからになっている場合

4 (ENTER) キーを押す

- 手順 4 で " ソフト " を選択した場合、充填色選択画面が表示されます。
  また、" ノーマル " または " ハード " を選択した場合は、手順 6 へ進んでください。

5 (▲)(▼) を押して充填する色を選び、(ENTER) キーを押す

6 (ENTER) キーを押す

- 自動的にインク充填を開始します。

7 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

ホワイトインクメンテナンス

白インク（ホワイト）は他のインクに比べて沈殿しやすい性質があります。

- 本機を 2 週間以上使用しない場合、本機の内部またはカートリッジ内部で沈殿してしまう場合があります。
- インクが沈殿すると、作図時にノズル詰まりを発生し、正常な作図ができなくなります。
- 作図時のノズル詰まりの防止と白インクの状態を良好に保つため、下記の定期メンテナンスを行ってください。

- 一週間に一度、始業前に必ず以下のメンテナンスをしてください。
- インクカートリッジは、弊社推奨のものをご使用ください。

重要！ **ホワイトインクの成分は沈降しやすいため、定期的に振っていただく必要があります。**

- 電源オン状態で 24 時間が経過
- 電源オン時にワーニングメッセージ " ホワイトカートリッジを振ってください " を表示

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) ➡ (ENTER) キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 (FUNC1) (PAGE>) を押し、(ENTER) キーを押す

- " ホワイトメンテナンス " が選択されます。

3 (ENTER) キーを押す

4 (ENTER) キーを押す

- 自動で排出、充填動作を行い、その後、クリーニングを行います。

5 終了するとき、(END/POWER) キーを数回押す

消耗品の交換

ワイパーを交換する

ワイパーは消耗品です。ディスプレイにワーニングメッセージ " ワイパー交換 " が表示されたら、速やかにワイパーを確認・交換してください。
また、スライダー下面に付着したインクの清掃をしてください。

重要!
- ワイパー交換のワーニングが表示された場合、ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ち等がないか確認してください。ワイパーフィルム先端部にキズや毛羽立ちがない場合は、そのままお使いになれます。
- クリーニングワイパーは別売品です。お近くの販売店、または弊社営業所でお求めください。

1 ローカルで、(FUNC1) (MENU) ➡ (▼) ➡ (ENTER) キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

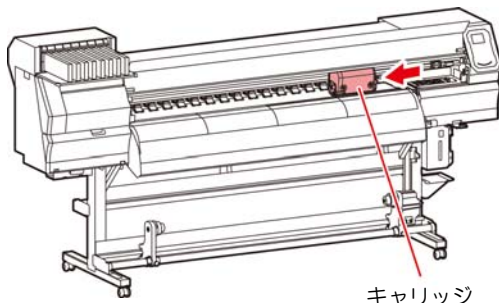
2 (ENTER) キーを押す

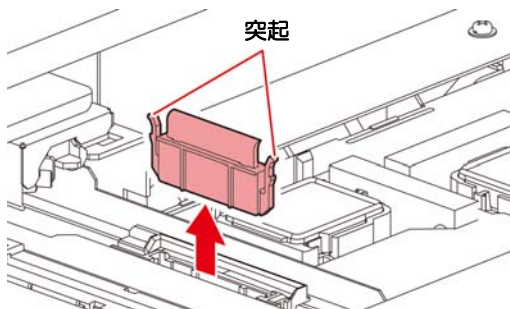
- " ステーションメンテ " が選択されます。

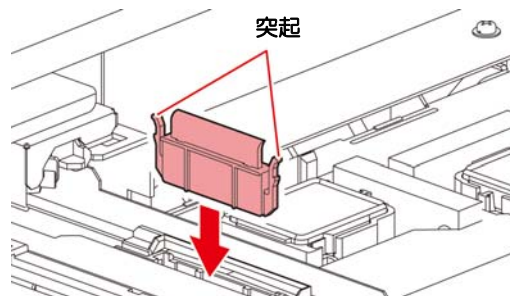
3 (▼) を 4 回押して、(ENTER) キーを押す

- " ワイパー交換 " が選択され、ワイパーの使用回数がリセットされます。

4 (ENTER) キーを押す

- キャリッジがプラテン上に移動します。

5 ワイパーを取り出す

- ワイパー両端の突起を持ち、引き抜きます。

6 新しいワイパーを差し込む

- ワイパー両端の突起を持ち、差し込みます。

7 フロントカバーを閉じ、(ENTER) キーを押す

- 初期動作後、ローカルに戻ります。

廃インクタンク確認メッセージが表示されたら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、本装置の右下にある廃インクタンクにたまります。本装置では、インクの排出量を累積カウントし、一定の量になったら確認を促すメッセージを表示します。（廃インクタンク交換の目安としてお使いください。）

- 2L タンクの 80%(1.6L) でメッセージを表示します。

ローカルでの確認メッセージ

1 ディスプレイにワーニングメッセージ " 廃インクタンク確認 " が表示される

2 廃インクタンクを確認する

- 実際の量と誤差がある場合、[▲][▼] を押して補正します。
- 80% 未満に補正して [ENTER] キーを押すと、メッセージが消えます。
- 交換 (廃棄処分) しカウントクリアする場合、「廃インクタンクを交換する」の手順を実行してください。(☞ P.4-17)

廃インクタンクを交換する

1 ディスプレイにワーニングメッセージ “ 廃インクタンク確認 ” が表示される

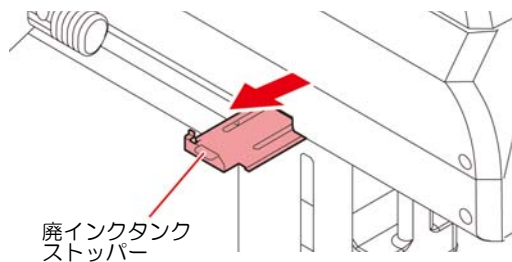
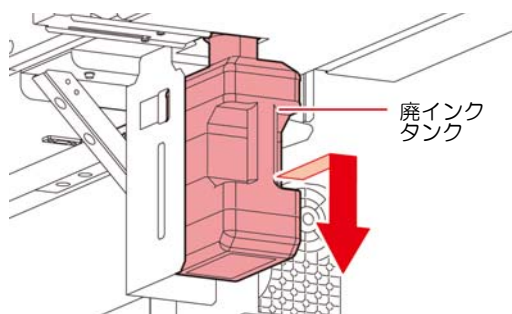
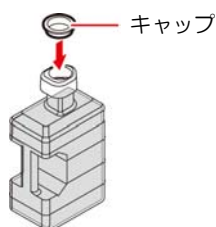
2 (FUNC2) **(MAINT.)** を押す

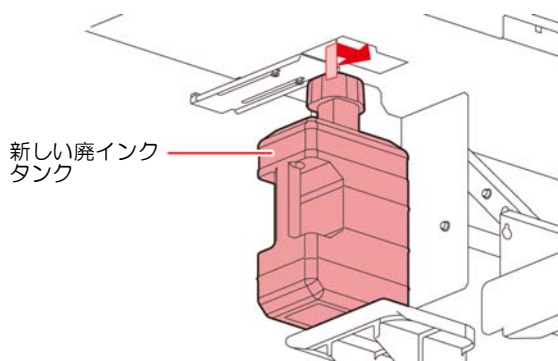
3 廃インクタンクを確認する

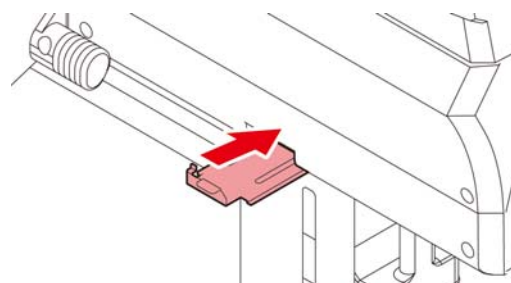
4 廃インク量の調整が必要な場合、(ENTER)キーを押す

- 目視で確認した廃インク量とディスプレイに表示している廃インク量を比較し、おおよそディスプレイで表示している値に問題がない場合は、「ENTER」キーの代わりに[END]キーを押して、手順 6 へ進んでください。

5 (▲)(▼)を押してレベルを調整し、(ENTER)キーを押す

6 廃インクタンクストッパーを手前に引く

7 廃インクタンクの取っ手を持ち、手前に引いて取り出す

- 取り出した廃インクタンクにキャップをはめてください。

8 廃インクタンクを交換する

(1) 新しい廃インクタンク (SPC-0117) を用意する
(2) 廃インクタンクの取っ手を持ち、差し込む

- 廃インクは、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

9 廃インクタンクストッパーを閉じる

10 (ENTER)キーを押す

- 本装置で管理しているインク排出量のリセットを行い、メッセージを解除します。

4

廃インクタンク確認メッセージが表示される前に廃インクタンクを交換する場合

廃インクタンク確認メッセージが表示される前(2Lタンクの80%(1.6L)に達する前)に廃インクタンクを交換する場合、情報メニューで廃インク情報を 0% に設定します。

1 「廃インクタンクを交換する」(P.4-17) の手順 6 〜 9 を実行し、廃インクタンクを空にする

2 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ▼ ➡ ENTER キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

3 ▼ を 4 回押して、ENTER キーを押す

- " 廃インクタンク交換 " が選択されます。

4 廃インクタンク情報を表示させる

5 FUNC2 (v) キーを押す

- 廃インクタンク量のリセット画面が表示されます。

6 ENTER キーを押す

- 本機で管理している廃インクタンク量がリセットされます。

カッター刃の交換

カッター刃は消耗品です。切れ味が悪くなってきたら、新しいカッター刃 (SPA-0107) に交換してください。

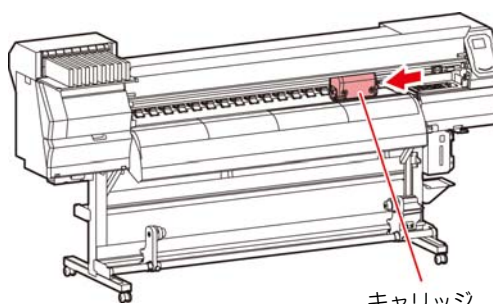
- 刃先は鋭利です。ケガをしないようご注意ください。
- カッター刃は、子供の手の届かないところに保管してください。また、使用済みのカッター刃は、地域の条例に従い廃棄してください。

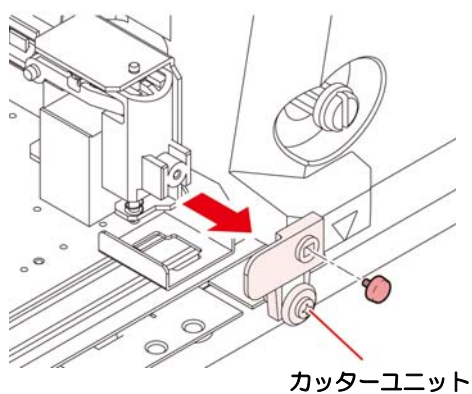
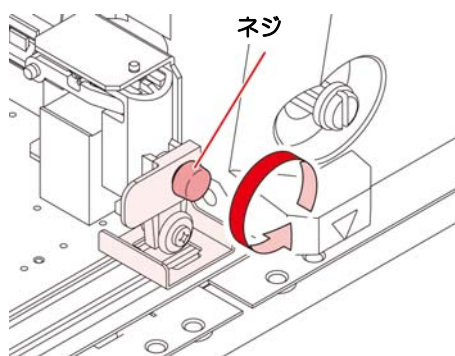
- カッター刃の下に用紙を敷いておくと、刃先が落ちた時に拾いやすくなります。

1 ローカルで、FUNC1 (MENU) ➡ ▼ ➡ ENTER キーを押す

- メンテナンスメニューを表示します。

2 ENTER キーを 2 回押し、フロントカバーを開ける

- キャリッジがプラテン上に移動します。

3 キャリッジ横のカッターユニットを交換する

(1) カッターユニットのネジを緩める
(2) カッターユニットを取り外す
(3) 新しいカッターユニットを取り付ける
(4) カッターユニットのネジを締めて、カッターユニットを固定する

4 フロントカバーを閉じる

5 ENTER キーを押す

第５章
困ったときは

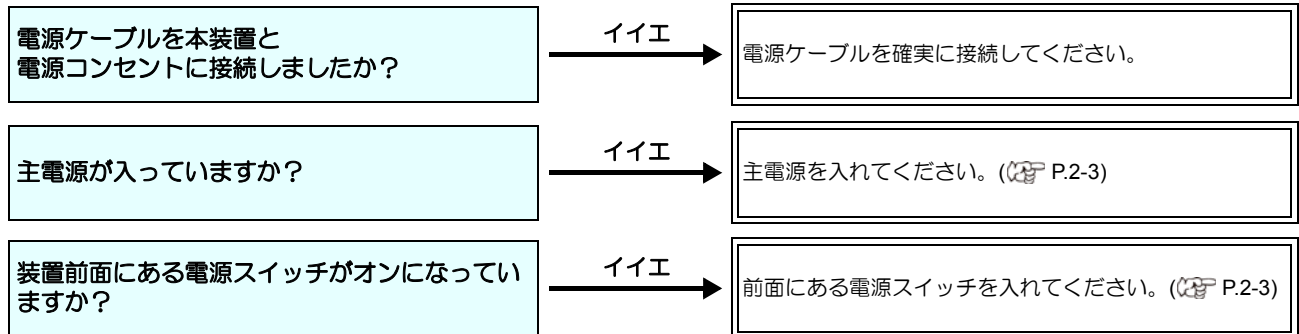
この章では ...

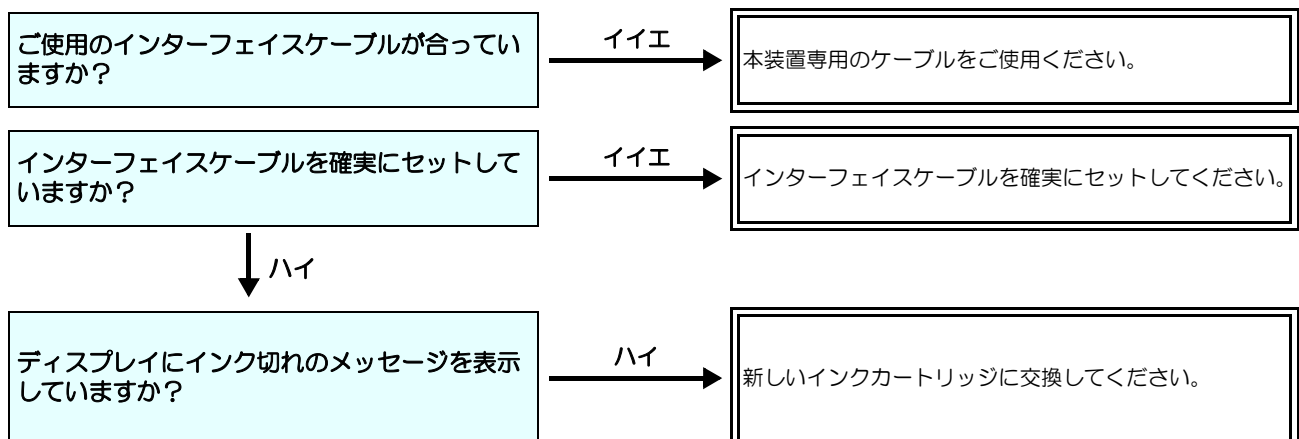
故障かな？と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラー番号の解消方法などを説明をしています。

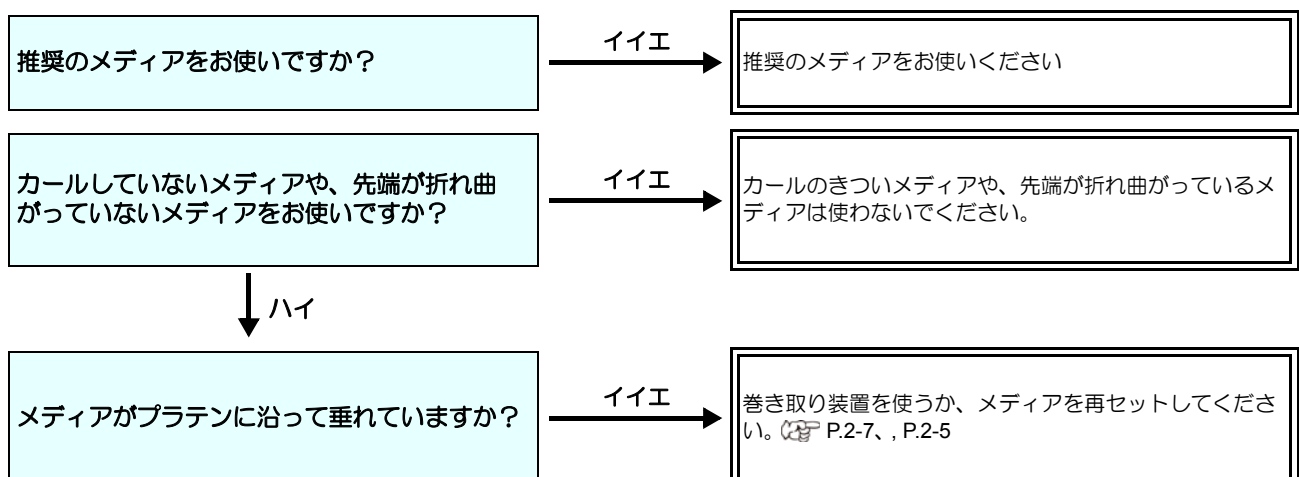
故障かな？と思う前に

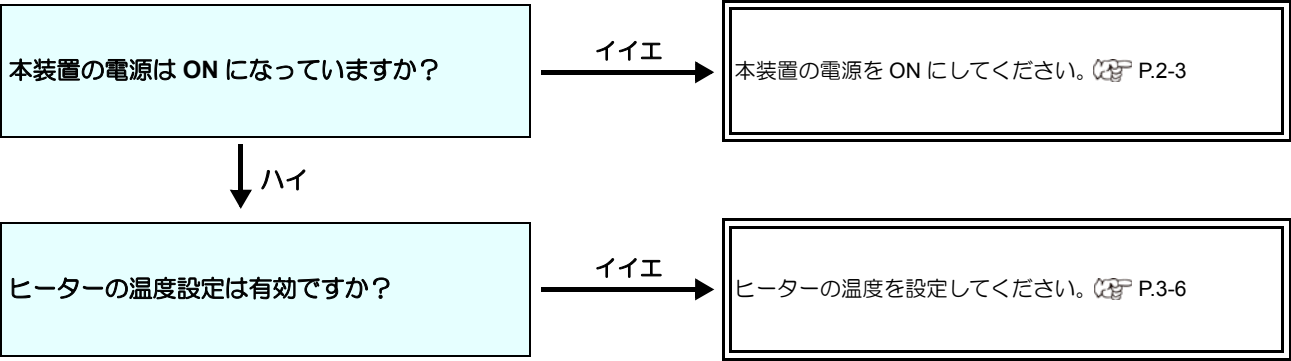
故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。接続が適正かもう一度確認してください。

プリントできない

プリントができない場合は、データが適正に本装置に送られていない場合があります。
また、プリント機能に不良がある場合や、メディアのセット方法に問題がある場合などが考えられます。

メディア詰まり / メディアが汚れる

メディア詰まりやメディアの汚れは、ご使用のメディアやセット方法に問題があるなどが考えられます。

ヒーターの温度が設定値まで上昇しない

基本操作を確認してください。

画質不良が発生したときは

ここでは、プリント品質に問題があるときの対処方法を説明します。症状に従って対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現　　象	対処方法
白スジ / カスレ / 色の濃いスジが発生する（ヘッド移動方向）	**(1)** ヘッドクリーニングを行ってください。P.2-12 **(2)** ステーション内部のメンテナンスをしてください。P.4-6 **(3)**「フィード補正」機能を実行してください。P.3-5 **(4)** メディア押さえの上などヘッドが通過する部分に、紙片などのゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
文字が用紙送り方向に **2** 重、**3** 重にブレる	**(1)**「フィード補正」機能を実行してください。P.3-5
往復印字でズレが発生する	**(1)**「ドット位置補正」機能を実行してください。P.3-6
プリント中にインク滴が落ちる	**(1)** ワイパーを清掃してください。P.4-6 **(2)** インクキャップのクリーニングをしてください。P.4-6 **(3)** ヘッドの周辺を清掃してください。P.4-11 **(4)** ヘッドクリーニングの [ノーマル] を実行してください。P.2-12 **(5)** 定期ワイピングを、設定してください。P.3-9

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-12 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の 2 つの項目を確認してください。

- **P.4-7** の操作をして、ヘッドノズルの洗浄をしてください。
- **P.4-11** の操作をして、ヘッドノズル面の洗浄をしてください。
- **P.4-12** の操作をして、ノズルリカバリをしてください。

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、カートリッジ LED「赤」が点灯し、ワーニングメッセージを表示します。
プリント、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。
速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。

重要!
- カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの防止機能が動作しなくなります。
  ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

カートリッジ異常の詳細を表示する

次の操作をして、カートリッジ異常の内容を確認できます。

1 ローカルモードで、ENTER キーを押す

2 ENTER キーを押す

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。
メッセージの内容によって対処してください。

ワーニングメッセージ

操作を実行したときに表示されるエラー

表示	原因	対処方法
実行できません : メディア未検出	メディア未検出のため、機能が実行できない。	• メディア検出後実行してください。
実行できません :MOTOR POWER OFF	カバーオープン後などモーターが OFF している。	• ローカルに戻り、初期化動作が完了してから機能を実行してください。
実行できません : インクエラーあり	インクエラーが発生している。	• 新しいインクカートリッジに交換後、機能を実行してください。
実行できません カバーオープン	カバーが開いている。	• カバーを閉めてから、機能を実行してください。
実行できません プリントデータあり	データを受信している。	• データクリアを実行後、機能を実行してください。(P.2-14)

ローカルで表示されるメッセージ

表示	原因	対処方法
プリント不可 / カートリッジ	複数のインクエラー（使用不可インク）が発生し、インクの供給（プリントやクリーニングなど）が行えない。	• 新しいインクカートリッジに交換してください。
廃インクタンク確認	廃インクタンクのカウントが規定量を超えた。	• 廃インクタンクの排液量を確認してください。 • メンテナンス・廃インクタンク交換を実行し、廃液量をリセットしてください。
ワイパー交換	ワイパ使用カウントが規定量を超えた。	• メンテナンス・ステーションメンテ・ワイパ交換を実行し、ワイパを交換してください。
ヒーター温度異常 電源を OFF しました	「ERROR 710 ヒーターオンドイジョウ」発生後、強制的に電源 OFF し、再起動した場合、表示します。	• 再度 ERROR 710 が発生した場合は、販売店または弊社営業所、コールセンターへ問い合わせください。
メディアがありません	メディアがセットされてない。もしくはセンサー故障。	• メディアをセットしてください。 セットしても表示する場合は弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
プリントデータあり	ローカルでプリントデータを受信した。	• リモートに移行し、プリントを実行します。 またはデータクリアを実行し、印刷を中止します。
装置温度 / 高　** ℃	設置環境 (装置) の温度が高く、安定したプリントが行えない。	• 仕様 (20 ℃～ 35 ℃) の範囲内に室温を調節してください。
装置温度 / 低　** ℃	設置環境 (装置) の温度が低く、安定したプリントが行えない。	
ホワイトインクカートリッジを振ってください	ホワイトインクカートリッジの沈こうを防ぐための警告を定期的に表示。	• インク成分の沈こうを防ぐため、ホワイトインクカートリッジを振ってください。

表示	原因	対処方法
洗浄カートリッジ無し	メンテナンス洗浄液カートリッジがセットされていない。 ワイパー洗浄やポンプチューブ洗浄が実行できない。(オートメンテナンス動作)	• メンテナンス洗浄液カートリッジをセットしてください。
洗浄液エンド	メンテナンス洗浄液の残量がない。 ワイパー洗浄やポンプチューブ洗浄が実行できない。(オートメンテナンス動作)	• 新しい洗浄液カートリッジに交換してください。
NCU センサー感度低下	NCU のセンサー感度が低下してきている。	• NCU の交換をお勧めします。 • 弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ノズル抜け検出 印刷停止しました	ノズルチェックでノズル抜けと判定されたため、プリントを停止した。	• ヘッドクリーニング(☞ P.2-12)ならびにノズル詰まりの対処 (☞ P.5-3) を行ってください。
˝NCU ﾄｼｭﾂｲﾁｹﾝｼｭﾂｴﾗｰ ノズルチェック OFF	ノズルチェック実行中に NCU 関連のエラーが発生したため、印刷を停止してノズルチェック機能を OFF にした。	•「ERROR 655 / NCU ﾄｼｭﾂｲﾁｹﾝｼｭﾂｴﾗｰ」の説明に従って対処を行ってください。
NCU ｾﾝﾀｰｲﾁｹﾝｼｭﾂｴﾗｰ ノズルチェック OFF		•「ERROR 654 / NCU ｾﾝﾀｰｲﾁｹﾝｼｭﾂｴﾗｰ」の説明に従って対処を行ってください。
NCU SN ﾁｮｳｾｲｴﾗｰ ノズルチェック OFF		•「ERROR 656 / NCU SN ﾁｮｳｾｲｴﾗｰ」の説明に従って対処を行ってください。
NCU ｹﾝｼｭﾂｴﾗｰ (HW) ノズルチェック OFF		•「ERROR 652 / NCU ｹﾝｼｭﾂｴﾗｰ (HW)」の説明に従って対処を行ってください。
NCU ｹﾝｼｭﾂｴﾗｰ (ﾏｰｸ) ノズルチェック OFF		•「ERROR 653 / NCU ｹﾝｼｭﾂｴﾗｰ (ﾏｰｸ)」の説明に従って対処を行ってください。
NCU 接続異常	NCU のユニットが接続されていない。 ノズルチェック機能が使用できない。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。 再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
NCU 交換	NCU のセンサー感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	• NCU の交換が必要です。 • 弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
NCU インク吸収材交換	NCU のインク吸収材が満杯になった。	• NCU のインク吸収材交換が必要です。 • 弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
NCU エラー ノズルチェック OFF	ノズルチェック実行中に NCU 関連のエラーが発生したため、プリントを停止してノズルチェック機能を OFF にした	• 弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

インクエラー

インクエラーは、ローカルガイダンスでも表示されます。(P.3-25)

表示	原因	対処方法
インク IC 異常	インクカートリッジのICチップが正常に読み込めない。	• ワーニングが発生しているカートリッジを再挿入してください。 ワーニングが解消しない場合は弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
インク種類	インクカートリッジのインク種類が充填してあるインクと異なる。	• ワーニングが発生しているカートリッジのインク種類を確認してください。
インク カラー	インクカートリッジのインクカラーが充填してあるインクと異なる。	• ワーニングが発生しているカートリッジのインクカラーを確認してください。
カートリッジ異常	インクカートリッジの IC チップの情報に異常が生じた。 使用量が規定値を超えている。	• ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。 • ノズルづまりがないことを確認してください。（特にホワイトインク）
カートリッジ無し	インクカートリッジがスロットに挿入されていない。	• ワーニングが発生しているスロットにカートリッジを挿入してください。 • カートリッジが正しく挿入されているか確認してください。 • 一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
インク エンド	インクカートリッジのインクがなくなった。	• ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
インク ニアエンド	インクカートリッジのインクが残りわずかなっている。	• 間もなくインクがなくなります。 ご注意ください。
インク 期限切れ	インクカートリッジの使用有効期限が切れている。	• 消費期限を過ぎました。 ただし、翌々月まで使用することができます。
期限切れ（1ヶ月）	インクカートリッジの有効期限切れになった。（期限切れから 1ヶ月経過）	• 消費期限より 1 か月以上過ぎています。 ただし、翌月まで使用することができます。
期限切れ（2ヶ月）	インクカートリッジの使用有効期限が切れている (期限切れから 2ヶ月経過)。	• 消費期限より 2 か月以上過ぎています。 ワーニングが発生しているカートリッジを交換してください。
ERROR 63c ｲﾝｸ ｻﾞﾝﾘｮｳ ｾﾞﾛ	カートリッジ残量が 0 になった。（インクエンド / 4色インクセット時のみ）	• 新しいインクに交換してください。

5

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って、エラーを取り除いてください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

表示	原因	対処方法
ERROR 122 CHECK:SDRAM	SDRAM に異常が発生した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 128 HDC FIFO OVER	ヘッド制御基板に異常が発生した。	
ERROR 128 HDC FIFO UNDER		
ERROR 129 バッテリ コウカン	内部時計の電池切れを検出した。	• 弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 130 HD DATA SEQ	ヘッドデータ 転送エラーが発生した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 146 E-LOG SEQ	イベントログのシーケンシャルナンバー異常が発生した。	
ERROR 151 Main PCB V1R2	メイン基板の電源系統に異常が発生した。	
ERROR 152 Main PCB V2R5		
ERROR 153 Main PCB V3R3		
ERROR 154 Main PCB V05		
ERROR 157 Main PCB VTT		
ERROR 16e Main PCB V3R3B		
ERROR 15f HEAD DRIVE HOT		
ERROR 171 NEW HEAD CONNECT		
ERROR 186 HDC OVERFLOW	印字している波形の異常を検出した。	
ERROR 186 HDC UNDERFLOW		
ERROR 187 HDC SLEW RATE		
ERROR 188 HDC MEMORY		

表示	原因	対処方法
ERROR 18a Main PCB V_CORE	メイン基板の電源に異常が発生した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 18c Main PCB V12		
ERROR 190 Main PCB V42-1		
ERROR 192 COMIO PCB V1R2	COM16/32IO 基板の電源に異常が発生した。	
ERROR 193 COMIO PCB V2R5		
ERROR 194 COMIO PCB V3R3		
ERROR 195 COMIO PCB V24		
ERROR 1a0 SLDR2H PCB V1R2	スライダ 2H 基板の電源に異常が発生した。	
ERROR 1a6 SLDR2H PCB V2R5		
ERROR 1a7 SLDR2H PCB V3R3		
ERROR 1a8 SLDR2H PCB V5		
ERROR 1a9 SLDR2H PCB V42		
ERROR 201 コマンド エラー	プリントデータ以外のデータを受信した。 または送信したプリントデータに異常が発生した。	• インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブルを使用してください。
ERROR 202 パラメータ エラー	送信したプリントデータに異常が発生した。	
ERROR 304 USB INIT ERR	USB の通信に異常が発生した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 305 USB TIME OUT		
ERROR 401 モータ - アラーム X	X モーターに過大な負荷がかかった。	
ERROR 402 モータ - アラーム Y	Y モーターに過大な負荷がかかった。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 403 X オーバー カレント	X モーターの過電流エラーを検出した。	
ERROR 404 Y オーバー カレント	Y モーターの過電流エラーを検出した。	

5

表示	原因	対処方法
ERROR 423 マキトリ テンションバー	オプションテンションバーのエラー。 • テンションバー原点が見つけられなかった。 • テンションバー角度変化が見られなかった。	• メディアのセット状態を確認してください。 • マニュアルSWでメディアを巻取れることを確認してください。また、テンションバーが上がることを確認してください。 上がらない場合はオプション AMF キットに付属している取扱説明書を参照して、カウンターウェイトを調整してください。
ERROR 425 マキトリ イジョウ	オプションテンションバーに異常が発生した。 • テンションバーが最下点制御位置を一定時間外れた	
ERROR 429 マキトリ LIMIT ケンシュツ	オプションテンションバーの LIMIT 位置を検出した。 • テンションバーが最上点制御位置を一定時間外れた。	
ERROR 44 f マキトリ ロール センサ イジョウ	巻軸センサ異常 • 巻軸センサを正しく読めない	• マシン設定の巻取ユニットとテンションバーの設定が “ON” になっていることを確認してください。 • メディアのセット状態を確認してください。 • マニュアルSWで巻取装置が動作することを確認してください。
ERROR 505 メディア ジャム	メディア詰まりが発生した。	• メディアを取り除き、再セットしてください。
ERROR 509 HDC POSCNT	位置制御に異常が発生した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 50a Y ゲンテン ケンシュツ	Y 原点検出ができなかった。	
ERROR 50f L-SCALE BLACK	リニアスケール異常が発生した。	
ERROR 529 LEnc.Count HPC[___]		
ERROR 52a LEnc.Count HDC[___]		
ERROR 50c メディアハバセンサー カクニン	メディア幅を正しく読むことができなかった。	• メディアのセット位置を確認してください。(P.2-4) • メディアセンサーの清掃を行ってください。(P.4-3) • 一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。
ERROR 516 メディアイチ ミギ スギマス	メディアが範囲外にセットされている。	• メディアのセット位置を確認してください。(P.2-4)
ERROR 528 ポンプモーター センサ	ポンプセンサ検出エラー	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 602 カートリッジ エンド	インクエンド（使用不可、4 色セットでクリーニング時のみ使用可）	• 新しいインクに交換してください。
ERROR 608 インク IC イジョウ	インクカートリッジの IC チップが正常に読めない。	• カートリッジが正しく挿入されているか確認してください。 • カートリッジを挿入しなおしてください。 • 一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。

表示	原因	対処方法
ERROR 627 カートリッジ セット	一定時間以上カートリッジが挿入されていないスロットがある。	• カートリッジをセットしてください。
ERROR 628 カートリッジ イジョウ	インクカートリッジの IC チップの情報に異常が生じた。 使用量が規定値を超えている。	• ノズルづまりがないことを確認してください。（特にホワイトインク）
ERROR 63c インク ザンリョウ ゼロ	カートリッジ残量 0（インクエンド /4 色インクセット時のみ）	• 新しいインクに交換してください。
ERROR 64C NCU エラー	何らかの問題により、ノズルチェックが中断された。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらく経ってから電源を ON してください。 再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 650 NCU セツゾク イジョウ	NCU のユニットが接続されていない。	
ERROR 651 NCU コウカン	NCU のセンサー感度が低く、正常にノズル抜けを判定できない。 ノズルチェック機能が使用できない。	
ERROR 652 NCU ケンシュツエラー(HW)	ノズル抜け、飛行曲りが多発していて、NCU がインクの吐出を正常に認識できない。	• ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。
ERROR 653 NCU ケンシュツエラー (マーク)		
ERROR 654 NCU センターイチケンシュツエラー	NCU への吐出位置の調整に失敗した。	
ERROR 655 NCU トシュツイチケンシュツエラー		
ERROR 656 NCU SN チョウセイエラー	センサーの感度調整に失敗した。	• ノズル状態を確認し、ノズル抜け、飛行曲りが多い場合はクリーニングを実施し回復させてください。 • ノズル状態を回復しても、再度表示するときは弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 657 NCU インクキュウシュウザイ コウカン	NCU のインク吸収剤が満杯になった。	• 弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 658 NCU センサー カンド テイカ	センサーの感度が低下してきている。	• NCU の交換をお勧めします。 弊社サービスまたは販売店にサービスコールしてください。
ERROR 702 サーミスタ セツゾク	サーミスタ接続異常が発生している。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 710 ヒーターオンド イジョウ	ヒーターの温度異常を検知した。 本エラー発生後、温度異常が解消されない場合、強制的に装置電源をオフにします。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。
ERROR 901 ジッコウ デキマセン	何らかのエラーにより、機能が実行できません。	• ローカル画面に戻ってエラー状況を確認し、対処してください。
ERROR 902 ミサクズ データ アリ	プリントデータが残っている。	• データクリアを実行してください。 (☞ P.2-14)
ERROR 90d ヘッド センタク ナシ	搭載ヘッドに異常が発生した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

表示	原因	対処方法
ERROR 90f プリント エリア フソク	プリントに必要なメディア幅またはメディア長さが足りません。	• メディア幅の広い、またはメディア長さが十分なメディアに交換してください。 • 原点移動によりメディア幅が狭くなっている場合、原点を右にずらして有効メディア幅を広げてください。
ERROR 04 PARAM ROM	MAIN 基板 FROM に異常が発生した。	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

SYSTEM HALT

表示	対処方法
SYSTEM HALT (*) 000 : メッセージ	• 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは番号を確認のうえ、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。(“000” はエラー No.)
SYSTEM HALT (*) 406 : WIPER ORG	• ワイパー周辺の清掃をしてください。 • 一度、主電源を OFF にしてしばらくたってから主電源を ON にしてください。 再度、表示するときは番号を確認のうえ、弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。

第６章
付録

この章では ...

本機の仕様一覧表や、 機能の一覧表を記載しています。

仕様

本体仕様

項　目		JV300-130	JV300-160
プリントヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド	
	仕様	2 ヘッドスタガ	
プリントモード (スキャン x フィード)		360×360dpi/ 540×360dpi/ 540×720dpi/ 720×1080dpi/ 720×1440dpi/ 1440x1440dpi	
使用可能インク		昇華転写インク (Sb):6 色 (Y,M,Bl,K または Dk,LBl,Lm) ソルベントインク (SS):9 色 (Y,M,C,K, Lc,Lm, Or, Lk, W) ソルベントインク (ES):6 色 (M, C, Y, K, Lm, Lc)	
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インクカートリッジ交換方式：2 カートリッジ /1 色によるトグル切換供給 (4 色時)	
インク容量		Y,M,C,K, Lc,Lm, Or, Lk, Bl, LBl, Dk：440cc カートリッジ W：220cc	
使用可能メディア		ターポリン /FF(Flexible Face)/ 塩ビフィルム	
最大プリント範囲		1361mm	1610mm
ロールメディアサイズ	最大幅	1371mm	1620mm
	最小幅	210mm	
	厚さ	1.0mm 以下	1.0mm 以下
	ロール外径 *1	紙メディア：Φ250mm 以下　その他メディア：Φ210mm 以下	
	ロール重量 *1,*2	40kg 以下	
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ	
	プリント面	ロール外側面	
	巻終わり処理	紙管にテープ止め、または弱粘着	
リーフメディアサイズ	最大幅	1371mm	1620mm
	最小幅	210mm	
プリントマージン	リーフメディア	左右 : 15.0 ㎜ (デフォルト値)　　前 :120 ㎜　　後 : 150 ㎜	
	ロールメディア	左右 : 15.0 ㎜ (デフォルト値)　　前 :120 ㎜　　後 : 150 ㎜	
距離精度	絶対精度	± 0.3 ㎜ または指定距離の ± 0.3 % の大きい方	
	再現性	± 0.2 ㎜ または指定距離の ± 0.1 % の大きい方	
直角度		± 0.5 ㎜ / 1000 ㎜	
メディアスキュー		5 ㎜ 以下 / 10 m	
ヘッド高さ調整		手動 3 段階 (2.0/2.5/3.0）+1mm or +2mm 設置時選択　ベースアップ可能	
メディア裁断		ヘッド部カッターによる Y 方向カット , 裁断精度 (段差) 0.5 mm 以下	
排紙		ロール巻き取り装置標準 (内巻き / 外巻き 切り替え可能)	
廃インクタンク		ボトル式 (2000 cc)	
インターフェイス		USB 2.0 (Ethernet 10 BASE/ 100 BASE　メール機能)	
コマンド		MRL- IV	
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後左右 1m)	
	動作連続音	65 dB 以下	
	動作不連続音	70 dB 以下	
適合規格		VCCI-classA, FCC ClassA, CE マーキング (EMC 指令、機械指令、RoHS 指令、低電圧指令）, CB レポート , RoHS 対応	
電源仕様		AC100 ～ 120V/220 ～ 240V ±10% ×2 50/60Hz ± 1Hz	
消費電力		1440W x 2 以下 (AC 100 ～ 120V 時)	
設置環境	使用可能温度	20 ℃～ 30 ℃	
	相対湿度	35 ～ 65% Rh (結露なきこと)	
	精度保証温度	20 ℃～ 25 ℃	
	温度勾配	±10 ℃ / h 以下	
	粉塵	オフィス相当	
	最高動作高度	2000 m	

項 目		JV300-130	JV300-160
重量		170 kg	200 kg
外形寸法	幅	2525mm	2775mm
	奥行き	700mm	
	高さ	1392 mm	

*1. メディア巻き取り後の外形および重量
*2. ただしロールの左右を保持した時、ロールがたわまないこと。

インク仕様

項 目		昇華転写インク	ソルベントインク
形態		専用インクカートリッジ	
色		ブラックインクカートリッジ ブルーインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトブルーインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ ディープブラックインクカートリッジ	ブラックインクカートリッジ シアンインクカートリッジ マゼンタインクカートリッジ イエローインクカートリッジ ライトシアンインクカートリッジ ライトマゼンタインクカートリッジ ライトブラックインクカートリッジ オレンジインクカートリッジ ホワイトインクカートリッジ
インク容量		220cc / 440cc カートリッジ	
有効期限		有効期限は、インクカートリッジに記載されている通り。 ただし、開封後は有効期限内であっても 3ヶ月以内。	
保存温度	保存時	10 ～ 35 ℃（1 日の平均気温） • 容器は密閉した状態で保管すること。 • 乾燥した換気の良い冷暗所に保管すること。	
	輸送時	0 ～ 40 ℃ • 0 ℃より低温になる場所、40 ℃より高温になる場所は避けること。	

重要!
• インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。
• インクは、寒い場所で長時間放置すると凍結する場合があります。
• 水性インクをお使いの場合、インクが凍結すると変質して使用できなくなります。インクが凍結しない環境で保管してください。

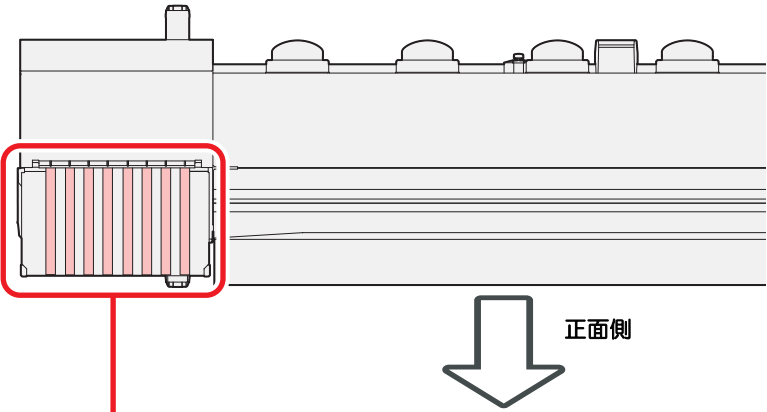
6

インク種によるセットの違いについて

ご使用になるインク種によって、設定値やインクカートリッジのセット順が異なります。

インクカートリッジのセット順

お使いになるインクセットによって、インクステーションにセットするインクカートリッジの順番が異なります。

• インクステーション下にあるカートリッジのラベルに合わせ、インクカートリッジをセットしてください。

4 色モデル	昇華転写インク (Sb53)	M	M	Bl	Bl	Y	Y	K or Dk	K
	昇華転写インク (Sb54)	M	M	Bl	Bl	Y	Y	K	K
	ソルベントインク (SS21/ ES3)	M	M	C	C	Y	Y	K	K
6 色モデル	昇華転写インク (Sb53)	M	M	Bl	Bl	Y	Lm	K or Dk	LBl
	昇華転写インク (Sb54)	M	M	Bl	Bl	Y	Lm	K	LBl
	ソルベントインク (ES3)	M	M	C	C	Y	Lm	K	Lc
6 色 + 特色モデル	ソルベントインク (SS21/ ES3)	M	W	C	W	Y	Lm	K	Lc
	ソルベントインク (SS21)	M	W	C	W	Y	Or	K	Lk
		M	Or	C	Lk	Y	Lm	K	Lc

お問い合わせシート

プリンタの故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンタ機種名	
お使いの OS	
マシン情報*1	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

*1. 「第 3 章 便利な使い方」の、「情報を表示させる」をご覧いただき、必要な情報をご記入ください。(P.3-25

索引

E

L

U

あ

い

え

お

か

き

け

こ

さ

し

せ

た

ち

て

と

に

ね

の

は

ひ

ふ

へ

ほ

ま

め

よ

り

ろ

わ

JV300-130/160 取扱説明書

2015 年 9 月

発行者　　株式会社ミマキエンジニアリング
発行所　　株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

D202680-16-30092015